

●ドラえもん の 学習シリーズ●

ドラえもん

国語おもしろ攻略

歌って書ける 小学 漢字1006



1年生～6年生まで
すべての漢字が書けます。



ドラえもん
の
国語おもしろ攻略

歌って書ける 小学 漢字1006

小学館



ISBN4-09-253173-7

C8382 ¥950E



定価： 本体950円 + 税



ドラえもん の 学習シリーズ

ドラえもん

国語おもしろ攻略

歌って書ける 漢字1006

1年生～6年生まで
すべての漢字が書けます。



小学一年生

羊

小学四年生

犬

小学二年生

牛

小学五年生

小学三年生

魚

小学六年生

馬

ドラえもん

◆国語おもしろ攻略◆

歌って書ける 小学漢字1006



この本はページがよく開き、机においても見やすい特別な製本になっています。

小学館



●おうちのかたへ●

小学校で学ぶ全漢字を、歌を歌いながらリズムよく楽しく書けるように紹介しました。正しく、じょうずにすらすらと、ドラえもんといっしょに覚えられます。もちろん、音訓読み、熟語、画数もわかるようになっていきます。学年別に文部省の学習指導要領に合わせて書き方やまちがいがしやすい大切なポイントも説明してあります。お子さんの喜ぶ座右の一冊です。



下村 昇先生

東京学芸大学卒。「現代子どもと教育研究所」所長。国語・文字教育のほか、子どもの教育文化全般にわたり活躍中。主な著書＝下村式唱えて覚える「漢字の本」1年～6年、「先生と田親のための漢字教室」正統2巻、下村式「小学漢字学習辞典」、「小学国語学習辞典」（以上信成社刊）他多数。

ご注意●この本のページの構成・口唱法による書き順等を複製することももちろん、類似またはこれにヒントを得たとみなされるものを作成することは著作権法により禁止されています。

また、この本は漢字を書くことを中心にした辞書です。漢字の意味などは、家にある漢字辞典を参考にしてください。では、楽しくがんばってくださいね。

「はむずかしくない」と思うことでしよう。
（この方法を漢字の「口唱法」といいます。）
まず、ひとつひとつの字のポイントを覚えましょう。そして、ドラえもんといっしょに歌いながら大きくていねいに書いてみましょう。見ちがえるような上手な形の字が書けることでしよう。
この本は、歌いながら書き順どおりに書く方法のほかに、知らず知らずのうちにいろいろな漢字の知識が得られるように工夫されています。



〈みなさんへ——この本のねらい〉

漢字を歌いながら書く！

現代子どもと教育研究所

下村 昇

漢字はむずかしいと思つていませんか？ でも、

漢字はなれると、とても楽しいものなのです。

あなたの名字を書いてみてごらん下さい。次の四つの中の、どれから書き始めますか。

一……たてぼう

、……てん

どんな漢字でも、書き始めは右のたつた四つのうち

ちのどれかなのです。

今日から、漢字を書くとき、この本を使って

「たてぼうで……」とか「たて書いて……」などと、

リズムよく歌いながら書きましょう。きっと「漢字

もくじ

みなさんへ——この本のねらい……………2

●漢字を上手に書こう……………6

●漢字を書くときの姿勢……………8

●正しいえん筆の持ち方……………9

●字形をととのえるコツ……………10

●歌っておぼえる書き順……………16

●歌い方のルール……………18

●この本の見方……………21

■1年生で習う漢字……………22

■2年生で習う漢字……………44

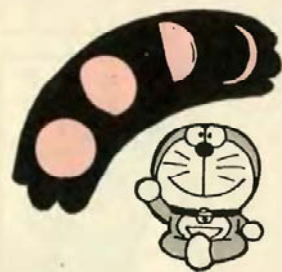
■3年生で習う漢字……………86

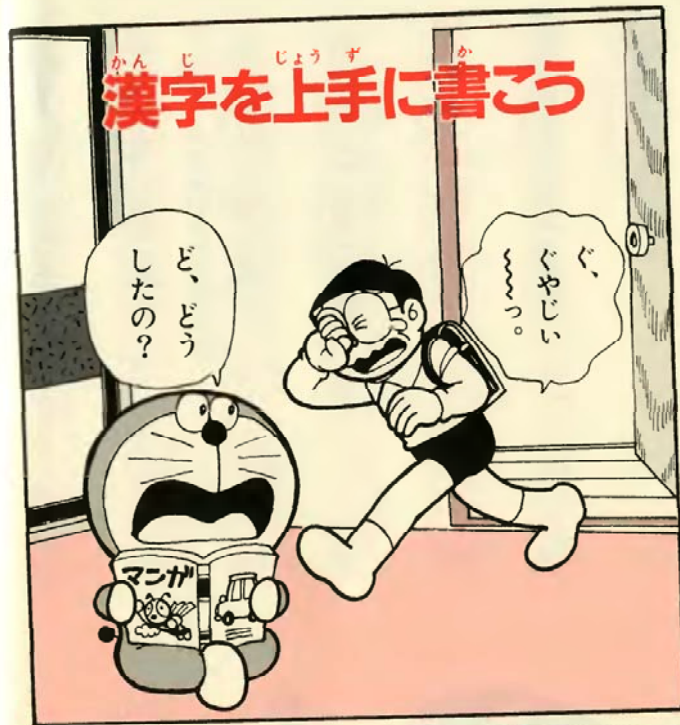
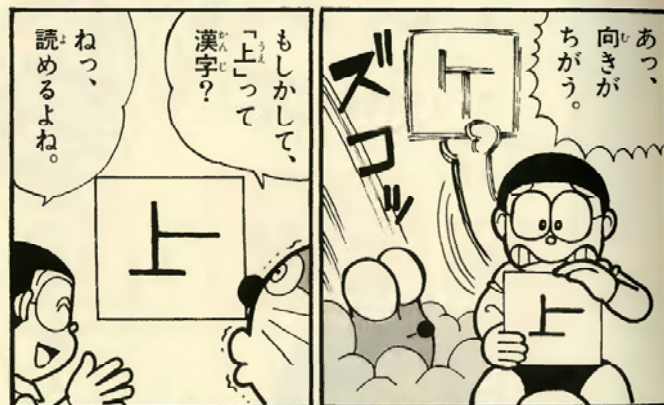
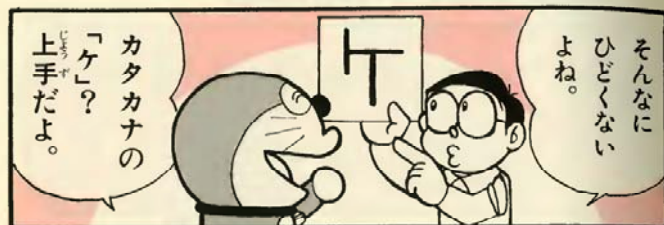
■4年生で習う漢字……………138

■5年生で習う漢字……………190

■6年生で習う漢字……………240

●音訓さくいん……………288





● 漢字を書くときの姿勢

というわけで、漢字を上手に書くコツは、

まず正しい姿勢から

上手な字を書くためには、まず、正しい姿勢を身につけよう。
だらしないポーズで字を書くと、だらしない字になってしまうよ。
さあ下の図を見て、チェック、チェック。



「歌って書ける
ひらがな・
カタカナ」でも
やったけど...

背もたれに
よりかからない。
少しはなす。

ひじは机の
上にのせない。

背すじを
のばす。

顔はノートに
近づけすぎ
ない。

足の裏が、
びったりゆかにつく。



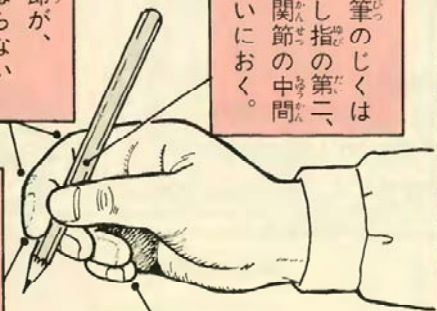
● 正しいえん筆の持ち方

えん筆のじくは
人さし指の第二、
第三関節の中間
ぐらいにおく。

小指が、
軽く用紙に
ふれる。

関節が、
角ばらない
ように力を
ぬく。

親指より人さし指の
ほうが少し前になる。



正しい姿勢で、
うまく書けた。

う~~~~ん。

正しい字の形、
「字形」が
ととのって
ないよ。

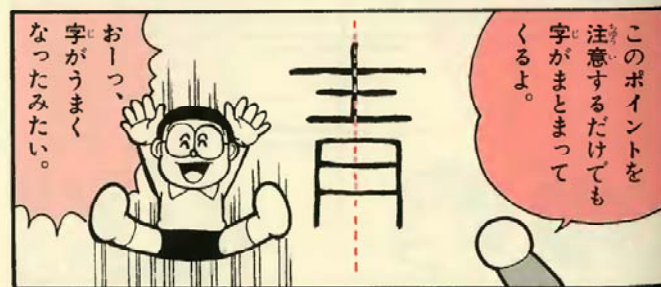
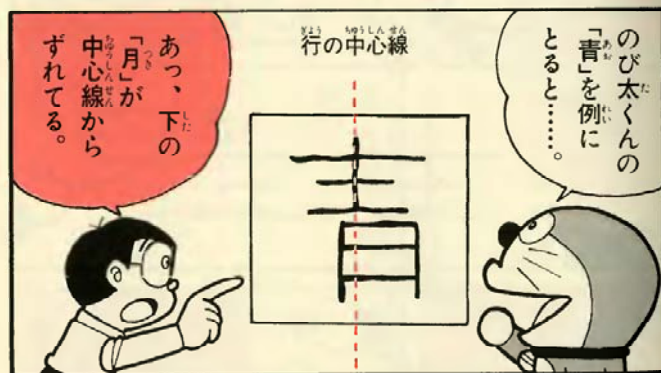
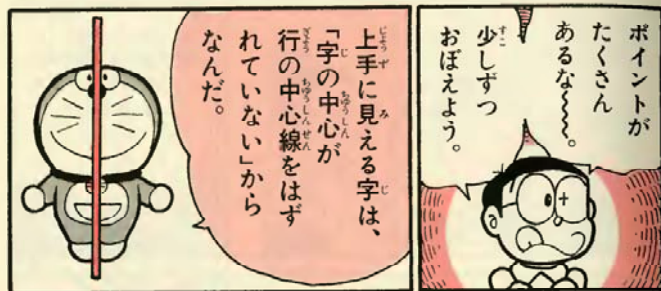
正しい「青」

のび太くんの
書いた「青」

青 青

なんか
ちがうね。





• 字形をととのえるコツ

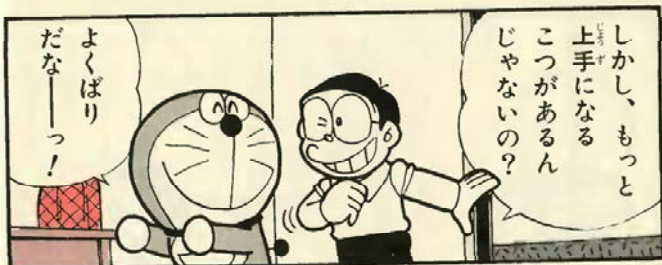
上手な字、きれいな字って、何だろう？
それは、どれだけ字の形「字形」がまとまっているかがポイントなんだ。ここでは、字形をととのえるためのコツをおぼえよう。



<p>文字の中心</p> <p>光</p> <p>中心に点画が集まる ような形の字。</p>	<p>点画の交わり方・ 接し方</p> <p>林</p> <p>右の木と左の木の 形に注意。</p>	<p>点画の長短</p> <p>青</p> <p>短 い。 長 い。</p>
<p>外形</p> <p>今</p>	<p>点画と点画の間</p> <p>曲</p>	<p>点画の方向</p> <p>友</p>

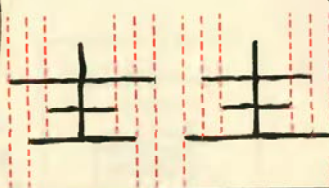
しかし、もっと
上手になる
こつがあるん
じゃないの？

よくばり
だなーっ！

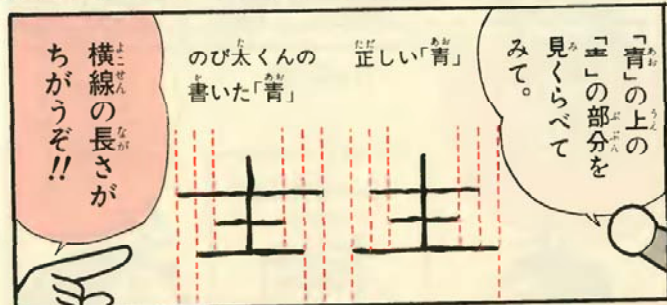


「青」の上の
「三」の部分
を見くらべて
みて。

正しい「青」
のび太くんの
書いた「青」

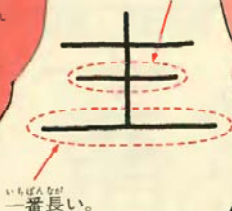


横線の長さが
ちがうぞ!!

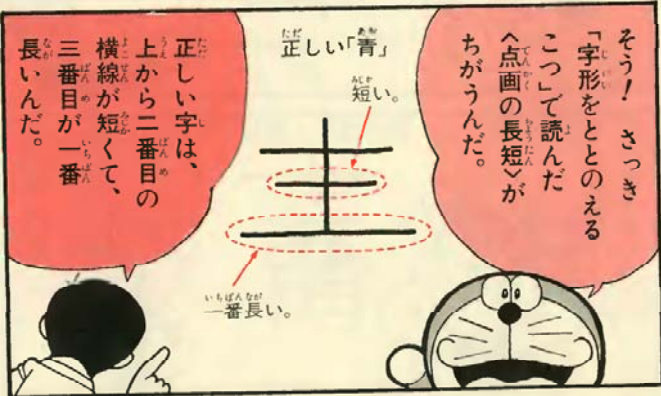


そう！ さつき
「字形をととのえる
こつ」で読んだ
へ点画の長短が
ちがうんだ。

正しい「青」
短い。



正しい字は、
上から二番目の
横線が短くて、
三番目が一番
長いんだ。



点画の長短を
まちがえると、
「青」が「青」じゃ
なくなっちゃう
よ。

正しい「青」
青むらさき？

青
青

点画の
長短さえ
おぼえれば、
漢字博士に
なれるかな。



もう一つ
大切な
ポイント。

まだ、
まだか！

「青」の下の
部分。

正しい
部分

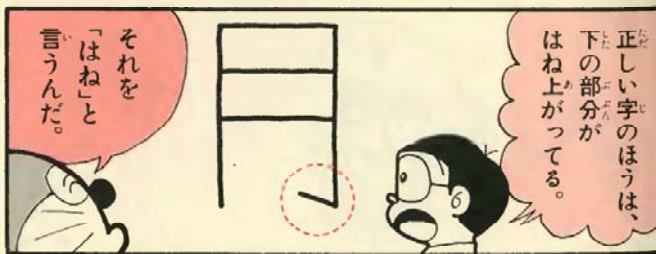
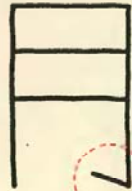


のび太くん
の部分



正しい字のほうは、
下の部分が
はね上がってる。

それを
「はね」と
言うんだ。



画のおわりの「とめ・はね・はらい」が、ちゃんと書けないと正しい字とは言えないよ。



とめ	画のおわりをながさずに、きつちり止める。
はね	画のおわりをはね上げる。
はらい	画のおわりをながすようにする。

「とめ」のふくまれる漢字

休

とめ

下

とめ

「はね」のふくまれる漢字

花

はね

月

はね

「はらい」のふくまれる漢字

天

はらい

大

はらい

あれ？

ただの「月」の場合、左の縦線が「はらい」になっているのに、

月

はらい

青

とめ



「青」の下の「月」は、「はらい」じゃないよ。

よく気がついたね。

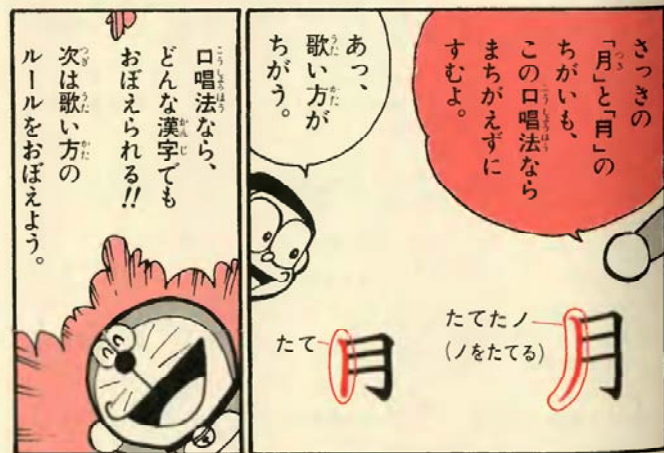
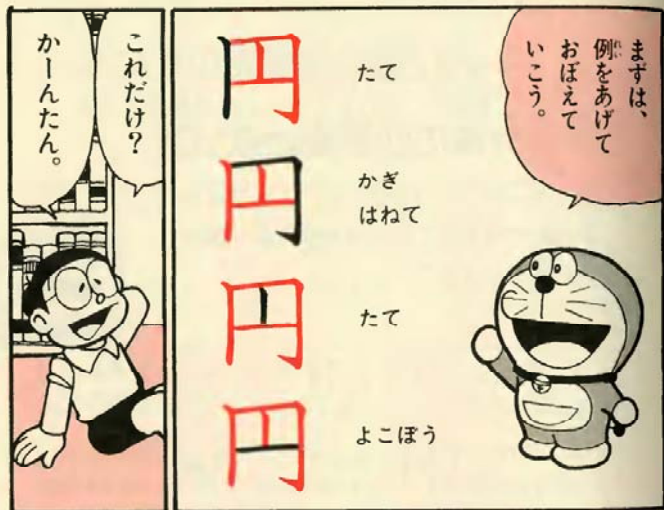


漢字を書くときに、よくまちがえるポイントなんだよ。

しかーし!! そんなまちがえもおこさない方法がある!!



漢字の書き順を歌いながら、楽しくおぼえられる方法。それが「口唱法」だよ。



② ふつうの部首名の歌い方

漢字の部首名(へんやつくり)を、^{うた}口^{かた}唱法では、どう歌うかを表にしました。



宀	ウとかいて [ウかんむり]	イ	ノイとかき [ぎょうにんべん]	儿	ひとのあし [ひとあし]
冫	ワとかいて [ワかんむり]	石	石をかき [いしへん]	夕	夕に右ばらい [なつあし・ふゆがしら]
艹	サとかいて (よこぼうかいて たて二本) [くさかんむり]	言	てん ^よ こよこ 口をかき [ごんべん]	凵	たてまげ たてぼう [うげばこ]
艹	ケを二つ (ケケとかき) [たけかんむり]	土	よこ たて もちあげ [つちへん]	冂	たて かぎはねて [どうがまえ]
人	ひとやね [ひとやね]	糸	くムとつづけて たて チョンチョン [いとへん]	又	フをつづけて 右ばらい [えんにょう]
扌	よこ たてはねて もちあげて [てへん]	冫	フにつづけて たてぼう長く [こぎとへん]	几	ルににた ^字 [つくえ]
ネ	ネとかいて [しめすへん]	冫	フにつづけて たてぼう長く [おおごと]	又	フに右ばらい [また]
禾	ノ木とかき [のぎへん]	ノ	ンをかき [にすい]	么	くムとつづけて [いとがしら]
イ	イをかいて [にんべん]	シ	シとかいて [さんずい]	乚	たすきがけ てん [しきがまえ・ ほこがまえ]
リ	たてぼう二本で おわりをはねる [りっとう]	女	ノ ^二 とかいて 左右にはらう [のぶん]	冫	チョンチョン たてぼう [りっしんべん]

① 歌い方のルール

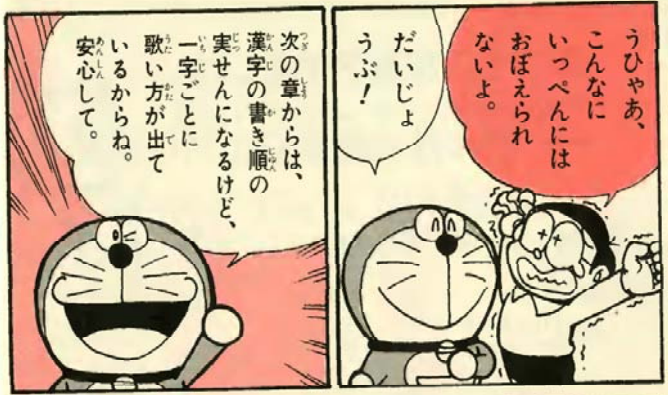
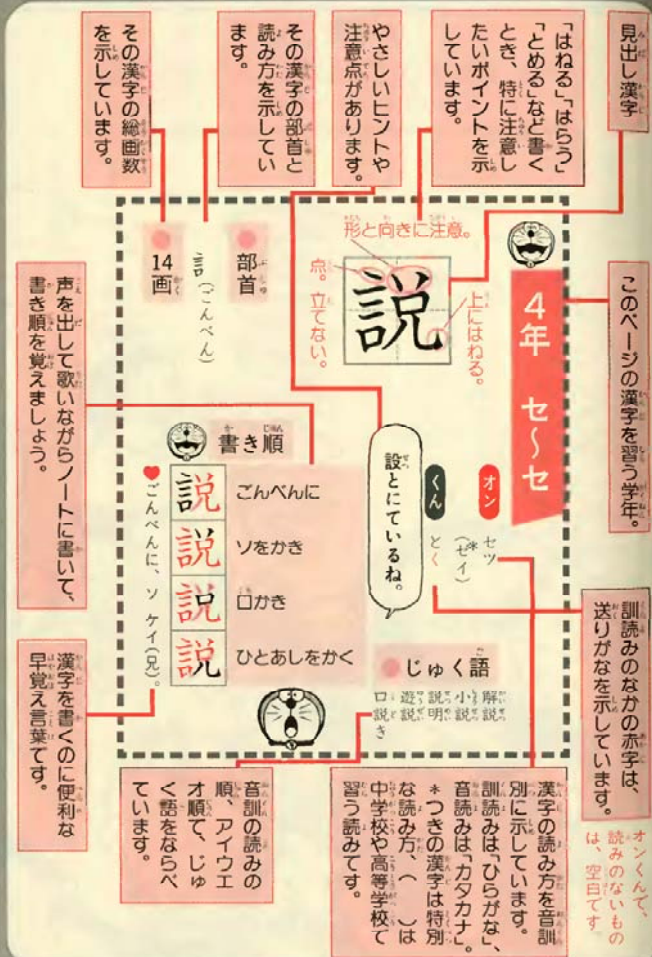
① 漢字分解の24要素と歌い方

漢字を一度バラバラにして、どんな点や線(画)からできているかをまとめ、歌い方の表にしました。



一	よこぼう (よこいち)	丨	たてぼう (たて)	フ	かぎまげ (うち)はね
一	よこはね (よこぼうはねる)	丨・レ	たてはね (たてぼうはねる)	乙・乙	かぎまげ (そと)はね
、	てん (チョン)	丨・ㄣ	たて(ぼう) まげはね	3・3	フにつづける
一	てん ^一	└	たてまげ	✓	もちあげる
一	ソ ^一	し	たてまげはねる	ノ	左ばらい
一	ノ ^一	ノ	たてたノ (ノをたてる)	ノ	右ばらい
ㄣ	ノフ(とつづける)	フ	かぎ	ノ・フ	左右にはらう
ㄣ	ヨのなか長く	フ	かぎはね	ノ	尚ばらい

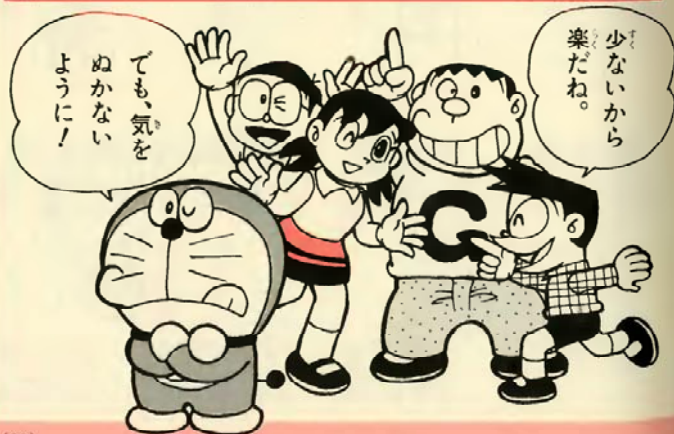
この本の見方



● 1年生の漢字もくじ ●

(80字・アイウエオ順にならんでいます。)

木本名目…42	二日入年…40	男竹中虫…38	千川先早…36	人水正生…34	車手十出…32	三山子四…30	空月犬見…28	花貝学気…26	一右雨円…24
立力林六…43	白八百文…41	町天田土…39	草足村大…37	青夕石赤…35	女小上森…33	糸字耳七…31	五口校左…29	九休玉金…27	王音下火…25



1年生で習う漢字





1画 一 (いち) 部首

書き順 よこぼう一つ 左から



オン イチ ひと

じゆく語 一日 (いちにち) 一人 (ひとり) 特別な読み方もおぼえよう。



5画 口 (くち) 部首

書き順 右は、一ノの書き順だよ。

右 右 右 右 右 右 右 右 右 右



じゆく語 右 (みぎ) 右 (みぎ) 右 (みぎ) 右 (みぎ) 右 (みぎ) 右 (みぎ) 右 (みぎ) 右 (みぎ) 右 (みぎ) 右 (みぎ)



8画 雨 (あめ) 部首

書き順 よこ たて かざはね

雨 雨 雨 雨 雨



オン ウ

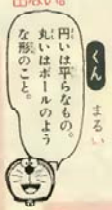
じゆく語 雨 (あめ) 雨 (あめ) 雨 (あめ) 雨 (あめ) 雨 (あめ) 雨 (あめ) 雨 (あめ) 雨 (あめ) 雨 (あめ) 雨 (あめ)



4画 口 (くち) 部首

書き順 たて かざはね

円 円 円 円



オン エン

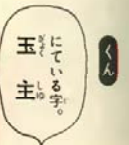
じゆく語 円 (えん) 円 (えん) 円 (えん) 円 (えん) 円 (えん) 円 (えん) 円 (えん) 円 (えん) 円 (えん) 円 (えん)



4画 玉 (たま) 部首

書き順 よこ たて よこて

王 王 王 王



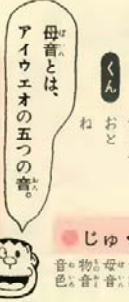
じゆく語 王 (おう) 王 (おう) 王 (おう) 王 (おう) 王 (おう) 王 (おう) 王 (おう) 王 (おう) 王 (おう) 王 (おう)



9画 音 (おと) 部首

書き順 てん ソ

音 音 音 音



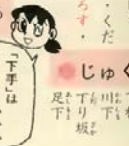
じゆく語 音 (おと) 音 (おと) 音 (おと) 音 (おと) 音 (おと) 音 (おと) 音 (おと) 音 (おと) 音 (おと) 音 (おと)



3画 一 (いち) 部首

書き順 よこぼう たてぼう

下 下 下



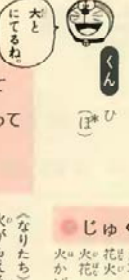
じゆく語 下 (した) 下 (した) 下 (した) 下 (した) 下 (した) 下 (した) 下 (した) 下 (した) 下 (した) 下 (した)



4画 火 (ひ) 部首

書き順 左チヨン 右チヨン

火 火 火



じゆく語 火 (ひ) 火 (ひ) 火 (ひ) 火 (ひ) 火 (ひ) 火 (ひ) 火 (ひ) 火 (ひ) 火 (ひ) 火 (ひ)

6画 部首 イ(にんべん)
 休 休 休
 かなのイに (にんべんに)
 漢字の木
 休とじているね

書き順 休 休 休

休 休 休
 休とじているね



オン キョウ
 くん やすまる やすまる やすめる

じゆく語 夏休 連休 休日を 休める

2画 部首 乙(おつ)
 九 九 九
 まげて上にはねる。

書き順 九 九 九

九 九 九
 ノをかいて かざまげ (そと)はねる



オン キョウ
 くん ク (ニの) 九は、 丸とじて いるな

じゆく語 九月 九月 九月 九月 九月 九月 九月 九月

8画 部首 金(かね)
 金 金 金
 くつつける。
 少しいちばん長く。

書き順 金 金 金

金 金 金
 ひとやねに よこぼう 二本で たてぼうひいて チョン チョン つけたら よこぼう長く

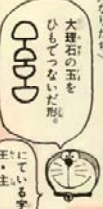
オン キン
 くん かね (金) 金とじているよ

じゆく語 金持 金持 金持 金持 金持

5画 部首 玉(たま)
 玉 玉 玉
 つき出ない。
 点をつけない。

書き順 玉 玉 玉

玉 玉 玉
 よこ たて よこ よこ



じゆく語 玉座 玉座 玉座 玉座 玉座

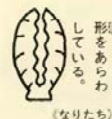
オン ガク
 くん まなこ

じゆく語 先生と 子どもが 交わって、 やりとり すること。

7画 部首 貝(かい)
 貝 貝 貝
 知(ち)はねる。
 おれてとめる。

書き順 貝 貝 貝

貝 貝 貝
 貝をかいて 貝をつける



オン かい
 くん 貝とじて いるよ

じゆく語 貝殻 貝殻 貝殻 貝殻 貝殻

7画 部首 艸(くさかんむり)
 花 花 花
 向(む)きに注意しよう。
 上(う)にはねる。

書き順 花 花 花

花 花 花
 よこぼうかいて たて二本 (くさかんむり) ノにたてつけて



オン カ
 くん はな

じゆく語 花壇 花壇 花壇 花壇 花壇

6画 部首 气(きがまこ)
 気 気 気
 ほうらう。
 右(みぎ)に注意しよう。
 そらして、はねる。

書き順 気 気 気

気 気 気 気
 ノに よこ二本 かざまげはねて なかにかたかなメをいれる



じゆく語 気配 気配 気配 気配 気配

8画 部首 子(こ)
 学 学 学
 めではない。
 横(よこ)に注意しよう。
 はねる。

書き順 学 学 学

学 学 学
 ツに ツをつけて こどもの子



じゆく語 先生と 子どもが 交わって、 やりとり すること。

空

まげる。 長い。

8画 心(あなかんむり) 部首

書き順

空 くに
空 空 空
空 空 空



空をとぶ
飛行機に
関係ある
言葉

空 空 空
空 空 空

空 空 空
空 空 空

空 空 空
空 空 空

空 空 空
空 空 空

空 空 空
空 空 空

空 空 空
空 空 空

空 空 空
空 空 空

空 空 空
空 空 空

空 空 空
空 空 空

空 空 空
空 空 空

空 空 空
空 空 空

空 空 空
空 空 空

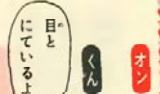
月

まげる。 長い。

4画 月(つき) 部首

書き順

月 ノをたて
月 月 月
月 月 月



目と
にているよ。

月 月 月
月 月 月

月 月 月
月 月 月

月 月 月
月 月 月

月 月 月
月 月 月

月 月 月
月 月 月

月 月 月
月 月 月

月 月 月
月 月 月

月 月 月
月 月 月

月 月 月
月 月 月

月 月 月
月 月 月

月 月 月
月 月 月

月 月 月
月 月 月

犬

まげる。 つける。

4画 犬(いぬ) 部首

書き順

犬 よこぼうに
犬 犬 犬
犬 犬 犬



犬 犬 犬
犬 犬 犬

犬 犬 犬
犬 犬 犬

犬 犬 犬
犬 犬 犬

犬 犬 犬
犬 犬 犬

犬 犬 犬
犬 犬 犬

見

まげる。 左下にはつつ。

7画 見(みる) 部首

書き順

見 たてかぎかいて
見 見 見
見 見 見



見 見 見
見 見 見

見 見 見
見 見 見

見 見 見
見 見 見

見 見 見
見 見 見

見 見 見
見 見 見

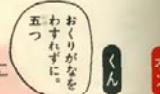
五

まげる。 長い。

4画 二(に) 部首

書き順

五 よこぼうに
五 五 五
五 五 五



おくりがなを
わすれずに

五 五 五
五 五 五

五 五 五
五 五 五

五 五 五
五 五 五

五 五 五
五 五 五

五 五 五
五 五 五

五 五 五
五 五 五

五 五 五
五 五 五

五 五 五
五 五 五

五 五 五
五 五 五

五 五 五
五 五 五

五 五 五
五 五 五

五 五 五
五 五 五

五 五 五
五 五 五

口

まげる。 全体に下が
せまくなる。

3画 口(くち) 部首

書き順

口 たて
口 かぎかいて
口 そこふさく



くち
クウ

口 口 口
口 口 口

口 口 口
口 口 口

口 口 口
口 口 口

口 口 口
口 口 口

口 口 口
口 口 口

口 口 口
口 口 口

口 口 口
口 口 口

口 口 口
口 口 口

口 口 口
口 口 口

口 口 口
口 口 口

口 口 口
口 口 口

口 口 口
口 口 口

口 口 口
口 口 口

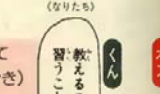
校

立てる。 文ではな

10画 オ(きへん) 部首

書き順

校 木をかいて
(木へんかき)
校 校 校
校 校 校



習うことが
変わる。

校 校 校
校 校 校

校 校 校
校 校 校

校 校 校
校 校 校

校 校 校
校 校 校

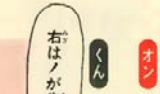
左

まげる。 少し長い。

5画 工(え) 部首

書き順

左 よこぼうに
左 左 左
左 左 左



右はノが先。

左 左 左
左 左 左

左 左 左
左 左 左

左 左 左
左 左 左

左 左 左
左 左 左



いちばん短く。いちばん長い。

3画 一 (いち) 部首

書き順 まんなか短くよこぼう三本

オン くん



じゆく語 三日月の子 三日月の子 三日月の子

長くおろす。少してはななめにおれる。

3画 山 (やま) 部首

書き順 高いたて

オン くん

山 たてまげ 山 石もたておろす



じゆく語 山は高い 山は高い 山は高い

大きくはねる。ふくらむようにおろして、はねる。

3画 子 (こ) 部首

書き順 かたかなのフをかいて

オン くん

子子子子 よこ長く



じゆく語 子は様調子 子は様調子 子は様調子

6画 子 (こ) 部首

立てる。長い。はねる。はねる。



ふくらませてはねる。

書き順 ウをかいて(ウかんむり) こどもの子

オン くん



じゆく語 大文字の字 大文字の字 大文字の字

ななめにおれる。横にのびる。

6画 糸 (いと) 部首



小さくはらう。

書き順 糸とて

オン くん

糸とて 糸とて 糸とて



じゆく語 糸を糸とて 糸を糸とて 糸を糸とて

5画 四 (よ) 部首

まげの。横長になるように書く。

書き順 たて

オン くん

四 四 四 四 四 四

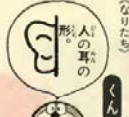
じゆく語 四角の字 四角の字 四角の字

6画 耳 (みみ) 部首

上につき出ない。下に長くへ。



書き順 よこぼう



じゆく語 耳の形 耳の形 耳の形

2画 一 (いち) 部首

少しななめに。まろみをもたせて、まげる。



書き順 よこぼうに

オン くん

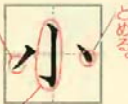
七 七 七 七



じゆく語 七夕の日 七夕の日 七夕の日

声を出して歌って書いて

3画 小(しょう) 部首



まつすぐおろして、はねる。

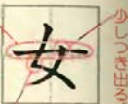
書き順

Table with stroke order for 小: たてぼうはねて, 左チヨン, 右チヨン



じゆく語: 小川, 小指, 小豆, 小数, 小島, 小学

3画 女(おんな) 部首



右下におねる。

書き順

Table with stroke order for 女: く, ノ, ニ



じゆく語: 女神, 女房, 女中, 女学生, 女主人, 女忍者

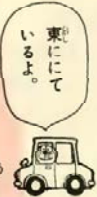
7画 車(くるま) 部首



いちばん長く。

書き順

Table with stroke order for 車: よこ白, よこぼろ, たて長く



じゆく語: 車水, 車道, 車手, 車作, 車話, 車手歌

4画 手(て) 部首



ふくらむようにおろして、はねる。

書き順

Table with stroke order for 手: ノをかいて, よこぼう二本, たてまげはねる



じゆく語: 手歌, 手作, 手話, 手歌

12画 木(き) 部首



こめる。

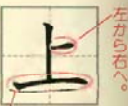
書き順

Table with stroke order for 森: 木をかいて, また木をかいて, もひとつ木



じゆく語: 森林, 森人, 森獣, 森草, 森方

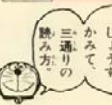
3画 一(いち) 部首



長い。

書き順

Table with stroke order for 上: たて, よこかいて, よこぼう長く



じゆく語: 上手, 上り坂, 上る, 上り, 上る方, 上る人, 上る下

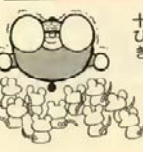
2画 十(じゅう) 部首



横線のまん中をとす。

書き順

Table with stroke order for 十: よこぼうかいて, たてほうおろす



じゆく語: 十日, 十日法, 十日夜, 十色, 十人

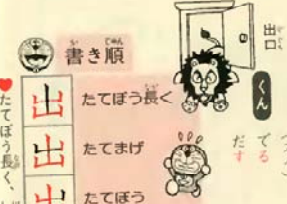
5画 出(い) 部首



まつすぐおろす。

書き順

Table with stroke order for 出: たてぼう長く, たてまげ, たてぼつ, もひとつ, たてまげ, たてぼうつける



じゆく語: 出口, 出物, 出物, 出物, 出物, 出物

声を出して歌って書いて

12画 木(き) 部首



こめる。

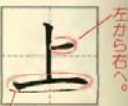
書き順

Table with stroke order for 森: 木をかいて, また木をかいて, もひとつ木



じゆく語: 森林, 森人, 森獣, 森草, 森方

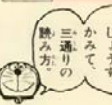
3画 一(いち) 部首



長い。

書き順

Table with stroke order for 上: たて, よこかいて, よこぼう長く



じゆく語: 上手, 上り坂, 上る, 上り, 上る方, 上る人, 上る下



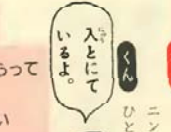
右下にはらう。

2画 人(ひと) 部首



書き順

人 左にはらって
人 右ばらい



入とにて
いるよ。

名前
人 人 人 人
通 通 通 通
り 前

特別な読み方
大人

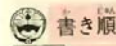
じゆく語
人 人 人 人
通 通 通 通
り 前

二人 大人



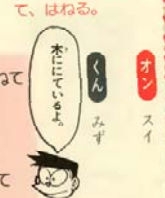
まつすぐおろして、はねる。

4画 水(みず) 部首



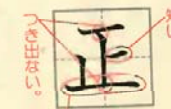
書き順

水 たてほうはねて
水 フをかいて
水 左にはらって
水 石ばらい



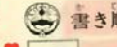
水 水 水 水
着 大 水 水
通 通 中 温

氷 → 氷



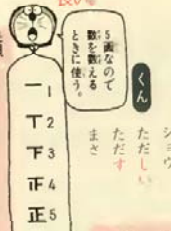
長い。

5画 止(とどめる) 部首



書き順

正 よこ
正 たて
正 よこ
正 たて
正 よこ
正 よこ



5画なので
形を覚える
ときに使う

名前
人 人 人 人
通 通 通 通
り 前

特別な読み方
大人

じゆく語
正 正 正 正
面 面 面 面
形 形 形 形

よこぼう長く



まつすぐおろして、はねる。

5画 生(うまれる) 部首



書き順

生 ノの
生 たて
生 よこ二本
生 よこ二本



先生
先生
先生
先生
先生
先生
先生
先生

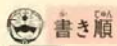
じゆく語
生 生 生 生
地 水 水 物

いろいろな読み方
生け花
生い立ち



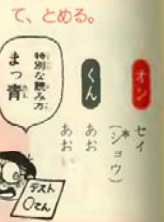
まつすぐおろして、とめる。

8画 青(あお) 部首



書き順

青 よこ たて
青 よこ よこ
青 たて
青 かざはねて
青 なかに二本の
よこぼういれる



青 青 青 青
菜 空 色 色

じゆく語
青 青 青 青
菜 空 色 色



まつすぐおろして、はねる。

3画 夕(ゆうぐ) 部首



書き順

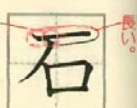
夕 ノに
夕 フをのぼし
夕 てんつける



夕 夕 夕 夕
焼 日 方 夕
け

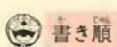
じゆく語
夕 夕 夕 夕
焼 日 方 夕
け

夜:夕:昼:朝:



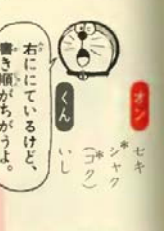
まつすぐおろして、はねる。

5画 石(いし) 部首



書き順

石 よこぼうに
石 ノをつけて
石 たて
石 かざかいて
石 そことじる



石 石 石 石
小 石 石 石
石 期 夕 石
石 石 油 石

じゆく語
石 石 石 石
小 石 石 石
石 期 夕 石
石 石 油 石



まつすぐおろして、はねる。

7画 赤(あか) 部首



書き順

赤 よこ たて
赤 よこ
赤 たてノに
赤 たてぼう
赤 はねたら
赤 かなの八つつける



赤 赤 赤 赤
赤 赤 赤 赤
赤 赤 赤 赤
赤 赤 赤 赤

じゆく語
赤 赤 赤 赤
赤 赤 赤 赤
赤 赤 赤 赤
赤 赤 赤 赤

赤 赤 赤 赤
赤 赤 赤 赤
赤 赤 赤 赤
赤 赤 赤 赤



1年 セ〜ソ 声を出して歌って書こう

千 部首: 十 (じゅう) 3画

横線のまん中をとおす。

書き順
ノをかくて
よこぼう
かいたら
たて長く

じゆく語
千代紙 千代紙
千代紙 千代紙
千代紙 千代紙

先 部首: 儿 (ひとあし) 6画

短くはらう。

書き順
ノの
たてて
よこ長く

じゆく語
先月 今月 来月



川 部首: 川 (かわ) 3画

短くおろす。

書き順
たてたノに
まんなか
たてぼう
右たて長く



早 部首: 日 (ひ) 6画

横線のまん中をとおす。

書き順
たて
かざ
よこ
下に干

じゆく語
早稲 早口 早朝 早急 早わざ



1年 ソ〜タ 声を出して歌って書こう

足 部首: 足 (あし) 7画

ながめると下に長くはらう。

書き順
たて かざ
よこぼう
たてぼうかいて
よこぼう短く
人をかく

じゆく語
満足 読み方

草 部首: 艹 (くさかんむり) 9画

長い。

書き順
くさかんむりに
(はこぼう たてたて)
白をかくて

じゆく語
草原は、
くさばら
とも読む。

大 部首: 大 (だい) 3画

くつつけて、右
下にはらう。

書き順
よこぼうて
左にはらうて
右ばらい

じゆく語
大人 特別な
読み方

村 部首: 木 (きへん) 7画

短くとめる。
点をわすれない。

書き順
木をかくて
(きへんに)
よこ
たてはねて
てんをつける

じゆく語
村人 村道 村長 市町村



男

はねる。
はらう。

7画 田(た) 部首

書き順

男男男男男
たて かぎ
たて よこ
そこじて
かぎまげはねて
ノをつける



オン
ナン
ダン
おとこ

じゆく語
男男男男男
男男男男男
男男男男男
男男男男男

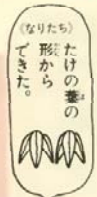
竹

はらう。
はねる。
はねる。
はねる。

6画 竹(たけ) 部首

書き順

竹竹竹竹竹
ノ ニ
たてぼう
ノ ニ
たてはね



じゆく語
竹竹竹竹竹
竹竹竹竹竹
竹竹竹竹竹
竹竹竹竹竹

中

まん中をつきとおす。

4画 丨(たてぼう) 部首

書き順

中中中中中
たて
かぎ
よこて
まんなかたてぼう

オン
チュウ
なか
まんなかのこと。
高—中—低

じゆく語
中中中中中
中中中中中
中中中中中
中中中中中

虫

まん中をつきとおす。
はらう。
はらう。
はらう。

6画 虫(むし) 部首

書き順

虫虫虫虫虫
口をひらたく
たてぼうかいて
したから
もちあげ
てんつれる



オン
チュウ
むし
中・足と
にている

じゆく語
虫虫虫虫虫
虫虫虫虫虫
虫虫虫虫虫
虫虫虫虫虫

町

はねる。
少し下から、横にのぼす。

7画 田(た) 部首

書き順

町町町町町
たんぼの田
よこぼう
かいたら
たてぼう
はねる



じゆく語
町町町町町
町町町町町
町町町町町
町町町町町

天

つける。
上のほうが長い。
はらう。
つき出ない。

4画 大(だい) 部首

書き順

天天天天天
よこぼう長く
短いはこぼう
そしてさいごに
人をかく



じゆく語
天天天天天
天天天天天
天天天天天
天天天天天

田

まん中を縦にまっすぐ。

5画 田(た) 部首

書き順

田田田田田
たて
かぎかいて
なかにたて
よこ
そこじてる



じゆく語
田田田田田
田田田田田
田田田田田
田田田田田

土

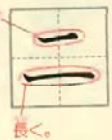
まん中におろす。
はらう。
上の横棒より長く。

3画 土(つち) 部首

書き順

土土土土土
よこ
たてかいて
よこぼう長く

じゆく語
土土土土土
土土土土土
土土土土土
土土土土土

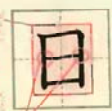


2画
部首
二(に)

書き順
よこぼう二本
下長く

特別な読み方
二人 二十日 二十才
二日

じゆく語
ふた 二二二二二二
ふたつ 二二二二二二
ふたつ 二二二二二二



4画
部首
日(に)

書き順
日 たてぼう
日 かぎて
日 よこぼう二本

特別な読み方
明日 今日 一日

月・日に
にているよ。
くん ニチ
か ひ ジツ

じゆく語
二二二二二二
二二二二二二
二二二二二二



2画
部首
入(い)

書き順
入 左にはらって
入 右はらい



じゆく語
入 入 入 入 入
れり 金 字 学 会
物 口



6画
部首
干(かん)

書き順
年 ノと つづけて
年 よこ
年 たてチヨン
年 よこぼう
年 かいたら
年 たて長く

去年 今年 来年
くん ン
とし

じゆく語
年 年 年 年 年
上 内 月 日 年



5画
部首
白(しろ)

書き順
白 ノをかいて
白 たてぼう
白 かぎて
白 よこ二本



特別な読み方
白 白 白 白 白
雪 星 夜 鳥 白

じゆく語
白 白 白 白 白
雪 星 夜 鳥 白

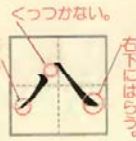


6画
部首
白(しろ)

書き順
百 よこ二に
百 ノをつけて
百 たて かぎ
百 かいたら
百 よこ二本

特別な読み方
八百屋・八百長

じゆく語
百 百 百 百 百
貨 典 科 点 事
店 事



2画
部首
八(はち)

書き順
八 左にはらって
八 右はらい

特別な読み方
八 八 八 八 八
分 分 分 分 分

じゆく語
ハ 入 人
ハ 入 人
ハ 入 人
ハ 入 人



4画
部首
文(ぶん)

書き順
文 てん 二て
文 左にはらって
文 右はらい



じゆく語
文 文 文 文 文
月 句 字 通 文



木 部首
4画

まっすぐおろして、とめる。

書き順

木 よこ
木 たてがいて
木 左にはらって
木 右はらい

●じゆく語
水の本 木の手
木の本 木の葉
草の木 木の材
木の本 木の枝

オクン ホン
くん もと

森の林の字
なまかま
くん
くん

モク ボク
ゴキ

●じゆく語
木にはらって
右はらい

本 部首
5画

短く、とめる。

書き順

本 よこ
本 たてがいて
本 左にはらって
本 右はらい
本 そして さいごに
本 ねもとに よこぼう

●じゆく語
日本は
こにはんごっぽん
とももつよ。

オクン ホン
くん もと

●じゆく語
大の本 木の枝
大の本 木の葉
大の本 木の材
大の本 木の枝

名 部首
6画

短くはらう。

書き順

名 かたかなで夕
名 ロとかく

●じゆく語
名は、人の数を
数えるときにも
使うよ。

四十名

オクン
くん
くん

夕・名に
にているね。

メイ
ミヨウ

目 部首
5画

短くはらう。

書き順

目 たてぼう
目 かぎて
目 よこぼう
目 そしておわりに
目 そこをふさぐ

●じゆく語
目に
目にて
いるよ。

オクン
くん
くん

●じゆく語
目に
目にて
いるよ。

モク
め

立 部首
5画

立(たち)

書き順

立 てん
立 ソ
立 ニ

●じゆく語
市・音に
にているよ。

オクン
くん
くん

●じゆく語
地面に立つと
いう意味。

リツ
リツ
リツ

たつ
たつ
たつ

力 部首
2画

上につき出る。

書き順

力 かぎまげはねて
力 ノをいれる

●じゆく語
力(ちから)

オクン
くん
くん

●じゆく語
力(ちから)

リョク
リキ
リキ

ちから
ちから

林 部首
8画

短くとめる。

書き順

林 木と
林 木

●じゆく語
村・材に
にているね。

オクン
くん
くん

●じゆく語
「林は
ジャンクル
かな?」
そんな字
ないよ。

リン
はやし

六 部首
4画

立てる。

書き順

六 てん
六 左にはらって
六 右はチョン

●じゆく語
穴に
いてるよ。

オクン
くん
くん

●じゆく語
六(む)

ロク
む

む

●じゆく語
六(む)

ロク
む

●2年生の漢字もくじ●

(160字・アイウエオ順にならんでいます。)

引羽雲園…46	遠何科夏…47	家歌画回…48	会海絵外…49
角楽活間…50	丸岩顔汽…51	記帰弓牛…52	魚京強教…53
近兄形計…54	元言原戸…55	古午後語…56	工公広交…57
光考行高…58	黄合谷国…59	黒今才細…60	作算止市…61
矢姉思紙…62	寺自時室…63	社弱首秋…64	週春書少…65
場色食心…66	新親回数…67	西声星晴…68	切雪船線…69
前組走多…70	太体台地…71	池知茶昼…72	長鳥朝直…73
通弟店点…74	電刀冬当…75	東答頭同…76	道読内南…77
肉馬売買…78	麦半番父…79	風分聞米…80	步母方北…81
毎妹万明…82	鳴毛門夜…83	野友用曜…84	来里理話…85

2年生で習う漢字



2年

2年

7画 部首 何 (いんべん)

はらう。 何

書き順

何 (いんべんに) (イをかくて)
 何 よこ一
 何 口て
 何 たてはねる

じゆく語

何 荷 何 伺 何 向

13画 部首 遠 (しんによ)

はらう。 遠

書き順

遠 土 白 イ 小
 遠 遠 遠 遠 遠

じゆく語

遠 遠 遠 遠 遠

10画 部首 夏 (なつあし)

はらう。 夏

書き順

夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏
 夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏

じゆく語

夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏 夏

9画 部首 科 (のぎへん)

はらう。 科

書き順

科 木とカキ (のぎへんに) てんてん二
 科 干をか

じゆく語

料 科 料 科 料 科

6画 部首 羽 (はね)

はねる。 羽

書き順

羽 羽 羽
 羽 カギはね (ウ)
 羽 カギはね (ウ)
 羽 カギはね (ウ)

じゆく語

羽 羽 羽 羽 羽

4画 部首 引 (ゆみへん)

はねる。 引

書き順

引 引 引 引
 引 コをかくて (ハ)
 引 ノにつけて (ハ)
 引 カギをはね (ハ)
 引 右にたてぼう (ハ)

じゆく語

引 引 引 引 引

13画 部首 園 (くにがまえ)

はらう。 園

書き順

園 園 園 園 園 園 園 園
 園 たて (カ) かくて
 園 はかに土 (カ)
 園 白 (カ)
 園 イ (カ)
 園 そこぶさく (カ)

じゆく語

園 園 園 園 園

12画 部首 雲 (あめかむり)

はねる。 雲

書き順

雲 雲 雲 雲 雲 雲 雲 雲
 雲 よこぼう (カ)
 雲 フをかき (カ)
 雲 たてかくて (カ)
 雲 チヨン (カ)
 雲 チヨン (カ)
 雲 四つて (カ)
 雲 ニムとカ (カ)

じゆく語

雲 雲 雲 雲 雲

2年 エカ 声を出して歌って書く

2年 イエ 声を出して歌って書く

9画 部首 海 (さんずい)
 点の位置に注意。
 海 (うみ) の 海 (うみ) の 海 (うみ) の

書き順
 さんずい (シをかいて)
 ノ 一とつづけ
 く かざまげ
 はねて
 なかをしきって
 よこぼう長く

海女 海原 読みが 特別を

海 (うみ) 海 (うみ) 海 (うみ) 海 (うみ) 海 (うみ) 海 (うみ) 海 (うみ) 海 (うみ) 海 (うみ) 海 (うみ)

じゆく語
 外海 海中 海水 外海 海中 海水 外海 海中 海水

6画 部首 会 (ひとやね)
 つける。
 上の横棒より長い。

書き順
 ひとやねに
 よこぼう二本で
 ムをつける

今・合に
 今・合に
 今・合に
 今・合に

会 (かい) 会 (かい) 会 (かい) 会 (かい) 会 (かい) 会 (かい) 会 (かい) 会 (かい) 会 (かい) 会 (かい)

じゆく語
 会 (かい) 会 (かい) 会 (かい) 会 (かい) 会 (かい) 会 (かい) 会 (かい) 会 (かい) 会 (かい) 会 (かい)

5画 部首 夕 (ゆうべ)
 つき出さない。
 外 (そと) の 外 (そと) の 外 (そと) の

書き順
 かたかなで夕
 トとカク

夕 (ゆうべ) 夕 (ゆうべ) 夕 (ゆうべ) 夕 (ゆうべ) 夕 (ゆうべ) 夕 (ゆうべ) 夕 (ゆうべ) 夕 (ゆうべ) 夕 (ゆうべ) 夕 (ゆうべ)

じゆく語
 外 (そと) 外 (そと) 外 (そと) 外 (そと) 外 (そと) 外 (そと) 外 (そと) 外 (そと) 外 (そと) 外 (そと)

12画 部首 糸 (いとへん)
 くつつける。
 絵 (え) の 絵 (え) の 絵 (え) の

書き順
 糸へんでく ムとつづけて
 ひとやねつけて
 ニ
 ムとカク

糸 (いと) 糸 (いと) 糸 (いと) 糸 (いと) 糸 (いと) 糸 (いと) 糸 (いと) 糸 (いと) 糸 (いと) 糸 (いと)

じゆく語
 糸 (いと) 糸 (いと) 糸 (いと) 糸 (いと) 糸 (いと) 糸 (いと) 糸 (いと) 糸 (いと) 糸 (いと) 糸 (いと)

14画 部首 欠 (あくじ)
 つき出る。
 欠 (あくじ) の 欠 (あくじ) の 欠 (あくじ) の

書き順
 よこ一
 口一
 よこ一
 はね
 ノ フと
 つづけて
 人をかく

欠 (あくじ) 欠 (あくじ) 欠 (あくじ) 欠 (あくじ) 欠 (あくじ) 欠 (あくじ) 欠 (あくじ) 欠 (あくじ) 欠 (あくじ) 欠 (あくじ)

じゆく語
 欠 (あくじ) 欠 (あくじ) 欠 (あくじ) 欠 (あくじ) 欠 (あくじ) 欠 (あくじ) 欠 (あくじ) 欠 (あくじ) 欠 (あくじ) 欠 (あくじ)

10画 部首 宀 (かんむり)
 立てる。
 家 (いへ) の 家 (いへ) の 家 (いへ) の

書き順
 ウかんむり (ウをかいて)
 よこぼう
 ノをかき
 たてまげはねて
 ノ ノと
 つづけて
 左右にはらう

家 (いへ) 家 (いへ) 家 (いへ) 家 (いへ) 家 (いへ) 家 (いへ) 家 (いへ) 家 (いへ) 家 (いへ) 家 (いへ)

じゆく語
 家 (いへ) 家 (いへ) 家 (いへ) 家 (いへ) 家 (いへ) 家 (いへ) 家 (いへ) 家 (いへ) 家 (いへ) 家 (いへ)

6画 部首 口 (くにかまえ)
 少し下かげばまるように。
 回 (まわ) の 回 (まわ) の 回 (まわ) の

書き順
 大きいたて
 かぎ
 なかに口
 よこ一かいて
 そこふさぐ

回 (まわ) 回 (まわ) 回 (まわ) 回 (まわ) 回 (まわ) 回 (まわ) 回 (まわ) 回 (まわ) 回 (まわ) 回 (まわ)

じゆく語
 回 (まわ) 回 (まわ) 回 (まわ) 回 (まわ) 回 (まわ) 回 (まわ) 回 (まわ) 回 (まわ) 回 (まわ) 回 (まわ)

8画 部首 田 (た)
 下につき出さない。
 画 (えが) の 画 (えが) の 画 (えが) の

書き順
 よこ
 たて かぎて
 たてぼうしきり
 よこぼう二本
 うげばこをかく
 (たてまげ たて)

画 (えが) 画 (えが) 画 (えが) 画 (えが) 画 (えが) 画 (えが) 画 (えが) 画 (えが) 画 (えが) 画 (えが)

じゆく語
 画 (えが) 画 (えが) 画 (えが) 画 (えが) 画 (えが) 画 (えが) 画 (えが) 画 (えが) 画 (えが) 画 (えが)

8画

部首

一(なぐぶた)

京

はねる。

書き順

てん
口
小をかく



オン
キヨウ

じゆく語
東京 京都 京都市
国の中心の
都府のこと
いまは、
東京

少し長めにはらう。

11画

部首

魚(うお)

魚

点の向きに注意。

書き順

ク
田
てん 四つ

オン
キヨ

じゆく語
魚市場
魚屋



10画

部首

巾(はば)

帰

長くはらう。

書き順

リをかいて
ヨ
たて
かざはねて
たてぼう長く

オン
キ

じゆく語
帰り道
帰宅

10画

部首

言(ごんべん)

記

上に長くのばさない。

書き順

ごんべんに
コ
たてまげはねる

オン
キ

じゆく語
日記



2年 キキ 声を出して歌って書こう

11画

部首

文(ぶん)

教

はねる。

書き順

よこ たて
よこて
ノをかいて
字をつけ
ノ 二て
左右にはらう

オン
キヨウ

じゆく語
教室
教師
教育

11画

部首

弓(ゆみへん)

強

少し右上加りにつける。

書き順

コをかいて
ノにつづけて
かざはね
かなのム
下に虫をかく

オン
キヨウ

じゆく語
強気
強引
強気



4画

部首

牛(うし)

牛

短くはらう。

書き順

ノに
よこ二本
たて長く

オン
ギョウ

じゆく語
特物
牛乳

3画

部首

弓(ゆみ)

弓

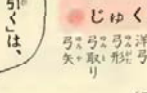
全体がななめになるように。

書き順

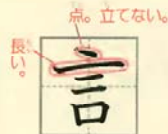
コをかいて
ノにつづけて
かざはねる

オン
ユミ

じゆく語
弓矢
弓取り



7画 言(げん) 部首



書き順
てん 一て
よこぼう二本
口をかく

信(しん)とて
いるよ。
くん
オン

4画 儿(ひとあし) 部首



書き順
よこ二本
下にノをかき
たてまげはねる

天(てん)先とて
いるよ。
くん
オン



じゆく語
元身元元元
手元日首首首

5画 儿(ひとあし) 部首



書き順
口に
ノをかき
たてまげはねる

只(ただ)とて
いるよ。
くん
オン



お兄さん
読み方
特別な

じゆく語
兄兄兄兄兄
貴上父長兄
貴上父長兄

7画 辵(しんによう) 部首



書き順
ノにノをたてて
よこ たてて
左に犬さく
しんにようつける

辺(へ)に
いてるよ。
くん
オン



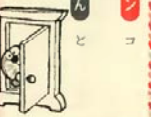
じゆく語
近近近近近
付付付付付
近近近近近

2年 ケ〜コ

4画 戸(と) 部首



書き順
よこぼうて
コ
ノとかく



じゆく語
一戸は
同じ
家の
数を
数える
のに
使う
言葉

10画 厂(がんだれ) 部首



書き順
よこ二
ノをつけ
白に
小

特別な読み方
海原・川原・河原



じゆく語
野原野原野原
原原原原原

9画 言(げん) 部首



書き順
ごんべんに
よこぼう
かいたら
たておろす

計(けい)とて
いるよ。
くん
オン

体温計
温度計
時計
はかる
道具

7画 多(さんぶくり) 部首



書き順
よこぼう二本
たてたノ
たてぼう
そしてとなり
ノガ三つ

刑(けい)とて
いるよ。
くん
オン

いろいろな形
長方形
正方形
円形
ひし形

じゆく語
曲形人形外
形見形式形

2年 キ〜ケ 声を出して歌って書こう

4画 八(はちがしら) 部首

公 (こう) 書き順
とめる。

書き順
公 (こう)
ムとつけて
コウとよむ

私 (ひな) 反対語
くん
オン
コウ
(おおやけ)



じゆく語
公(こう) 公(こう) 公(こう) 公(こう)
立(た) 立(た) 立(た) 立(た)

3画 エ(え) 部首
上(うへ)の横棒より長(なが)く。

工 (こう) 書き順
つき出(で)さない。

書き順
工 (こう)
よこ
工 (こう)
たて
工 (こう)
よこで下(した)長(なが)く



土 (ど) 土 (ど) 土 (ど) 土 (ど)
手 (て) 手 (て) 手 (て) 手 (て)
に(に)て(て)い(い)

じゆく語
大(だい)工(こう) 工(こう) 工(こう) 工(こう)
大(だい)工(こう) 工(こう) 工(こう) 工(こう)

4画 十(じゅう) 部首
つき出(で)さない。

午 (ご) 書き順
上(うへ)の横棒より長(なが)く。

書き順
午 (ご)
ノニ
よこぼう
たて
たて
たて



牛 (うし) のて(て)に(に)い(い)る(る)

じゆく語
正(せい)午(ご) 子(し)午(ご) 午(ご) 午(ご)
正(せい)午(ご) 子(し)午(ご) 午(ご) 午(ご)

5画 口(くち) 部首
口(くち)は、少(すく)し下(した)が(が)け(け)ま(ま)る(る)。

古 (こ) 書き順
右(みぎ)と(と)い(い)て(て)い(い)る(る)よ(よ)。

書き順
古 (こ)
よこぼう
たて
たて
口(くち)を(を)か(か)く

新(あらた)大(だい)反(はん)対(たい)語(ご)
右(みぎ)と(と)い(い)て(て)い(い)る(る)よ(よ)。

古(こ)代(だい)人(じん) 古(こ)代(だい)人(じん) 古(こ)代(だい)人(じん) 古(こ)代(だい)人(じん)

じゆく語
古(こ)代(だい)人(じん) 古(こ)代(だい)人(じん) 古(こ)代(だい)人(じん) 古(こ)代(だい)人(じん)

6画 ヌ(なべふた) 部首
立(た)て(て)る(る)。

交 (かう) 書き順
とめる。

書き順
交 (かう)
てんニ
ハをかき
左右(さゆう)にはらう

おくりが(が)な(な)に(に)注(ちゅう)意(い)
くん
オン
コウ
まじわ(わ)る(る)
(か)



じゆく語
交(かう) 交(かう) 交(かう) 交(かう)
交(かう) 交(かう) 交(かう) 交(かう)

5画 广(まだだれ) 部首
立(た)て(て)る(る)。

広 (こう) 書き順
とめる。

書き順
広 (こう)
てんニ
ノをつけ
ハをいれる



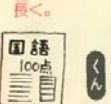
広(こう)の(の)つ(つ)いた(いた)字(じ)

じゆく語
広(こう) 広(こう) 広(こう) 広(こう)
広(こう) 広(こう) 広(こう) 広(こう)

14画 言(ごんべん) 部首
立(た)て(て)ない(ない)。

語 (ご) 書き順
上(うへ)の横棒より長(なが)く。

書き順
語 (ご)
ごんべんに
五(ご)
白(しろ)と(と)か(か)く



記(き)話(わ)を(を)る(る)に(に)て(て)い(い)る(る)

じゆく語
外(がい)米(まい)語(ご)
物(ぶつ)語(ご) 手(て)語(ご)

9画 彳(ち) 部首
短(みだ)くは(は)らう(らう)。

後 (ご) 書き順
短(みだ)くは(は)らう(らう)。

書き順
後 (ご)
ぎょうにんべん
(ノイとかき)
くムと
つつけて
クに右(みぎ)ば(ば)ら(ら)い

前(まえ)に(に)ど(ど)ら(ら)
後(ご)に(に)ど(ど)ら(ら)



じゆく語
後(ご) 後(ご) 後(ご) 後(ご)
後(ご) 後(ご) 後(ご) 後(ご)

2年 コ〜コ 声を出して歌って書こう

6画

部首 口(くち)



合 合 合
今 今 今
合 合 合
今 今 今

書き順

- 合 ひとやねに
- 合 合 よこぼうを
- 合 合 かい
- 合 合 口をつける

会 会 会
今 今 今
合 合 合
今 今 今

- 合 合 合
- 合 合 合
- 合 合 合
- 合 合 合

じゆく語
合 合 合
今 今 今
合 合 合
今 今 今

11画

部首 艸(くさ)



黄 黄 黄
黄 黄 黄
黄 黄 黄
黄 黄 黄

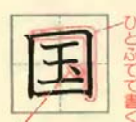
書き順

- 黄 よこ
- 黄 たて二本
- 黄 よこ長く
- 黄 たて かぎ
- 黄 たて よこ
- 黄 そこぶさぎ
- 黄 下にチョン
- 黄 チョン
- 黄 八をつける

じゆく語
黄 黄 黄
黄 黄 黄
黄 黄 黄
黄 黄 黄

8画

部首 口(く)にがまえ



書き順

- 国 たてぼうかいて
- 国 かぎをつけ
- 国 よこ たて
- 国 よこ よこ
- 国 てんをつけたら
- 国 そことじる

国 国 国
国 国 国
国 国 国
国 国 国

じゆく語
国 国 国
国 国 国
国 国 国
国 国 国

7画

部首 谷(たに)



谷 谷 谷
谷 谷 谷
谷 谷 谷
谷 谷 谷

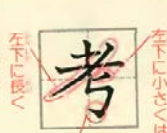
書き順

- 谷 ハをかい
- 谷 ひとやねつけて
- 谷 谷 谷
- 谷 谷 谷
- 谷 谷 谷
- 谷 谷 谷
- 谷 谷 谷
- 谷 谷 谷

じゆく語
谷 谷 谷
谷 谷 谷
谷 谷 谷
谷 谷 谷

6画

部首 耂(おいかんもり)



考 考 考
考 考 考
考 考 考
考 考 考

書き順

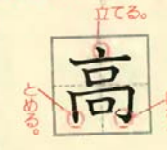
- 考 孝とて
- 考 王に
- 考 ノをかき
- 考 ノに
- 考 たてまげはねる



じゆく語
考 考 考
考 考 考
考 考 考
考 考 考

10画

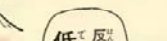
部首 高(たかい)



高 高 高
高 高 高
高 高 高
高 高 高

書き順

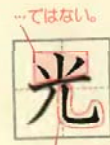
- 高 てん
- 高 一に
- 高 口かいて
- 高 たて
- 高 かぎはねて
- 高 なかに口



じゆく語
高 高 高
高 高 高
高 高 高
高 高 高

6画

部首 儿(ひとあし)



光 光 光
光 光 光
光 光 光
光 光 光

書き順

- 光 たてぼうに
- 光 ソをかいて
- 光 よこぼう
- 光 ノをかき
- 光 たてまげはねる

光 光 光
光 光 光
光 光 光
光 光 光



じゆく語
光 光 光
光 光 光
光 光 光
光 光 光

6画

部首 行(ぎょうがまえ)



行 行 行
行 行 行
行 行 行
行 行 行

書き順

- 行 ノ イとかき
- 行 (ぎょうにんべん)
- 行 よこぼう二本て
- 行 たてはねる



じゆく語
行 行 行
行 行 行
行 行 行
行 行 行

14画
部首 々 (たけかんむり)

算 上の横線より短い。
はらう。
とめる。

書き順

算 算 算 算
ケを二つ (たけかんむりに)
目をかき
よこぼう
たて二本 (ノにたてぼう)



じゆく語

1, 2, 3...は、算用数字というよ。

7画
部首 イ (じんべん)

作 上の横線より短い。
胸をあける。
乍としない。

書き順

作 作 作 作
じんべんに (イをかいて)
ノ 二の
たてて
よこ二本

くんに つくくる

じゆく語

作 作 作 作
作 作 作 作
作 作 作 作
作 作 作 作

5画
部首 巾 (はば)

市 立てる。
はわの。

書き順

市 市 市 市
てん 二に
たて
かぎはねて
たておろす



じゆく語

市 場 市 場
市 場 市 場
市 場 市 場
市 場 市 場

4画
部首 止 (とめる)

止 少し左に出る。

書き順

止 止 止 止
たてぼうかいて
よこ
たて
よこぼう

くんに とまる

じゆく語

止 止 止 止
止 止 止 止
止 止 止 止
止 止 止 止

4画
部首 人 (ひとやね)

今 つける。
短めに。

書き順

今 今 今 今
ひとやねに
よこぼうかいて
フをつける



じゆく語

今 今 今 今
今 今 今 今
今 今 今 今
今 今 今 今

11画
部首 黒 (くろ)

黒 つき出ない。
点の向きに注意。

書き順

黒 黒 黒 黒
ひらたい白
たてぼう
まんなか
よこ二本
下にならべた
てん四つ



じゆく語

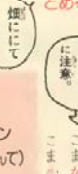
黒 黒 黒 黒
黒 黒 黒 黒
黒 黒 黒 黒
黒 黒 黒 黒

11画
部首 糸 (いとへん)

細 つける。
短めに。

書き順

細 細 細 細
く ムと
つづけて
たて チョン
チョン(糸へん)
たて かぎ
たて よこ
そことじる



じゆく語

細 細 細 細
細 細 細 細
細 細 細 細
細 細 細 細

3画
部首 才 (てへん)

才 少しつき出ない。
はわの。

書き順

才 才 才 才
よこ一
たてはね
ノをつける



じゆく語

才 才 才 才
才 才 才 才
才 才 才 才
才 才 才 才

6画 部首

白 (みずから)

書き順 白 (みずから) 目 (め) 白 (みずから) 目 (め) 白 (みずから) 目 (め) 白 (みずから) 目 (め) 白 (みずから) 目 (め)



じゆく語 白 (みずから) 目 (め) 白 (みずから) 目 (め) 白 (みずから) 目 (め) 白 (みずから) 目 (め) 白 (みずから) 目 (め)

6画 部首

寺 (いごほん長い)

書き順 寺 (いごほん長い) 寺 (いごほん長い) 寺 (いごほん長い) 寺 (いごほん長い) 寺 (いごほん長い) 寺 (いごほん長い)



じゆく語 寺 (いごほん長い) 寺 (いごほん長い) 寺 (いごほん長い) 寺 (いごほん長い) 寺 (いごほん長い) 寺 (いごほん長い)

8画 部首

姉 (おんなへん)

書き順 姉 (おんなへん) 姉 (おんなへん) 姉 (おんなへん) 姉 (おんなへん) 姉 (おんなへん) 姉 (おんなへん)



じゆく語 姉 (おんなへん) 姉 (おんなへん) 姉 (おんなへん) 姉 (おんなへん) 姉 (おんなへん) 姉 (おんなへん)

5画 部首

矢 (なげ)

書き順 矢 (なげ) 矢 (なげ) 矢 (なげ) 矢 (なげ) 矢 (なげ) 矢 (なげ)



じゆく語 矢 (なげ) 矢 (なげ) 矢 (なげ) 矢 (なげ) 矢 (なげ) 矢 (なげ)

2年

シ

シ

シ

シ

シ

シ

9画 部首

室 (うかんむり)



書き順 室 (うかんむり) 室 (うかんむり) 室 (うかんむり) 室 (うかんむり) 室 (うかんむり) 室 (うかんむり)

じゆく語 室 (うかんむり) 室 (うかんむり) 室 (うかんむり) 室 (うかんむり) 室 (うかんむり) 室 (うかんむり)

10画 部首

時 (ひへん)

書き順 時 (ひへん) 時 (ひへん) 時 (ひへん) 時 (ひへん) 時 (ひへん) 時 (ひへん)

じゆく語 時 (ひへん) 時 (ひへん) 時 (ひへん) 時 (ひへん) 時 (ひへん) 時 (ひへん)

10画 部首

紙 (ひとへん)

書き順 紙 (ひとへん) 紙 (ひとへん) 紙 (ひとへん) 紙 (ひとへん) 紙 (ひとへん) 紙 (ひとへん)

じゆく語 紙 (ひとへん) 紙 (ひとへん) 紙 (ひとへん) 紙 (ひとへん) 紙 (ひとへん) 紙 (ひとへん)

9画 部首

思 (おもう)

書き順 思 (おもう) 思 (おもう) 思 (おもう) 思 (おもう) 思 (おもう) 思 (おもう)

じゆく語 思 (おもう) 思 (おもう) 思 (おもう) 思 (おもう) 思 (おもう) 思 (おもう)

2年

シ

シ

シ

シ

シ

シ

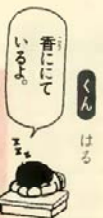
9画 日(に) 部首

春

中央の横棒はしずめる。

書き順

春 よこぼう三本
春 ひとをかき
春 下に漢字の白をいれる



オン シュウ

じゆく語 春分 春分

春分 春分 春分 春分 春分 春分

11画 一(しんにょう) 部首

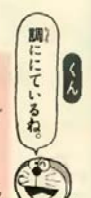
週

はねる。

はらう。

書き順

週 たてたノにかぎをはね
週 よこ たて よこて
週 口をいれ
週 左に大きく
週 しんにょうつける



オン シュウ

じゆく語 先週 今週 来週

先週 今週 来週 先週 今週 来週

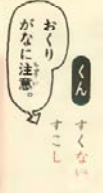
4画 小(しょう) 部首

少

短くはらう。

書き順

少 たてはねて
少 ノをかいたら
少 ノをつける



オン シュウ

じゆく語 小にいていろよ。

小にいていろよ。

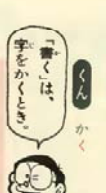
10画 日(ひらび) 部首

書

つき出る。

書き順

書 ヨのなが長く
書 よこぼう二本
書 たてぼう
書 ひいたら
書 漢字の白



オン ショ

じゆく語 絵を「かく」はひらかな書き。

絵を「かく」はひらかな書き。

10画 弓(ゆみへん) 部首

弱

はねる。

書き順

弱 コをかいて
弱 ノにつけて
弱 かぎをはね
弱 ンをいれたら
弱 石もおなじに



オン シヤク

じゆく語 強

強

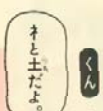
7画 ネ(しめすへん) 部首

社

とめる。

書き順

社 てんかき
社 フをかき
社 トをかいて(しめすへん)
社 よこ たて
社 よこて土をかく



オン シヤ

じゆく語 社科

社科

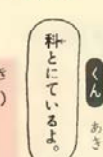
9画 禾(のぎへん) 部首

秋

短くはらう。

書き順

秋 ノ 木とカキ(のぎへんに)
秋 ソに
秋 ひとつける



オン シュウ

じゆく語 食欲の秋

食欲の秋

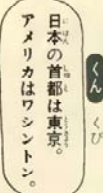
9画 首(くび) 部首

首

点のうちかたに注意。

書き順

首 ソ
首 ニ
首 ノ
首 自



オン シュ

じゆく語 天の首輪

天の首輪

2年

シ

シ

声を出して歌って書こう

2年

シ

シ

声を出して歌って書こう

16画
見(みる)
部首

立てる。
親
とめる。

手(て)で「上」はねる。

書き順

親
親
親
親

新とまちがえない。
新とまちがえない。
新とまちがえない。

じゆく語
親孝行
親愛
親友
親せき

13画
斤(おのづくり)
部首

立てる。
新
とめる。

ななめ「下」はひらく。

書き順

新
新
新
新
新

親にているよ。
親にているよ。
親にているよ。

じゆく語
新入生
新入生
新入生
新入生

6画
色(いろ)
部首

色
とめる。

まけて、上はねる。

書き順

色
色
色
色
色
色

読み方
色紙
いろシヨク

じゆく語
水色
水色
水色
水色

12画
ナ(つちへん)
部首

場
とめる。

はねる。

書き順

場
場
場
場
場

場にている。
場にている。
場にている。

じゆく語
市場
市場
市場
市場

13画
文(ぶん)
部首

数
とめる。

短くとめる。

書き順

数
数
数
数

数にている。
数にている。
数にている。

じゆく語
数字
数字
数字
数字

7画
囧(くにかまえ)
部首

囧
とめる。

とめる。

書き順

囧
囧
囧
囧

囧に当たる。
囧に当たる。
囧に当たる。

じゆく語
計画
計画
計画
計画

4画
心(こころ)
部首

心
とめる。

まがりぐあい(まが)に注意。
まがりぐあい(まが)に注意。
まがりぐあい(まが)に注意。

書き順

心
心
心
心

心にているよ。
心にているよ。
心にているよ。

じゆく語
心地
心地
心地
心地

9画
食(しょく)
部首

食
とめる。

立てる。

書き順

食
食
食
食

食にている。
食にている。
食にている。

じゆく語
食物
食物
食物
食物

2年 シュス 声を出して歌って書いて

2年 シュス 声を出して歌って書いて

11画 部首 (あめかんむり)

雪

はねる。

右にひきまげろ。

書き順

雪 雪 雪 雪 雪

雪は雨と形がちがうよ。

じゆく語

4画 部首 (かたな)

切

つき出さない。

はねる。

書き順

切 切 切 切 切

功にいているよ。

じゆく語

7画 部首 (さむらい)

声

下の横線より長く。

「声をのせ」感動・びつくりすること。

書き順

声 声 声 声 声

じゆく語

6画 部首 (し)

西

横長にする。

かどをつけずにまげる。

書き順

西 西 西 西 西

丙にいてるよ。

じゆく語

15画 部首 (いとへん)

線

はねる。

右にひきまげろ。

書き順

線 線 線 線 線

線にいてるよ。

じゆく語

11画 部首 (ふねへん)

船

左下にはらう。

まっすぐに。

書き順

船 船 船 船 船

船にいてるよ。

じゆく語

12画 部首 (ひへん)

晴

上の横線より長く。

清・青にいてるよ。

書き順

晴 晴 晴 晴 晴

じゆく語

9画 部首 (し)

星

つづける。

長く。

書き順

星 星 星 星 星

星にいてるよ。

じゆく語

2年 セ〜セ 声を出して歌って書こう

2年 セ〜セ 声を出して歌って書こう

7画 イ(じんべん) 部首

体

わがわがし。とめる。

書き順

じんべんに (イをかいて) よこ たて かい たら 左右にはらって 短いよこぼう



オン クイ からだ (タイ)

じゆく語

休(る)にいてい 体(つ)き 物(を)温(め)る 人(を)温(め)る

4画 大(だい) 部首

太

つける。点をわすれずに。



書き順

ナに 右はばらい てん一つ

だい(大)心(に)てん

大・犬・木に いてるよ。

オン タイ ふと(い) 骨(を)太(く)い 大(き)い 丸(を)太(く)い 大(き)い 丸(を)平(ら)い 大(き)い 丸(を)洋(やう)

じゆく語

ちがう字を いてるけど 大(き)い 丸(を)太(く)い 大(き)い 丸(を)平(ら)い 大(き)い 丸(を)洋(やう)

6画 ナ(つちへん) 部首

地

上にはねる。おれて、はねる。

書き順

じんべんに (よこ たて もちあげ) よこまげはねて たてかいて そしてさいごに たてまげはねる

オン ジチ 池(い)・他(た)にいてる

じゆく語

地(を)元(もと)に 地(を)面(めん)に 地(を)球(きゅう)に 地(を)球(きゅう)に 地(を)球(きゅう)に

5画 ロ(くち) 部首

台

とめる。*

書き順

タイは かたかなム ロとかく

音(ね)のつ 始(はじ)治(ち)



じゆく語

大(き)い 丸(を)太(く)い 大(き)い 丸(を)平(ら)い 大(き)い 丸(を)洋(やう)

11画 糸(いとへん) 部首

組

両がわにつぎ出る。

書き順

くムとつづけて たて チョン チョン (糸へんて) たて かぎ かい てん二本 そしてさいごに よこぼう長く

オン ソン 組(む)にいてるよ。

じゆく語

組(む)合(あ)い 組(む)合(あ)い 組(む)合(あ)い

9画 リ(りっとう) 部首

前

はねる。

書き順

リ 一とつづけて 月をかき たてぼう二本て おわりをはねる (りっとうをかく)

オン セン 反対語 後(ご) まえ

じゆく語

前(まへ)方(かた) 前(まへ)方(かた) 前(まへ)方(かた)



6画 タ(ゆうべ) 部首

多

は。*

書き順

タをかいて タをつける



じゆく語

多(おほ)い 多(おほ)い 多(おほ)い

7画 走(はしる) 部首

走

長めにはらう。

書き順

よこ たて よこて トをかいて 左(ひだり)によせた 人をかく

オン ソウ 走(は)は、歩(あ)み、足(あ)と まちがえやすいよ。

じゆく語

走(は)り 走(は)り 走(は)り



2年 タ〜チ 声を出して歌って書こう

2年 セ〜タ 声を出して歌って書こう

11画 鳥部

左下に短くはらう。

鳥

はねる。



鳥はからす。

鳥とているよ。

8画 長部

少し長く。

長

大きくはねる。

書き順

長 たてかいて
 長 よこぼう
 長 おわりを長く
 長 たてぼう
 長 はねたら
 長 左右にはらう



じゆく語

短 反対語



2年 テーテ 声を出して歌って書こう

8画 目部

まっすくにおろす。

直

直角におる。

書き順

直 干の
 直 自に
 直 たてまげる

おくりがなに注意。

12画 月部

朝

はねる。はらう。

書き順

朝 よこ たて
 朝 白をかき
 朝 よこてたて
 朝 右に大きく
 朝 月をかく



じゆく語

今朝 特別な日

8画 矢部

つき出ない。

知

とめる。

書き順

知 ノ一て
 知 よこぼう
 知 入をかき
 知 右に大きく
 知 口をつける

知にているわ。

じゆく語

知らせ

6画 シ部

上に長めにつき出る。

池

上にはねる。

書き順

池 さんずいに
 (シをかいて)
 池 よこまげはねて
 池 たてかいて
 池 そしてさいごに
 池 たてまげはねる



じゆく語

他地也

9画 日部

昼

長く。つける。

書き順

昼 コ
 昼 ノ 右はらい
 昼 日の下に
 昼 一



じゆく語

夜昼朝

9画 ヌ部

茶

はらう。つめる。

書き順

茶 よこぼう たてたて
 (くさかんむり)
 茶 ひとやねに
 茶 示

茶にはない。



じゆく語

本日は



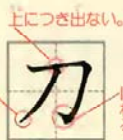
(73)



2年 テーテ 声を出して歌って書こう

(72)

2画
刀 (かたな)
部首



書き順
かきまげ
はねたら
ノをつける

刀は切るもの。
力は出すもの。

オン
トウ

特別な読み方
竹刀・太刀

じゆく語

小刀 名 木刀 短刀
刀 傷 刀 刀 刀

13画
而 (あめかんじり)
部首



まけて上にはねる。

書き順
よこぼう
ワをかき
なかしきり
てんてん
四つ
白をかいて

にている字
雲・雪
電



じゆく語

電気 電燈 電線 電報
電 話 電 報 電 気

6画
巾 (しやう)
部首



書き順
たてぼう
ソをかき
ヨをつける

オン
トウ
あたる

じゆく語

手 当 地 日
当 地 日 日

5画
夂 (ふゆがしら)
部首



右下に向ける。

書き順
フに
右はらい
てんてんつける



じゆく語

冬 秋 夏 春 四季
冬 天 冬 天 冬 天 冬 天
冬 山 冬 休 冬 期 冬 季

7画
弓 (ゆみ)
部首



どめる。

書き順
ソ
コとかき
ノにつけて
かぎをはね
たてぼう
かいたら
左にはらう

にている字
第 (ダイ)
弟 (テイ)



じゆく語

弟 門 弟 弟 弟 弟 弟
弟 弟 弟 弟 弟 弟 弟

10画
辵 (しんによう)
部首



書き順
マをかいて
たて かぎはねて
よこ二本
たてぼういれて
しんによう
つける

おくりがな
かよう
とおる

じゆく語

通 通 通 通 通 通 通
通 通 通 通 通 通 通

9画
灬 (れんが)
部首



点の向きに注意。

書き順
たて よこ
白て
てん四つ

白点
白い点だぞ。



じゆく語

点 点 点 点 点 点
点 点 点 点 点 点 点

8画
广 (まだれ)
部首



書き順
てん ニ
ノをつけ
なかにたて
よこ
白をかく

店のおまじに
しないように。

じゆく語

夜 店 店 店 店 店 店
店 店 店 店 店 店 店

14画

部首 言部

言(ごんべん)

点。立てない。

上の横棒のみ短く、はねる。

読

書き順

読 読 読
ごんべんに
よこ たて
よこて
つに
ひとのおし

くん トウ ドク
よこ トウ
よこ

オン

じゆく語

読者 読書 読本 読物 読み物

12画

部首 辶部

辶(しんにょう)

ひびいて書く。

道

書き順

道 道 道
ソ ニ
ノ
自に
しんにょう

使い方を
まねがえ
導
やすい字

道草 道内 道場 道徳 道義 道徳 道義 道徳 道義

じゆく語

道草 道内 道場 道徳 道義 道徳 道義 道徳 道義

9画

部首 十部

十(じゅう)

上

南

書き順

南 南 南 南 南
半をかき
たて
かぎはねたら
ソ
ニ
たてぼう

羊を半・羊と
書かないように。

みなみ

じゆく語

南風 南米 南極 南緯 南緯

4画

部首 冂部

冂(どうがまえ)

内

書き順

内 内 内
たて
かぎはねて
人をかく

肉にているよ。

じゆく語

内臓 内気 内裏 内輪 内輪

12画

部首 讠部

讠(たけかんむり)

答

書き順

答 答 答
ケを二つ
(たけかんむりに)
ひとやねがいて
二 口いれる

答

こたえ

じゆく語

口を二つ、
つけないわ
使うとき、
記号として

8画

部首 木部

木(き)

まっすぐにつぎぬける。

東

書き順

東 東 東 東 東
よこぼうに
白をかいて
たてぼう
おろして
左右にはらう

東

ひがし

じゆく語

東洋 東北 東海 東山 東山

6画

部首 口部

口(くち)

同

書き順

同 同 同 同
たて
かぎはねて
二
口とかく

同

おなじ

じゆく語

同点 同級 同年 同い年

16画

部首 頁部

頁(おのがし)

頭

書き順

頭 頭 頭 頭 頭
二 口
ソ 二
ニ ノ 自 八

頭

あたま

じゆく語

頭文字 頭上 頭部 頭部

2年

トナ

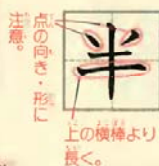
声を出して歌って書こう

2年

トナ

声を出して歌って書こう

5画 (十(じゅう) 部首)



書き順

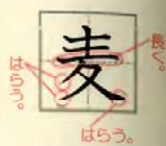
半 ソに
半 よこ二本
半 たて長く



オン

じゆく語
道半半半過
半分半月額半
ば

7画 (麦(むぎ) 部首)



書き順

麦 よこ
麦 たて
麦 よこ よこ
麦 フに
麦 右ばらい



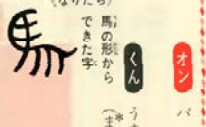
じゆく語
麦小麦小麦
飯茶麦麦麦
麦麦麦麦

10画 (馬(うま) 部首)



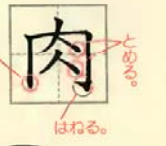
書き順

馬 たて
馬 よこ
馬 まんなか
馬 たてぼういれて
馬 よこぼう二本
馬 かざまげはねて
馬 そしてさいこに
馬 てん四つ



じゆく語
絵馬馬馬馬
馬馬馬馬馬
馬馬馬馬馬

6画 (肉(にく) 部首)



書き順

肉 たて
肉 かざはねて
肉 入こつ



オン

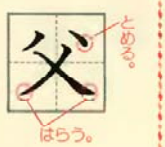
じゆく語
肉肉肉肉肉
肉肉肉肉肉
肉肉肉肉肉

2年

ハーフ

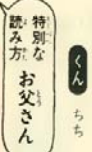
声を出して歌って書こう

4画 (父(ちち) 部首)



書き順

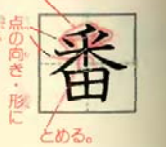
父 ハをかいて
父 差にはらって
父 右ばらい



オン

じゆく語
父父父父父
親母子父父

12画 (田(た) 部首)



書き順

番 ノ ソ ニ
番 かいて
番 たてぼういいて
番 左右にはらって
番 たんぼの田



じゆく語
番番番番番
番番番番番
番番番番番

12画 (貝(かい) 部首)



書き順

買 西に にた字
買 自をかいたら
買 ハをつける



オン

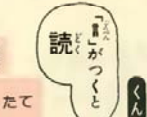
じゆく語
買買買買買
買買買買買
買買買買買

7画 (士(し) 部首)



書き順

売 よこ たて
売 短い
売 よこをかき
売 ひらたい
売 フのなか
売 ひとのあし



オン

じゆく語
安売売売特
売売売売売
売売売売売

2年

ニハ

声を出して歌って書こう

5画 部首



はねる。上め。

書き順

母 くをかいて
母 かざまげはねて
母 てん ニつ
母 そしてさいごに
よこぼう長く

特別な読み方：乳母・お母さん

じゆく語
母(はは) 母(おはは) 母(おはは) 母(おはは)
方(かた) 方(かた) 方(かた) 方(かた)



8画 部首



走るとまちがえ。上ではない。

書き順

歩 たて よこ
歩 たてて
歩 よこぼう長く
歩 たてはね
歩 八をかき
歩 ノを長く



じゆく語
歩(あゆ) 歩(あゆ) 歩(あゆ) 歩(あゆ)
り(り) 合(あ) 道(みち) 行(い)

5画 部首



はねる。まげてはねる。

書き順

北 よこ
北 たて
北 下から
北 もちあげて
北 ノをかいたら
北 たてまげはねる

比(ひ)にいて。いるよ。

じゆく語
北(きた) 北(きた) 北(きた) 北(きた)
方(かた) 方(かた) 上(うへ)



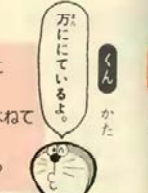
4画 部首



はねる。立てる。

書き順

方 てん ニに
方 かざまげはねて
方 ノをつける



じゆく語
明(あきら) 行(い) 方(かた) 方(かた)
方(かた) 方(かた) 方(かた) 方(かた)

不明

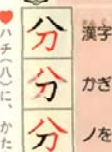
4画 部首



つかない。方てはない。

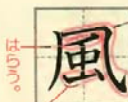
書き順

分 漢字の八に
分 かざまげはねて
分 ノをつける



じゆく語
分(ぶん) 分(ぶん) 分(ぶん) 分(ぶん)
日(ひ) 目(め) 分(ぶん) 分(ぶん)

9画 部首



まげて上(うへ)はねる。少し若(わか)上(うへ)ガリに。

書き順

風 ノをたてて
風 かざまげ
風 そとはね
風 ノに
風 虫(むし)いれる



じゆく語
風(かぜ) 風(かぜ) 風(かぜ) 風(かぜ)
上(うへ) 風(かぜ) 情(なさけ) カ(か) 車(くるま)

6画 部首



はねる。点(てん)の向き・形(かたち)に注意。

書き順

米 ソをかいて
米 よこぼう
米 たてぼう
米 左(ひだり)若(わか)にはらう



じゆく語
米(こめ) 米(こめ) 米(こめ) 米(こめ)
屋(や) 米(こめ) 米(こめ) 米(こめ)

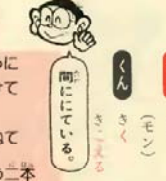
14画 部首



はねる。少し若(わか)上(うへ)に。

書き順

聞 たてぼうに
聞 ヲをつけて
聞 たて
聞 かざはねて
聞 よこぼう二本
聞 よこ たて よこ
聞 よこ もちあげて
聞 たてぼうつけて
聞 首(くび)をかく



じゆく語
聞(き) 聞(き) 聞(き) 聞(き)
手(て) 手(て) 手(て) 手(て)

2年

ホ〜ホ

声を出して歌って書こう

2年

フ〜へ

声を出して歌って書こう

4画 毛部首

毛

ゆるやかにまけて、上にはねる。

書き順

毛 ノをかいて
毛 よこぼう二本
毛 たてまげはねる

毛 (なりたち)

手にていする字

じゆく語
毛色 毛筆 毛根
毛並み

14画 鳥部首

鳴

点の向きに注意。

書き順

鳴 口をかき
鳴 ノ たて
鳴 ヨ ニ
鳴 かぎまげはねて
鳴 なかにてんでん
鳴 四つかく

逆くは人がなく。

じゆく語
可鳴 海鳴 悲鳴 共鳴
鳴り 鳴き 鳴声

8画 女部首

妹

とめる。

書き順

妹 <ノ一をかいて
(おんなへんに)
妹 よこ二本
妹 たてぼう
妹 がいたら
妹 左右にはらう

女がようだいの年下の者が姉。

じゆく語
妹品 妹林 妹品

6画 母部首

毎

はねる。

書き順

毎 ノ一て
毎 <をかき
毎 かぎまげはねて
毎 なかをしきって
毎 よこぼう長く

毎にうがつくと海だよ。

じゆく語
毎夜 毎度 毎朝 毎回

8画 夕部首

夜

「夜」は日がくれてから、次の日の日の出まで。

書き順

夜 てん 一に
夜 イをかいて
夜 かなの夕に
夜 若ばらい

立てる。

じゆく語
夜道 夜半 夜間 夜中 夜空 夜明け

8画 門部首

門

開・閉・間

書き順

門 たてぼうに
門 ヨをかいて
門 たて
門 かぎはねて
門 よこ二本

じゆく語
門出 門限 門名 門正 門番 門限 門出

8画 日部首

明

はらう。

書き順

明 白をかいてから
明 月をかく

おくりがなを注意。

明日 特別な読み方

じゆく語
月明り 月明か 月明後 月明夜

3画 一(いち)部首

万

はねる。

書き順

万 よこぼうに
万 かぎまげはねて
万 ノをたてる

じゆく語
万事 万病 万が一 万幸

2年 マーヤ 声を出して歌って書こう

2年 マーメ 声を出して歌って書こう

7画 部首 里(さん)

つぎ出ない。
上の横棒より長く。
つぎ出ない。

里

書き順

里
里
里

白をかいて
たてぼう長く
よこ二本



じゆく語
里親(りしん)
里山(りさん)
里子(りこ)

2年

ラ〜ワ

声を出して歌って書こう

13画 部首 言(ごんべん)

点、立てない。
下の横棒より長く。
左下にほひょう。

話

書き順

話
話
話

白をかいて
よこ二本
たてぼう長く

おくりがなを
に注意。

じゆく語
話(わ)
話(わ)



7画 部首 木(き)

形・向きに注意。
上の横棒より長く。

来

書き順

来
来
来

よこ一
ソをかき
木をつける



じゆく語
米(こめ)
米(こめ)

じゆく語
来(き)
来(き)

11画 部首 王(おうへん)

上の横棒より長く。
右に上カにほひょう。

理

書き順

理
理
理

よこたてよこて
もちあげて
白に
たてぼうつて
よこ二本

理とまちがえない。

じゆく語
理(り)
理(り)



4画 部首 又(また)

長い。
つぎ出ない。

友

書き順

友
友
友

よこぼうに
ノをつけて
かなのフ
かいたら
右ばらい

じゆく語
友(とも)

「要友」は親しみをこめて
親友に使うこともあるよ。

じゆく語
友(とも)

18画 部首 日(ひへん)

小さい。
左下「口」短くほひょう。

曜

書き順

曜
曜
曜

白をかいて
ヨヨ
イに
てん
たてぼう
かいて
そしてさいごに
よこ二本

じゆく語
曜(よう)

曜の書き順に注意!

じゆく語
曜(よう)

11画 部首 里(さんへん)

点をわけずに。
はなめる「上」はひょう。
はねる。

野

書き順

野
野
野

白に
たてぼうて
よこ二本
マに
フをかいて
たてはねる

じゆく語
野(の)

じゆく語
野(の)

5画 部首 用(もちいる)

はねる。
まっすぐ下に
おろす。

用

書き順

用
用
用

たてたノに
かぎをはね
よこぼう
二本で
たて長く

じゆく語
用(もちいる)

甲(か)と
ま(ま)が
え(え)やすい。

じゆく語
用(もちいる)



2年

ヤ〜ヨ

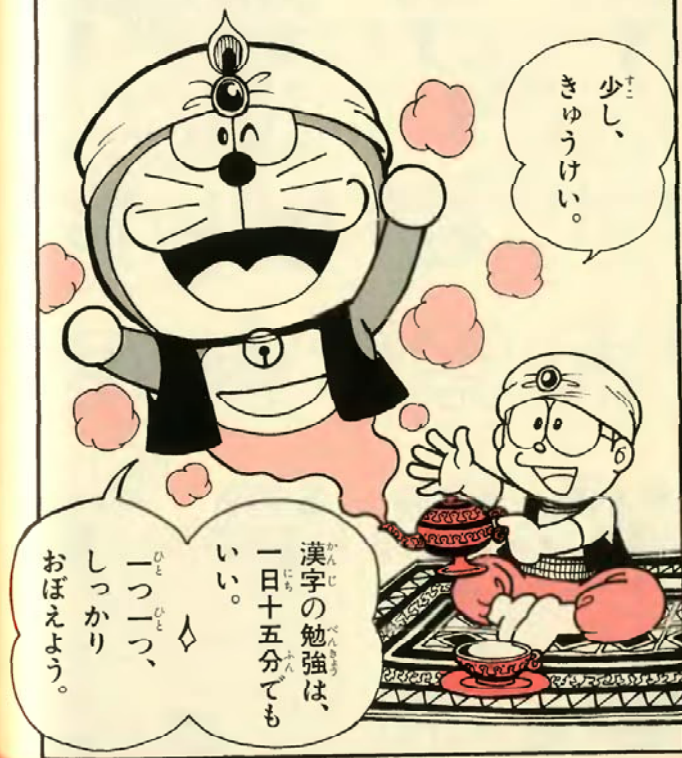
声を出して歌って書こう

● 3年生の漢字もくじ ●

(200字・アイウエオ順にならんでいます。)

悪安暗医…	88	委意育員…	89	院飲運泳…	90	馭央横屋…	91
温化荷界…	92	開階寒感…	93	漢館岸起…	94	期客究急…	95
級宮球去…	96	橋業曲局…	97	銀区苦具…	98	君係輕血…	99
決研鼎庫…	100	湖向幸港…	101	号根祭皿…	102	仕死使始…	103
指齒詩次…	104	事持式実…	105	写者主守…	106	取酒受州…	107
拾終習集…	108	住重宿所…	109	暑助昭消…	110	商章勝乘…	111
植申身神…	112	真深進世…	113	整昔全相…	114	送想息速…	115
族他打对…	116	待代第題…	117	炭短談着…	118	注柱丁帳…	119
調追定庭…	120	笛鉄転都…	121	度投豆島…	122	湯登等動…	123
童農波配…	124	倍箱畑発…	125	反坂板皮…	126	悲美鼻筆…	127
氷表秒病…	128	品負部服…	129	福物平返…	130	勉放味命…	131
面問役業…	132	由油有遊…	133	予羊洋葉…	134	陽様落流…	135
旅両緑礼…	136	列練路和…	137				

3年生で習う漢字



13画 心部首

立てる。
意

書き順
てん
ソ
日
心

立つ日の心は、
注意の「意」。

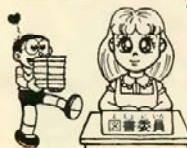
じゆく語
用注決意意意
意意意味見

8画 女部首

はわれない。
委

書き順
ノ 木
委 委 委
女

季に
にている。

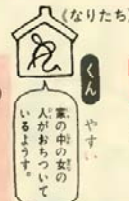


じゆく語
委任委細委曲

6画 宀部首

立てる。
安

書き順
ウをがいて
安安安安
下にノ
女をいれる

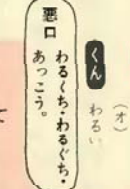


じゆく語
安んず安んず安んず

11画 心部首

つき出さない。
悪

書き順
よこぼうに
悪悪悪悪
よこぼうひいて
心を下に



じゆく語
悪口悪口悪口

10画 口部首

立てる。
員

書き順
ひらたい口
員
員
員
員
員
員
員
員
員
員

口と自は同じはは
になるように。

じゆく語
員員員員員員

8画 月部首

立てる。
育

書き順
てん
育
育
育
育
育
育
育
育
育
育

育は子に育つ
に成る。

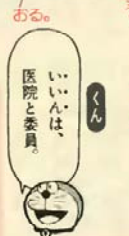


じゆく語
育育育育育育

7画 匚部首

上につき出ない。
医

書き順
よこーに
医
医
医
医
医
医
医
医
医
医



じゆく語
医医医医医医

13画 日部首

まつぎで下につける。
暗

書き順
白をがいて
暗
暗
暗
暗
暗
暗
暗
暗
暗
暗



じゆく語
暗暗暗暗暗暗

声を出して歌って書こう

3年 イーイ

声を出して歌って書こう

3年 アーイ

5画 大(だい) 部首

書き順
つき出す。
左からつぎ出して、
横へ書き、
はらう。

書き順

央央央央央
たて かざ よこ
人をか

史とにているね。
く ん

オン
オウ

声を出して歌って書こう

14画 馬(うまへん) 部首

書き順に注意。
点の向きに注意。

書き順

駅駅駅駅
たて よこ たて
よこ二本
かざはね
てんを四つかき
右にコの子と
入をか

書き順は、
たてから
く ん
エキ

じゆく語
始・駅・駅・駅・駅
発・前・弁・伝・長・
駅



12画 食(しょくへん) 部首

書き順
とめる。
はらう。

書き順

飲飲飲飲飲
ひとやねに
てんヨをかいて
たてはねチョン
ノフと
つづけて
人をか

短・とめるね。
く ん
のじ

じゆく語
飲・飲・飲・飲・飲
食・水・水・水・水



10画 卩(じふとへん) 部首

書き順
立てる。
はらう。
上にはねる。

書き順

院院院院院
フにつづけて
たてぼう長く
(ござとへん)
ウかんむりに
(ウをかき)
元をか

く ん
イン

じゆく語
美・病・入・学・院
容・院・院・院・院・
院



9画 尸(しかばね) 部首

書き順
上の横棒より
長く。

書き順

屋屋屋屋屋
コをかいて
ノをつけたら
ムと
つづけて
土をか

「屋外」は「やがい」と読み
ない。「やがい」は「野外」。

オン
オク

15画 木(きへん) 部首

書き順
横文字「ローマ字の字に
横に書いていく文字の例」

書き順

横横横横横
木をかいて
(木へんに)
よこ たて
たて よこ
たて かざがいて
たてよこよこぼう
八をつける

く ん
オウ

じゆく語
横・横・横・横・横
道・取・町・転・断・
り



8画 シ(さんずい) 部首

書き順
点・立てない。
はらう。
はねる。

書き順

泳泳泳泳泳
さんずいに
(シをかいて)
てんうち
かざはね
フをかいて
左にはらって
右ばらい

く ん
エイ

じゆく語
泳・泳・泳・泳・泳
水・泳・泳・泳・泳
平・泳



12画 辶(しんにょう) 部首

書き順
上につぎ出ない。
上の横棒より長く。

書き順

運運運運運
フをかいて
よこ一白一
たて長く
左にたきく
しんにょうつける

く ん
ウン

じゆく語
開・運・運・運・運
運・命・動・転・運
運・命・会



3年 エーオ

3年 イーエ

12画 冫部 部首
 北ではない。
 左下にはらう。
 右上にはわる。

12画 門部 部首
 カイ
 11ひょうくろく
 上にはわる。
 はねる。
 左下にはらう。
 右側はねる。
 とめる。

書き順
 階 フにつけて
 階 たてぼう長く
 階 (ごごとへん)
 階 ヒヒとならべて
 階 白をかく

●**じゆく語**
 階 階 階 階 階 階
 階 階 階 階 階 階
 階 階 階 階 階 階

●**オン** カイ
 くん

書き順
 開 たてぼう
 開 ヨをかき
 開 たて
 開 かぎはねて
 開 よこぼう
 開 ニ本で
 開 よこ よこ
 開 たて たて

●**じゆく語**
 開 開 開 開 開 開
 開 開 開 開 開 開
 開 開 開 開 開 開

●**オン** カイ
 くん

●**注意!** 読み方
 ひらく
 ひらける
 あく
 あける

●**オン** カイ
 くん

声を出して歌って書こう

3年 かゝか

4画 匕部 部首
 上にはわる。
 左下にはらう。
 かどをつけずに
 まげる。

12画 シ部 部首
 四・皿にしない。
 左右につき出し、
 横めに書く。

書き順
 化 にんべんに
 (イをかいて)
 化 ノをかいて
 化 たてまげ
 化 はねる

●**じゆく語**
 化 化 化 化 化 化
 化 化 化 化 化 化
 化 化 化 化 化 化

●**オン** カイ
 くん

●**注意!** 読み方
 ひらく
 ひらける
 あく
 あける

●**オン** カイ
 くん

書き順
 温 さんずいに
 (シをかいて)
 温 日をかいて
 温 たて
 温 たて よこぼう長く

●**じゆく語**
 温 温 温 温 温 温
 温 温 温 温 温 温
 温 温 温 温 温 温

●**オン** カイ
 くん

●**注意!** 読み方
 ひらく
 ひらける
 あく
 あける

●**オン** カイ
 くん

声を出して歌って書こう

3年 おゝカ

13画 心部 部首
 点をわすれずに。
 はねる。

12画 冫部 部首
 立てる。
 点の向きに注意。

書き順
 感 たてノに
 感 よこぼうひいて
 感 一と口
 感 たすきを
 感 つけたら てん
 感 心を下に

●**じゆく語**
 感 感 感 感 感 感
 感 感 感 感 感 感
 感 感 感 感 感 感

●**オン** カン
 くん

書き順
 寒 ウかんむりに
 (ウをかいて)
 寒 よこ たて たて
 寒 よこ ニ本
 寒 ハの字かいて
 寒 チョン チョン
 寒 つける

●**じゆく語**
 寒 寒 寒 寒 寒 寒
 寒 寒 寒 寒 寒 寒
 寒 寒 寒 寒 寒 寒

●**オン** カン
 くん

●**注意!** 読み方
 ひらく
 ひらける
 あく
 あける

●**オン** カン
 くん

9画 田部 部首
 上につき出ない。
 はねる。

10画 艹部 部首
 横線はつき出さず。
 上につき出ない。
 はねる。

書き順
 界 田んぼに
 界 ひとやね
 界 ノをたて
 界 たてぼう

●**じゆく語**
 界 界 界 界 界 界
 界 界 界 界 界 界
 界 界 界 界 界 界

●**オン** カイ
 くん

書き順
 荷 よこ たて たて
 (くさかんむり)
 荷 イをかいて
 荷 よこ ニ
 荷 口
 荷 たてはねる

●**じゆく語**
 荷 荷 荷 荷 荷 荷
 荷 荷 荷 荷 荷 荷
 荷 荷 荷 荷 荷 荷

●**オン** カン
 くん

上につき出さない。

漢

はらう。

13画

部首

亻 (さんざい)



漢はじつこの中国の国名。漢字はこの漢の字。

書き順

漢 さんげいに (ニをかいて)
漢 サ
漢 白
漢 よこ二本
漢 人をかく

館

こめる。

16画

部首

食 (しょくへん)

書き順

館 ひとやねに
館 てんヨを
館 かい
館 たてはね
館 チョン
館 ウに
館 たてぼうて
館 ココとかく



じゆく語
小字館のぼくの
本をよろしく。

漢 洋園体館内
漢 館書館

声を出して歌って書こう



3年 カキ

上の横線より長く

岸

こめる。

8画

部首

山 (やま)



岸の字のキは、チてはないよ。

書き順

岸 山をかき
岸 よこ一ノをつけ
岸 よこぼう二本て
岸 たてをかく

じゆく語
岸の字のキは、チてはないよ。

起

はらう。

10画

部首

走 (そうによう)

書き順

起 主に
起 たて よこ
起 入をかき
起 コの字をかいて
起 たてまげはねる

じゆく語
おくりがな
おこる
おこす

じゆく語
早く再起起起起
起起起起起
起起起起起



はしる走るに、おのれ(己)。

期

こめる。

12画

部首

月 (つき)

書き順

期 よこ
期 たて たてて
期 よこ二本
期 よこぼう長く
期 ハをかいて
期 右に大きく
期 月をかく

じゆく語
一学期が
おわると。



漢 期 期 期 期 期
漢 期 期 期 期 期
漢 期 期 期 期 期

7画

部首

穴 (あなかんむり)

究

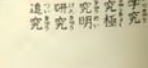
こめる。

書き順

究 ウをかいて
究 ハの若まげて
究 数字の九

あなかんむりに、キユウ(九)。

じゆく語
ひはあな、ははしをひけて
ひきまける形で、あなの
おこりかたをいう事。



客

はねる。

9画

部首

宀 (うかんむり)

書き順

客 ウかんむり
(ウをかいて)
客 クに右ばらい
客 口をかく

容とにているね。

じゆく語
客車
客室
客室
客車



急

はねる。

9画

部首

心 (こころ)

書き順

急 ク
急 ヨ
急 心

中学で習う
「忙しい」とは
ちがうよ。

じゆく語
急用
急病
急行
急行
急行



声を出して歌って書こう

3年 カキ

13画 木部

業

この形に注意する。

へんがね

とめる。

書き順

業業業業業業
たて たて
ソ ー
ソに
よこ三本
たてぼう
ひいたら
左右にはらう



じゆく語

人問業 自業 工業 閉業 開業 得業 自業

16画 オ部

橋

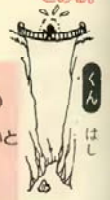
はらう。

はねる。

とめる。

書き順

橋橋橋橋橋橋
木をかいて
(木へんかき)
ノて 大きいと
口をかき
たて
かざはねて
なかに口



じゆく語

丸石少鉄橋 水橋道橋 橋橋橋頭

10画 宀部

宮

立てる。

上の口より
大きく。

書き順

宮宮宮宮宮宮
ウかんむりに
(ウをかいて)
白
ノ
口
官

ウかんむりに、口へん。



じゆく語

宮宮宮 神宮 王宮 参拜 櫻内宮 里内

9画 糸部

級

おる。

心ひいて書く。

書き順

級級級級級級
く ムとつづけて
たて チョン チョン
(へんて)
ノをたて
フをつづけて
石ばらい

いとへんに、キユウ及ぶ。



じゆく語

等進上高級 級級級級級友

声を出して歌って書く

声を出して歌って書く

7画 尸部

局

なめ下において、
はねる。

書き順

局局局局局局
コ ノとかき
かざまげはねて
口をかく



じゆく語

局局局 局局局 局局局 局局局

6画 日部

曲

上につき出す。

全体に下が
せまくなる。

書き順

曲曲曲曲曲曲
たて
かきて
たてぼう二本に
よこ二本

じゆく語

曲曲曲 曲曲曲 曲曲曲 曲曲曲

5画 厶部

去

長く。

ひとふいて書く。

書き順

去去去去去去
よこ
たて
よこて
ムをつける

つち(土)に、ム。

じゆく語

置去去 去去去 去去去

11画 玉部

球

点をわすれずに。

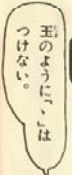
右にかりに

はねる。

書き順

球球球球球球
よこ たて
よこて
もちあげて
よこ
たてはねたら
ン くと
つづけて
かたにてん

おうへんに、もとめる(求)。



じゆく語

球球球 球球球 球球球 球球球

3年 キキキ

3年 キキキ

9画 イ (いんべん) 部首

係

こめる。

書き順

係にんべんに(イをかいて)
係ノをかき
係くムて
係小をかく(たて)
係チョン チョン

オン ケイ
くん かかる

じゅく語

7画 ロ (くち) 部首

君

はらう。

書き順

君ヨのなが長く
君に
君口つける

オン クン
くん 君子あやうき
に 近よらず。

じゅく語



4画 区 (かくしがまえ) 部首

区

直角にまげる。

書き順

区よこ一
区メをいれ
区たてまげる

オン クン
オン ク

じゅく語



14画 金 (かねへん) 部首

銀

右上ガリに
はらう。

書き順

銀ひとやねに
銀よこぼう
銀たてソ
銀(金へんに)
銀ヨをかき
銀たてはね
銀左右にはらう

オン ギン
金ちがいの
金ほの

じゅく語



6画 血 (ち) 部首

血

右側につき出す。

書き順

血ノ
血たて
血かさて
血たてぼう二本
血そしてよこぼう
血横<ひく

オン ケツ
くん 血にているよ。

じゅく語

12画 車 (くるまへん) 部首

軽

上の横棒より
長く。

書き順

軽よこ二白二
軽たてぼうかいて
軽フに若ばらい
軽土をかく

オン ケイ
くん かるい
(かるやか)

じゅく語



8画 具 (はち) 部首

具

はらう。

書き順

具自をかいて
具よこ一ひいて
具八をかく

オン クン
オン グ

じゅく語



8画 苦 (くさかんむり) 部首

苦

書き順

苦サをかいて
(くさかんむり)
苦漢字の十に
苦口をかく

オン クン
オン グ
苦おくりがな
に注意!

じゅく語



声を出して歌って書こう

3年 クケ

声を出して歌って書こう

3年 キクク

6画
口(くち)
部首

左下にはらう。

はねる。

書き順

向
ノ
向
たて
向
かぎはね
向
なかに口

おくりがなに注意?
く ン
オ ン
コウ
むける
むかす
むこう

じゅく語
向心(じゅくご)
向心(じゅくご)
向心(じゅくご)
向心(じゅくご)
向心(じゅくご)

声を出して歌って書こう

12画
シ(さんずい)
部首

おける。

上にはねる。

書き順

港
さんずいに(シをかいて)
港
よこ たて たて
港
よこをかぎ
港
ハをかいたら
港
コにたてまげ
港
はねる

己(おれ)としないよう!
く ン
オ ン
コウ
みなと

じゅく語
空港(じゅくご)
空港(じゅくご)
空港(じゅくご)
空港(じゅくご)
空港(じゅくご)



12画
シ(さんずい)
部首

はねる。
はらう。

書き順

湖
さんずいに(シをかいて)
湖
十の口で
湖
月をかく

湖は沼や池より大きい。
く ン
オ ン
コ
みずうみ

じゅく語
湖面(じゅくご)
湖面(じゅくご)
湖面(じゅくご)
湖面(じゅくご)
湖面(じゅくご)



8画
干(かん)
部首

こめる。
下の横棒より長く。

書き順

幸
よこ たて
幸
よこて
幸
ソをかいて
幸
よこばう二本て
幸
たてほうあらず

おくりがなに注意?
く ン
オ ン
コウ
さいわい
しあわせ
(まち)

じゅく語
行幸(じゅくご)
行幸(じゅくご)
行幸(じゅくご)
行幸(じゅくご)
行幸(じゅくご)



9画
石(いしへん)
部首

上の横棒より長く。

はらう。

書き順

研
よこばう
研
ノをつけ
研
口をいれ(石へんに)
研
よこばう二本
研
たて二本

みがいて、とぎすませます。
く ン
オ ン
ケン

じゅく語
研師(じゅくご)
研師(じゅくご)
研師(じゅくご)
研師(じゅくご)
研師(じゅくご)



7画
シ(さんずい)
部首

上につき出す。

はらう。

書き順

決
さんずいに(シをかいて)
決
かなの口
決
かいたら
決
人をかく

く ン
オ ン
ケツ
さめる
さまる

じゅく語
決意(じゅくご)
決意(じゅくご)
決意(じゅくご)
決意(じゅくご)
決意(じゅくご)



声を出して歌って書こう

10画
广(まだれ)
部首

こめる。
少し長い。

書き順

庫
てん 二
庫
ノをつけて
庫
よこ 二
庫
白 二
庫
たておろす

閉じような意味。
倉(ぐら)米などをしまふ所。
庫(くら)物をつたくわえておく所。

じゅく語
庫裏(じゅくご)
庫裏(じゅくご)
庫裏(じゅくご)
庫裏(じゅくご)
庫裏(じゅくご)



9画
目(め)
部首

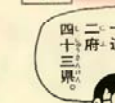
こめる。

書き順

県
白に
県
たてまげて
県
たて チョン
県
チョン



じゅく語
県立(じゅくご)
県立(じゅくご)
県立(じゅくご)
県立(じゅくご)
県立(じゅくご)



3年 ケ〜コ

3年 コ〜コ

6画
 夕(いちたへん)
 部首

死(にんべん)
 部首
 左下へはらう。
 短め。

書き順
 死 よこ一
 死 夕をかき
 死 ノに
 死 たてまげはねる

死(にんべん)
 部首
 反対語 生(せい)
 オン シ

5画
 イ(にんべん)
 部首

仕(にんべん)
 部首
 土ではない。
 下の横棒は短い。

書き順
 仕 にんべんに
 (イをかいて)
 下を短く
 十 とか
 オン シ

仕(にんべん)
 部首
 心(にんべんに、シ(主))
 にくん つかえる
 オン シ



じゆく語
 必死(ひつじ)、死守(ししゅ)、死守(ししゅ)、死守(ししゅ)、死守(ししゅ)、死守(ししゅ)、死守(ししゅ)
 必死(ひつじ)、死守(ししゅ)、死守(ししゅ)、死守(ししゅ)、死守(ししゅ)、死守(ししゅ)

じゆく語
 任(にん)、任(にん)、任(にん)、任(にん)、任(にん)、任(にん)、任(にん)
 任(にん)、任(にん)、任(にん)、任(にん)、任(にん)、任(にん)

10画
 オ(さへん)
 部首

根(にんべん)
 部首
 この形に注意。
 こめる。

書き順
 根 木をかいて
 (木へんに)
 ヨに
 たてはねて
 左右にはらう
 オン シ

根(にんべん)
 部首
 くに ね
 オン シ

5画
 口(くち)
 部首

号(にんべん)
 部首
 長め。
 ひとふでて書く。
 終わりははねる。

書き順
 号 口をかき
 よこ一 かい
 ノにつづけて
 カギをはね
 ひかり号
 乗り物の名
 下につける
 オン シ

号(にんべん)
 部首
 可(か)は、可(か)は、可(か)は、可(か)は、可(か)は、可(か)は、可(か)は
 可(か)は、可(か)は、可(か)は、可(か)は、可(か)は、可(か)は、可(か)は



声を出して歌って書こう

声を出して歌って書こう

8画
 女(おんなへん)
 部首

始(にんべん)
 部首
 右(みぎ)にカギ
 短め。
 ある。

書き順
 始 くノ一 かい
 (おんなへんに)
 ム
 口とかく
 オン シ

始(にんべん)
 部首
 にくん はじめる
 オン シ

8画
 イ(にんべん)
 部首

使(にんべん)
 部首
 つき出さる。
 はらう。

書き順
 使 にんべんに
 (イをかいて)
 よこ一
 口
 左右にはらう
 オン シ

使(にんべん)
 部首
 にくん つかう
 オン シ



じゆく語
 始(せい)、始(せい)、始(せい)、始(せい)、始(せい)、始(せい)、始(せい)
 始(せい)、始(せい)、始(せい)、始(せい)、始(せい)、始(せい)

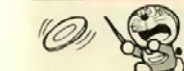
じゆく語
 使(し)、使(し)、使(し)、使(し)、使(し)、使(し)、使(し)
 使(し)、使(し)、使(し)、使(し)、使(し)、使(し)

5画
 皿(さら)
 部首

皿(にんべん)
 部首
 向(むか)ひにつき出さる。

書き順
 皿 たて
 口
 たて たて
 よこはつ長く
 オン シ

皿(にんべん)
 部首
 くに さら
 オン シ

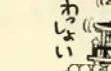


11画
 示(しめす)
 部首

祭(にんべん)
 部首
 夕(ゆふ)ではない。
 長め。
 つき出さぬ。

書き順
 祭 夕(ゆふ)を
 つけて
 フをかいて
 右にはらって
 示(しめ)す
 オン シ

祭(にんべん)
 部首
 おくりがな
 まつり
 まつり
 まつり
 オン シ



じゆく語
 始(せい)、始(せい)、始(せい)、始(せい)、始(せい)、始(せい)、始(せい)
 始(せい)、始(せい)、始(せい)、始(せい)、始(せい)、始(せい)

じゆく語
 使(し)、使(し)、使(し)、使(し)、使(し)、使(し)、使(し)
 使(し)、使(し)、使(し)、使(し)、使(し)、使(し)

じゆく語
 皿(ざら)、皿(ざら)、皿(ざら)、皿(ざら)、皿(ざら)、皿(ざら)、皿(ざら)
 皿(ざら)、皿(ざら)、皿(ざら)、皿(ざら)、皿(ざら)、皿(ざら)

じゆく語
 祭(まつり)、祭(まつり)、祭(まつり)、祭(まつり)、祭(まつり)、祭(まつり)、祭(まつり)
 祭(まつり)、祭(まつり)、祭(まつり)、祭(まつり)、祭(まつり)、祭(まつり)

3年 シシ

3年 コサ

9画

オ(てへん) 部首

持

はねる。

上の横棒(み)をへ。

書き順

持 持 持 持 持

待つとにているよ。



じゆく語

持 持 持 持 持

8画

丨(はねぼう) 部首

事

はねる。

十分(へ)く。

書き順

事 事 事 事 事

百科事典・漢字字典・国語辞典

じゆく語

出 好 無 事 事

注: 方に使

12画

齒(は) 部首

齒

とめる。

少しはなす。



書き順

齒 齒 齒 齒 齒

齒をくいしはって

じゆく語

歯 前 乳 歯 永 久 歯

9画

オ(てへん) 部首

指

はねる。

カドをつけずまげる。

上の横棒(み)をへ。

書き順

指 指 指 指 指

指をくわえる。



じゆく語

名 指 指 指 指

声を出して歌って書こう

3年 シー

8画

宀(うかんむり) 部首

実

はらう。

立てる。

上の横棒(み)をへ。

書き順

実 実 実

くん

オン

みのる

じゆく語

実 実 実 実 実

6画

弋(しががまえ) 部首

式

はらう。

点をわすれずに。

上(口)はわさる。

書き順

式 式 式 式 式



じゆく語

和 式 洋 式

6画

次(あくび) 部首

次

うてはなす。

うてはなす。

書き順

次 次 次

長男

次男

三男

じゆく語

次 次 次 次

13画

言(ごんべん) 部首

詩

はねる。

点。立てない。

やや長め(下)。

書き順

詩 詩 詩

くん

オン

じゆく語

詩 詩 詩 詩

歌詞。



10画 酉部首

酒 (カ) 西てはない。カでついでにまきろ。

書き順



酒 さんずいに (シをかいて)
酒 よこー
酒 たて カギ
酒 ル ーといれて
酒 そしてさいこに そこふさく

くん シュ
か かけ
じゆく語
酒:白,酒:飲,酒:遠,酒:飲
屋:酒,酒:み

8画 又(また)部首

取 (ク) 右(カ)にカをまきろ。

書き順



取 よこ たて
取 よこ よこ
取 もちあけて
取 たてぼう
取 かいたら
取 フに右ばらい

くん シュ
間:取,取:の
取:取,取:得,取:取
取:取,取:得,取:取

8画 耂(おいかんむり)部首

者 (カ) 上の横棒より長く。

書き順

者 よこ たて
者 よこて
者 ノをかいて
者 たて かざかいて
者 よこ二本

くん シヤ
もの
じゆく語
人:第,第:三,業:字,業:者
者:者,者:者

5画 冫(わかんむり)部首

写 (カ) 短くとめる。

書き順

写 ワをかいて (ワかんむり)
写 よこー
写 たてぼう
写 ろのようにまげ
写 よこぼう長く
写 つきぬける

くん シヤ
うつつ
うつつ
じゆく語
大:写,写:本,写:生,写:真,写:写
大:写,写:本,写:生,写:真,写:写

声を出して歌って書こう

声を出して歌って書こう

6画 川(かわ)部首

州 (カ) 点は下に向けて書く。

書き順

州 てん
州 ノ(をたてて)
州 てん
州 たて
州 てん たてぼう

くん シュウ
川:と,川:て,川:い,川:る
じゆく語
州:知,州:事,州:州,州:州

8画 又(また)部首

受 (カ) この形は「受」に注意。

書き順

受 ノ ツと
受 つづけて
受 ワをかいて
受 かなのフ
受 かいたら
受 右ばらい

くん シュ
うかる
じゆく語
受:受,受:受,受:受
受:受,受:受,受:受

6画 冫(うかんむり)部首

守 (カ) 立てる。

書き順

守 ワをかいて (ワかんむり)
守 よこー
守 たてはね
守 てんつける

くん シュ
まもる
じゆく語
子:守,守:守,守:守,守:守
守:守,守:守,守:守

5画 丶(てん)部首

主 (カ) 点。立てない。

書き順

主 てん
主 たてて
主 よこ二本

くん シュ
おもし
じゆく語
地:主,主:主,主:主,主:主
主:主,主:主,主:主

3年 シーシ

3年 シーシ

11画
立(たつ)
部首
部首

立てる。
長く。
長めに。
章

書き順
章
てん
ソ
白に
十をかく

オオン
くん
意とて
いるね。

じゆく語
文|章|校|記|印
章|節|章|章|章



11画
口(くち)
部首
部首

立てる。
つけないでめぐる。
はねる。
商

書き順
商
てん
ソをかいて
たて
かざはねて
ハをまげ
口

オオン
くん
安(あ)いよ。
うまいよ。
あきなう

じゆく語
商|商|商|行
品|先|人|業|商



7画
カ(ちから)
部首
部首

右(みぎ)上(うへ)ガリ下(した)。
はねる。
はらう。
助

書き順
助
たて かざ
よこ よこ
もちあげて
右(みぎ)に大(おほ)きくカを
つける

オオン
くん
たすける
たすかる
(すけ)

じゆく語
助|人|助|助|救
大|助|手|言|助
力|け



12画
日(ひ)
部首
部首

長く。
長めにはらう。
暑

書き順
暑
上にひらいたい
白をかいて
よこ たてよこて
(土をかき)
ノをつらぬいて
下にも漢字の
白をつける

オオン
くん
暑(あつ)い
あつ

じゆく語
暑|暑|暑|暑|暑
暑|暑|暑|暑|暑
暑|暑|暑|暑|暑



声を出して歌って書こう

3年 シ〜シ

9画
ノ(はらいぼう)
部首
部首

長く。
機嫌(きげん)をつきめける。
乗

書き順
乗
ノによこほうて
よこ長く
たてほう二本て
そこじして
たてほう
かいたら
左右にはらう

オオン
くん
の(の)る
の(の)せら

じゆく語
上|乗|乗|乗|乗
乗|乗|乗|乗|乗
乗|乗|乗|乗|乗
乗|乗|乗|乗|乗



12画
カ(ちから)
部首
部首

長くつぎ出す。
はねる。
勝

書き順
勝
月をかき
チョンチョン
よこ よこ
人をかき
下にカを
わすれずに

オオン
くん
か(か)つ
(まさ)る

じゆく語
男|勝|大|勝|勝|勝
勝|勝|勝|勝|勝
勝|勝|勝|勝|勝
勝|勝|勝|勝|勝



10画
シ(さんずい)
部首
部首

形(かたち)に注意(ちゅうい)。…にしない。
はねる。
とめる。
消

書き順
消
さんずいて
(シをかいて)
たてほう
ソをかき
月をかく

オオン
くん
け(け)す
き(き)える

じゆく語
消|消|消|消|消
消|消|消|消|消
消|消|消|消|消
消|消|消|消|消



9画
日(ひへん)
部首
部首

つぎ出さない。
はねる。
昭

書き順
昭
白をかいて
かきまげはねて
ノをかいて
下に漢字の
白をつける

オオン
くん
昭(あ)る
あ(あ)る

じゆく語
昭|昭|昭|昭|昭
昭|昭|昭|昭|昭
昭|昭|昭|昭|昭
昭|昭|昭|昭|昭



声を出して歌って書こう

3年 シ〜シ

11画 シ(さんせい)
部首
部首

短くとめる。
まげてとめる。
深
とめる。

書き順

深 さんせい(シをかいて)
深 フをかいて
深 ハの右まげて
深 漢字の木

くん オン
ふか かい シン
ふかまる

じゆく語
深水 深夜 深海 深手 深入り

10画 目(め)
部首
部首

まつすぐにおろす。
真
はらう。

書き順

真 十の
真 自に
真 よこ
真 かいたら
真 ハをつける

くん オン
あま シン
特別な 真つ赤
読み方 真つ青

じゆく語
真・真・真・真・真
水・心・実・実・実

5画 田(た)
部首
部首

まん中をのりす。
申
ひらいてのりす。

書き順

申 たて
申 かぎ
申 よこ
申 よこ
申 よこ
申 たて長く

田・由と
にているよ。

じゆく語
申・申
告・告

12画 オ(きへん)
部首
部首

まつすぐにおろす。
植
ひとふて書く。

書き順

植 木へんに(木をかいて)
植 十の
植 自
植 たてまげる

くん オン
うえる ショク
うわる

じゆく語
植・植・植・植
物・物・地・地

5画 一(いち)
部首
部首

少し長めに出す。
世
おる。

書き順

世 よこぼうて
世 左にたてぼう
世 右にたて
世 そこをとじたら
世 たてまげてとめ

くん オン
よ せい シン

じゆく語
世・世・世・世
話・代・時・世

11画 辶(しんにょう)
部首
部首

かへはらう。
進
はらう。

書き順

進 イをかいて
進 てん
進 たてて
進 よこ
進 左に大きく
進 しんにょうつける

くん オン
すす シン
すすめる

じゆく語
進・進・進・進
行・行・行・行

9画 ネ(しめすへん)
部首
部首

はたしてはらない。
神
とめる。

書き順

神 てんかき
神 フをかき
神 トをかいて(しめすへん)
神 ひらたい
神 お白さま
神 たてぼう長く

かみ ジン
かみ シン
かみ シン

じゆく語
神・神・神・神
主・様・神・話・話

7画 身(み)
部首
部首

左下にはらう。
身
はねる。

書き順

身 ノに
身 たてぼうて
身 かぎ長くはね
身 よこ
身 よこ
身 もちあげ
身 大きくノ

くん オン
み シン

じゆく語
身・身・身・身
分・分・分・分

声を出して歌って書こう

3年 シンセ

声を出して歌って書こう

3年 シンセ

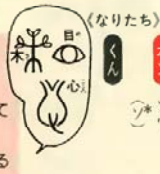
13画 心部首

想

はわる。こめる。

書き順

木に
目をつけて
心をずえる



声を出して歌って書こう



じゆく語

念想 理想 夢想 空想 理想 理想 理想 理想

9画 心部首

送

形がゆがみ注意。こめる。

書き順

ソをかいて
よこぼう二本
人をかき
左に大きく
しんによつける

ソ天にしんによう。

贈るはアレセント。おくる

じゆく語

見送 放送 発送 運送 見送り 送別 送別 送別

10画 心部首

速

はらう。こめる。

書き順

よこ一
口で
たて
八をかいて
左に大きく
しんによつける



3年 ソソソ

たば(寒)にしんによう。

スピードが
はやい
はやくる
(すみやか)

じゆく語

風速 速達 速読 高速 速達 速達 速達 速達

10画 心部首

息

はらう。こめる。

書き順

ノ たて
かぎに
よこ二本
下に大きく
心をつける

じぶん目のこころ。

特別な息子
読み方
息子

じゆく語

ため息 息女 息男 息切れ



8画 日部首

昔

上の横棒より長く。

書き順

よこ
たて たて
よこ
下に白を

音とにているね。くん

じゆく語

昔話 昔なじ 今昔 昔日



9画 目部首

相

短くとめる。こめる。

書き順

木に
自

特別な読み方
相換

じゆく語

相相首 真相 相性 相相 相換



16画 文部首

整

反てはない。

書き順

よこ 口
たてて
八をかいて
ノ一とつづけて
左右にはらひ
下に大きく
正をかく



オン
オン
オン
オン

じゆく語

整理 整理 整理 整理 整理 整理 整理 整理

本を整理して、へやを整える。

6画 人部首

全

はらう。こめる。

書き順

ひとやねに
よこ
たてかいて
よこ二本

金とにている。くん

じゆく語

全全全全全全 全部 全体 全勝 全快



声を出して歌って書こう

3年 セソソ

5画 イ(にんべん) 部首

点をわすれないように。



はねる。とめる。

書き順

代	にんべんに (イをかいて)
代	よこぼうかいて
代	たてまげはね
代	てん

オン
くん
ダイ
タイ
かえる
よ(しろ)

じゆく語
代り身交代
物物り物代り

代打一野球で、かわりにうつこと。

9画 イ(ぎょうにんべん) 部首

上の横棒より長く。



はねる。とめる。

書き順

待	ノイとかき (ぎょうにんべん)
待	よこ たて
待	よこ
待	よこ
待	たてはね
待	チコン

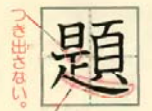
オン
くん
タイ
まつ

じゆく語
待心待待期
待心待待望
待望待望待

待つことしているね。



18画 頁(おおがひ) 部首



十分長くはらう。

書き順

題	白二
題	たて よこ
題	入をかき
題	右に大きく
題	二ノ自八

オン
くん
ダイ

じゆく語
話題題題出
題題題題題

問題を出题する。

11画 竹(たけかんむり) 部首



まげてはねる。とめる。

書き順

第	たけかんむりに (ケを二つ)
第	コをかいて
第	ノにつけて
第	かぎをはね
第	たてぼう
第	かいたら
第	左にはらう

オン
くん
ダイ

じゆく語
第第第第第
第第第第第

第1にしているね。



5画 イ(にんべん) 部首

長めに上につき出す。



はねる。カドをつげず にまげる。

書き順

他	にんべんに (イをかいて)
他	よこまげはねて
他	たてかいて
他	そして左に
他	たてまげはねる

オン
くん
タイ

じゆく語
他他他他他
力人言国他

地・池にしている。



11画 カ(かたへん) 部首

立てる。



はねる。上につけなさい。はらう。

書き順

族	てん 一に
族	かぎまげはねて
族	ノをかいて
族	ノ一とつづけて
族	矢を下に

オン
くん
ゾク

じゆく語
族族族族族
氏水親種一
族族族族族



7画 寸(すん) 部首

立てる。



はねる。とめる。

書き順

対	てん 二
対	メをかき
対	寸をかき

オン
くん
タイ

じゆく語
一対対対対
対立対対対



5画 オ(てへん) 部首

つき出ない。



はらう。石上がり。はねる。

書き順

打	よこ
打	たてはねて
打	もちあげて (てへんかき)
打	よこぼう
打	ひいたら
打	たてはねる

オン
くん
ウチ

じゆく語
値打打打打
打ち打ち打ち



9画
オ (きへん)
部首

点のうろちかたに注意。
とめる。

8画
シ (さんずい)
部首

点。立てない。
長く。
右上にはらう。

12画
矢 (やへん)
部首

つき出さない。
長く。
とめる。

9画
火 (ひ)
部首

内(さん)と形に注意。
はらう。

書き順

木に (木へんに)
てん 一
たて
よこ二本

住に
くんに
はしら

じゆく語

火の柱、大の柱、柱の黒、柱の黒、柱の黒、柱の黒

書き順

さんずいに (シをかいて)
てん 二
たてぼう
よこ二本

柱に
くんに
そそぐ

じゆく語

注の注、注の注、注の注、注の注、注の注、注の注、注の注、注の注

書き順

ノ よこぼう
入をかき
二 口
ソ 一
豆をかく

おくりがなに
注意!
くんに
すみ
つかい

じゆく語

短の短、短の短、短の短、短の短、短の短、短の短、短の短、短の短

書き順

山に
よこ一
ノをつけて
ソをかいたら
人をかく

炭炭炭炭炭
くんに
すみ
クン

じゆく語

炭の炭、炭の炭、炭の炭、炭の炭、炭の炭、炭の炭、炭の炭、炭の炭

声を出して歌って書こう

声を出して歌って書こう

11画
巾 (はへん)
部首

はねる。
この形に注意。
はらう。

2画
一 (いち)
部首

はねる。

12画
羊 (ひつじ)
部首

点の向きに注意。
長く。
はらう。

15画
言 (ごんべん)
部首

点。立てない。
内(さん)と形に注意。

書き順

たて
かぎはねて
たてぼうあらし
たて よこ二本
よこぼう長く
たてぼうねたら
左右にはらう

特別な
読み方。
蚊帳
くんに
チョウウ

じゆく語

日の手帳、通の手帳、通の手帳、通の手帳、通の手帳、通の手帳、通の手帳、通の手帳

書き順

よこぼう
かいて
たてはねる

水があふれる
ほど動い
よきようす

じゆく語

丁の丁、丁の丁、丁の丁、丁の丁、丁の丁、丁の丁、丁の丁、丁の丁

書き順

ソ
主
ノ
自

おくりがなに
注意!
くんに
チヤク
シヤク
ささる
つゝける

じゆく語

着の着、着の着、着の着、着の着、着の着、着の着、着の着、着の着

書き順

ごんべんに
火を二つ

くんに
ダン

じゆく語

面談、面談、面談、面談、面談、面談、面談、面談

3年 ちくち

3年 たくち

13画
部首
金(かねへん)

とめる。
右上がりに
はらう。

書き順
鉄 鉄 鉄 鉄 鉄 鉄
ひとやねに
よこ二本
たてぼう
かいたら
ソ、とつづけ
(金へんに)
ノによこ二本
人をかく

声を出して歌って書こう

3年 テスト

11画
部首
冫(おひん)

ななめにはらう。
はねる。
とめる。

書き順
都 都 都 都
よこ たて
よこて
ノ
白とかき
フにつづけて
たて長く

住めば都。
じゅく語
都(都心、都市、都会、都立、都立校、都立生)

11画
部首
竹(たけかんむり)

上につき出す。
はねる。

書き順
笛 笛 笛 笛
ケを二つ
(たけかんむりに)
たて かぎ
たてて
よこ二本



じゅく語
横(横笛、横笛、横笛、横笛)

11画
部首
車(くるまへん)

上の横棒より長く。
はねる。
とめる。
ある。

書き順
転 転 転 転
よこ 白
たてかいて
よこぼう二本に
ムをつける



じゅく語
軽(軽に、軽快、軽便、軽便車)

9画
部首
辶(しんじょう)

接する位置に注意。
はねる。

書き順
追 追 追
ノ たて
コ コて
しんじょう
つける



じゅく語
深(深追、追追、追追、追追)、追(追追、追追、追追、追追)

10画
部首
广(まだれ)

立てる。
はねる。
とめる。
立てはない。

書き順
庭 庭 庭 庭
てん
ノをつけ
ノに
土をかいて
フをつづけたら
右ばらい

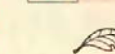


じゅく語
鹿(鹿球はチニスのこと。)

15画
部首
言(ごんべん)

点。立てない。
はねる。
はらう。

書き順
調 調 調 調
ごんべんに
ノをたて
かぎはね
土に
白



じゅく語
下(調、調、調、調)、調(調、調、調、調)、和(和、理、理、理)

8画
部首
宀(うかんむり)

立てる。
はねる。
とめる。
長くはらう。

書き順
定 定 定 定
ウかんむり
(ウをかいて)
よこ たて
よこて
人をかく



じゅく語
定(定休、定期、定期)

声を出して歌って書こう

3年 テスト

12画
カ (はつがしら)
部首

形と書き順に注意。
登
長めに。
はねる。

書き順

登
フにてんつけて
登
右にチョン
登
右にはらって
登
チョンつけて
登
一 口
登
ソ 一て
登
豆をかく



オン
トウ

じゆく語
木・金・山・録・金・金・金
用・場・り

12画
シ (さんずい)
部首

湯
湯てはないので注意。
長めに。
はねる。

書き順

湯
さんずいに
(シをかくて)
湯
白 一
湯
ノをかき
湯
かぎまげ
湯
はねたら
湯
ノを二つ



じゆく語
湯・湯・湯・熱・湯・湯
水・冷・船・飲・み

7画
オ (てへん)
部首

投
はらう。
上にはねる。
はねる。

書き順

投
よこ
投
たてはねて
投
もちあげて
投
(てへんかき)
投
ルにた形に
投
フに右はらい



オン
トウ
彼とにているよ。
くん
なげる

じゆく語
輪・投・投・投・投
投・入・石・書・手
げ

9画
广 (まだれ)
部首

度
立てる。
はらう。
はねる。

書き順

度
てん 一に
度
ノをつけて
度
サの下として
度
フに
度
右はらい



じゆく語
三・法・仕・度・角
度・度・度・量・度

声を出して歌って書く

3年 トウト

11画
カ (ちから)
部首

動
左下がりにはらう。
右上がりにかる。
はねる。

書き順

動
ノ 一
動
白をかき
動
たて よこ二本
動
右に大きく力を
動
つける

オン
ドウ
重く
うごかう

じゆく語
身・動・出・自・移
動・物・動・動・動
き



12画
々 (たけかんむり)
部首

等
とめる。
短くはらう。
はねる。

書き順

等
ケを二つ
(たけかんむりに)
等
土をかいたら
等
寸をかく

オン
トウ
人は平等。
くん
ひとし。

じゆく語
身・動・出・自・移
動・物・動・動・動
き



10画
山 (やま)
部首

島
かるくはらう。
長めに。
はねる。

書き順

島
ノに たて
島
ヨをかき
島
よこぼうかいて
島
かぎまげ
島
はねたら
島
山をかく

オン
トウ
島とにているね。
くん
しま

じゆく語
鳥・とにているね。
鳥・小・大・島・島
島・島・島・島・島



7画
豆 (まめ)
部首

豆
はらう。
はねる。
はねる。

書き順

豆
よこ一
豆
口て
豆
ソに
豆
よこぼう

オン
トウ
特別な読み方
小豆

じゆく語
豆・小・大・納・豆
豆・豆・豆・豆・豆
豆・電・豆・豆・豆



声を出して歌って書く

3年 トウト

15画
部首
ま (たけかんむり)

とめる。
箱
とめる。

書き順

箱箱箱箱
ケを二つ
(たけかんむりに)
下に
木をかき
白をよこに



じゆく語
木箱 重箱 木箱 空箱
箱入り 箱詰め 箱詰

10画
部首
イ (にんべん)

立てる。
倍
上の横棒より長い。

書き順

倍倍倍
にんべんに
(イをかいて)
てん ーて
ソ ーて
口をかく



じゆく語
部と
まちがえ
やすいよ。

じゆく語
入信倍倍二
一率増数倍倍
倍?

13画
部首
辰 (しんのたつ)

上につき出す。
農
形に注意。

書き順

農農農農農
たて かぎ たて
たて よこ二本
よこ二
ノをつけ
よこ二本
たてぼう
はねたら
左右にはらう



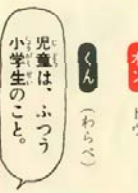
じゆく語
農村 農場 農作物
農家 農産物

12画
部首
立 (たつ)

立てる。
童
形に注意。

書き順

童童童童童
てん ーて
ソ ーて
ひらたい白
たてぼう
かいたら
よこ二本



じゆく語
小学生のこと。
児童は ふうう
(わらべ)

じゆく語
童歌 童話 童心 童全
童生 童徒 童学

声を出して歌って書こう

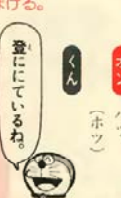
3年 ハハハ

9画
部首
火 (はつがしら)

形と書き順に注意。
発
カドをつけずに
まげろ。

書き順

発発発発発
フに
チョンつけて
右にチョン
右にはらって
チョンをかき
よこぼう二本て
ひとあしつける



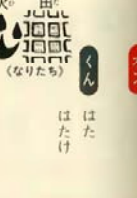
じゆく語
発明 発表 発表
作明 発表 発表
作明 発表 発表

9画
部首
田 (でん)

形と向きに注意。
畑
★火は筆圧下。
とめる。

書き順

畑畑畑畑畑
ソ 入
たて
かぎ
たて
よこ二本



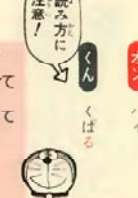
じゆく語
畑作 畑作
畑作 畑作
畑作 畑作

10画
部首
酉 (とりへん)

あける。
配
上にはわぬ。

書き順

配配配配配
よこーかいて
たて かぎつて
ル ーとかいて
そこふさぎ
かなのこ
たてぼう
まげてはね



じゆく語
配役 配役
配役 配役
配役 配役

8画
部首
シ (さんずい)

フにはしない。
波
長ははらう。

書き順

波波波波波
さんずいに
(シをかいて)
ノをたて
よこはね
たてかいて
そしてさいごに
フに右はらい



じゆく語
波止 波止
波止 波止
波止 波止

声を出して歌って書こう

3年 トハハ

9画 羊(ひつじ) 部首

形と向きに注意。

美

はらう。

★主7画に分けて書く。

書き順

美 美 美
ソ 主の 天



オン
ビ
くん うつくしい

じゆく語

美(容)美(容)美(容)美(容)
美(術)美(術)美(術)美(術)
美(術)美(術)美(術)美(術)

12画 心(こころ) 部首



悲

こめる。はねる。

まじりまじりしてためめ。

書き順

悲 悲 悲 悲
たてたノに よこぼう三本 たてかいて またよこ二本 心を下に

「心が折れるようにこころにわかれる」

オン
ヒ
くん かなしい

じゆく語

悲(報)悲(報)悲(報)悲(報)
悲(報)悲(報)悲(報)悲(報)
悲(報)悲(報)悲(報)悲(報)

12画 竹(たけ) 部首

筆

とめる。

短くはらう。

★それぞれの横線の長さに注意。

書き順

筆 筆 筆 筆
ケを二つ (たけかんむりに) ヨのなか長く よこ二本 そしてさいごに たてぼう長く

オン
ヒツ
くん ちて

じゆく語

筆(先)筆(先)筆(先)筆(先)
筆(先)筆(先)筆(先)筆(先)
筆(先)筆(先)筆(先)筆(先)

14画 鼻(はな) 部首

鼻

短くはらう。

はらう。

こみ出さず。

書き順

鼻 鼻 鼻 鼻
自分の 田んぼに よこ たて二本

「鼻が高い」「鼻が低い」「鼻が長い」

オン
ヒ
くん はな

じゆく語

鼻(息)鼻(息)鼻(息)鼻(息)
鼻(息)鼻(息)鼻(息)鼻(息)
鼻(息)鼻(息)鼻(息)鼻(息)

7画 土(つちへん) 部首

坂

つける。

右(みぎ)に上(うへ)に

書き順

坂 坂 坂 坂
よこ たてもちあげ (土へんに) よこ一 ノをつけ フに右ばらい

「そりかえって、かたむいてる土地。」

オン
ハン
くん さか

じゆく語

坂(上)坂(上)坂(上)坂(上)
坂(上)坂(上)坂(上)坂(上)
坂(上)坂(上)坂(上)坂(上)

4画 又(また) 部首

反

はらう。

つける。

書き順

反 反 反 反
よこ一 ノをかき フに 右ばらい

「坂に使われているね。」

オン
ハン
くん そら

じゆく語

反(物)反(物)反(物)反(物)
反(物)反(物)反(物)反(物)
反(物)反(物)反(物)反(物)

5画 皮(かわ) 部首

皮

つぎ出す。

長くはらう。

「こじしない。」

書き順

皮 皮 皮 皮
たてたノに よこぼうはねて たてかいて そしてさいごに フに右ばらい

「反とにている。」

オン
ヒ
くん かわ

じゆく語

皮(毛)皮(毛)皮(毛)皮(毛)
皮(毛)皮(毛)皮(毛)皮(毛)
皮(毛)皮(毛)皮(毛)皮(毛)

8画 木(きへん) 部首

板

とめる。

(なりたち)

書き順

板 板 板 板
木をかいて (木へんに) よこ一 ノをかき フに右ばらい

「そりかえった木のいた。」

オン
ハン
くん いた

じゆく語

板(前)板(前)板(前)板(前)
板(前)板(前)板(前)板(前)
板(前)板(前)板(前)板(前)

声を出して歌って書こう

3年 ヒツヒ

声を出して歌って書こう

3年 ハツヒ

9画 貝部首
負(いかい)

負 (いかに) はらう。とめる。

書き順

負 負 負

クに
自をかいて
ハをつける

注意! 読み方に
くん まける
おう まかす

オン

書き順

品 品 品
口(くち) ロ(ろ) 一(いち)
品 品 品
左(ひだり) 一(いち)
品 品 品
右(みぎ) 一(いち)

品 (くち) 上の口を少し大きめだ。



じゆく語
上品に食べましょう。
手品 食品 食品 食品
品物 品物 品物

声を出して歌って書こう



じゆく語
負(根) 負(担) 勝(負)
負(根) 負(担) 勝(負)
目(け)

8画 月部首
服(つきへん)

服 (つきへん) はげてはねる。とめる。

書き順

服 服 服 服 服
月をかき
かざまげはねて
たてをかき
かなのフかいて
右ばらい



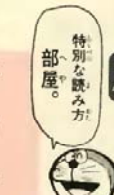
じゆく語
洋服 制服 衣服 衣服
服 従 服 服 服

11画 冫部首
部(おおべん)

部 (おおべん) 立てはねる。とめる。

書き順

部 部 部 部 部
てん 一
ソ 二
口をかき
フにつつけて
たてほう長く



じゆく語
特別な読み方!
部屋 くん
部(部) 部(部) 部(部)
分(分) 品(品) 教(教) 音(音) 負(負)

8画 衣部首
表(ころも)

表 (ころも) この形に注意。

書き順

表 表 表 表
よこ たて
よこ よこ
イのたてはねて
左にはらって
右ばらい

裏(反対) 裏(反対) 裏(反対) 裏(反対)
裏(反対) 裏(反対) 裏(反対) 裏(反対)

オン



じゆく語
表(表) 表(表) 表(表) 表(表)
表(表) 表(表) 表(表) 表(表)

5画 水部首
氷(みず)

氷 (みず) わずれずに。右に下はひらいて。はねる。

書き順

氷 氷 氷 氷
たてほうはねて
てん フをかいて
左ばらいに
右ばらい

氷(氷) 氷(氷) 氷(氷) 氷(氷)
氷(氷) 氷(氷) 氷(氷) 氷(氷)

じゆく語
水(水) 氷(氷) 氷(氷) 氷(氷)
氷(氷) 氷(氷) 氷(氷) 氷(氷)

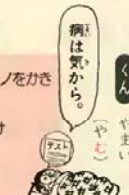
こおるは凍る

10画 疒部首
病(やまいだれ)

病 (やまいだれ) 立てる。この形に注意。はねる。とめる。

書き順

病 病 病 病 病
てん ノをかき
ンをつけ
よこ
たて かざはね
人をかく



じゆく語
病(病) 病(病) 病(病) 病(病)
病(病) 病(病) 病(病) 病(病)

9画 禾部首
秒(のぎへん)

秒 (のぎへん) 短くはらう。短くはねる。短くとめる。

書き順

秒 秒 秒 秒 秒
ノ 木とかき
(のぎへんに)
たてはね
チヨン チヨン
ノを長く

じゆく語
秒(秒) 秒(秒) 秒(秒) 秒(秒)
秒(秒) 秒(秒) 秒(秒) 秒(秒)



じゆく語
秒(秒) 秒(秒) 秒(秒) 秒(秒)
秒(秒) 秒(秒) 秒(秒) 秒(秒)

8画 部首
女(のぶん)

立てる。
ほう。
はなむ。



書き順

てん 一に
かぎまげはねて
ノをかいて
ノ一とつづけ
ノ一とつづけ
左右にはらう

オン
ホウ

くん
はなす
はなす
はなす
はなす

じゆく語
開放 開放 射放 放火 放能 放能

10画 部首
力(ちから)

勉
かどをつけずにまける。

書き順

クに
たて かぎて
なかしきり
そこをとじたら
ひとあしつけて
わすれず力をいれておく

オン
ベン

くん
勉

じゆく語
勉学 勉勵 勉勵 勉勵 勉勵 勉勵

8画 部首
ナ(うしへん)

物
右(う)がじりたる。
はねる。
とめる。

書き順

ノ二の
たてで
もちあげて(うしへんに)
ノに
かぎまげはねて
ノを二つ

オン
モツ

くん
物

じゆく語
見物はみものとも兼む。
物事 物置 物物 物物 物物 物物

13画 部首
ネ(めすへん)

福
短くとめる。

書き順

しめすへん(ネをかいて)
よこ一
口て
田を下に

オン
フク

くん
福

じゆく語
福引 福神 福神 福神 福神 福神

声を出して歌って書こう

8画 部首
口(くち)

命
はなむ。
とめる。

書き順

ひとやねに
よこ一
口て
かぎはね
たてぼう

オン
メイ

くん
命

じゆく語
人命 命 命 命 命 命 命 命

8画 部首
口(くちへん)

味
上の横棒より長く。
とめる。

書き順

口へんに(口をかき)
よこぼう二本
たてかいて
左ばらに
右ばらに

オン
ミ

くん
味

じゆく語
中身・中味。
あじわう

7画 部首
え(しんによう)

返
つける。
ひらいて書へ。

書き順

よこぼう
ノをかき
フに右ばらい
左に大きく
しんにようつける

オン
ヘン

くん
返

じゆく語
若返り 返り 返り 返り 返り 返り

5画 部首
干(かん)

平
つき出さぬ。
とめる。
長く。

書き順

よこ一
ソ
二
ぼつてわけ

オン
ヘイ

くん
平

じゆく語
注意！読み方に
平 平 平 平 平 平 平 平

3年へへメ

声を出して歌って書こう

3年へへメ

8画
部首

上につぎ出す。
油

書き順

油 さんずいに (シをかいて)
油 たて かぎ
油 たてて
油 よこ二本



声を出して歌って書こう

5画
部首

上につぎ出す。
由

書き順

由 たて
由 かぎ
由 たてぼう
由 よこ二本



11画
部首

問

書き順

問 たてぼうかいて
問 ヲをかいて
問 たて かぎはねて
問 よこ二本
問 なかに口の字 わすれずに



もんがまに、くち(口)

9画
部首

面
中の横棒は一本。

書き順

面 よこ一ノ
面 たて かぎ
面 たて たて
面 よこ二本
面 そしてさいごに そことじる



めん

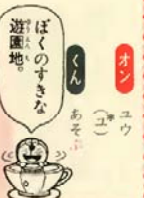
声を出して歌って書こう

12画
部首

遊

書き順

遊 てん 一に
遊 かざまげ
遊 うちをはね
遊 ノをつけて
遊 右にノ 一て
遊 子をかいて
遊 左に大きく
遊 しんにようつける



3年 ユーユ

6画
部首

有

書き順

有 ノをかき
有 よこ二
有 月をかく



16画
部首

薬

書き順

薬 くさかんむりに (シをかいて)
薬 白をかき
薬 左に ンて
薬 右には く
薬 下に大きく
薬 木をつける

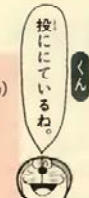


7画
部首

役

書き順

役 ノ イとかき (ぎょうにんべん)
役 ルににん形て
役 フに
役 右はらい



3年 メーヤ

14画
オ (おへん)
部首

様

形と向きに注意。

書き順

様
木をかいて
(木へんに)
ソに
よこ三本
たてぼう
はねたら
ンとくつける

女王様



じゆく語

王様 様同異
様相 式様 様々

12画
フ (ふへん)
部首

陽

はらう。

書き順

陽
フにつけて
たて長く
(くざとへん)
日に一つけて
ノをかいて
かぎまげ
はねたら
ノを二つ

反対語

陰



じゆく語

陽気 陽気 陽気 山陽
性 赤気 光気 陽気

6画
羊 (ひつじ)
部首

羊

こめる。

書き順

羊
ソに
よこ
よこ
たておろす

半

半にしているね。



じゆく語

羊子 羊子 羊子 牧羊
羊子 羊子 羊子 羊子

4画
予 (はねぼう)
部首

予

はねる。

書き順

予
マをかいて
よこぼうはねて
たてぼうはねる

くん

ヨ



天気予報

じゆく語

予子 予子 予子 予子
予防 予報 予定 予想

声を出して歌って書こう

3年 ヨヨリ

10画
シ (さんずい)
部首

流

こめる。

書き順

流
さんずい
(シをかいて)
てん
ムをかき
川の字おわりを
まげてはね

立てる。

ながれる



じゆく語

流石 流石 流石 流石
流石 流石 流石 流石

12画
ノ (くさかんむり)
部首

落

はらう。

書き順

落
よこぼうかいて
たて二本
(くさかんむり)
左にさんずい
フに右はらい
口をかく

下の書き順

おちる

じゆく語

落ち 落ち 落ち 落ち
落ち 落ち 落ち 落ち



落葉

12画
ノ (くさかんむり)
部首

葉

こめる。

書き順

葉
よこぼうかいて
たて二本
(くさかんむり)
よこぼう長く
たてぼう二本
左から
そこをふさいで
たてぼうまげて
下に漢字の木を
つける

長い。

特別な読み方

紅葉もみじ

は

ヨウ

ヨウ

ヨウ

ヨウ

じゆく語

紅葉 紅葉 紅葉 紅葉
紅葉 紅葉 紅葉 紅葉

9画
シ (さんずい)
部首

洋

つぎ出さない。

書き順

洋
さんずい
(シをかいて)
ソで
よこ三本
たてぼう長く

くん

ヨウ

じゆく語

洋食 洋食 洋食 洋食
洋食 洋食 洋食 洋食



声を出して歌って書こう

3年 ヨヨリ

14画 糸(いと) 部首

おる。
練

とめる。
まつすくにおるしてとめる。

書き順

くムとつづけて
たて チョン チョン
(糸へんて)
よこ一
白をかき
たてぼう
ひいたら
左右にはらう

練練練練練



じゆく語
練(洗) 試(試) 熟(熟) 訓(訓)
習(習) 練(練) 練(練) 練(練)

6画 リ(り) 部首

短く。
列

はわる。
はじは

書き順

よこ一かいて
夕をつけて
たてぼう一本
おわりをはねる
(りつとつをかく)

列列列



じゆく語
列(列) 列(列) 前(前) 行(行)
鳥(鳥) 車(車) 国(国) 列(列)

6画 一(いち) 部首

つき出さない。
両

はわる。
とめる。

書き順

よこ
たて
かぎはね
上からとおつた
山をかく

両両両



じゆく語
両(両) 両(両) 両(両) 車(車)
立(立) 方(方) 手(手) 親(親) 両(両)

10画 方(かたへん) 部首

立てる。
旅

はわる。
形に注意。
とめる。

書き順

てん 一に
かぎまげはねて
ノをかいて
ノ一と
つづけて
イ<とかく

旅旅旅旅旅



遊(遊) 旅(旅) とに(とに) いる(いる)。
た(た) び(び) リョ(リョ)

じゆく語
船(船) 旅(旅) 林(林) 林(林)
旅(旅) 人(人) 立(立) 行(行) 機(機)

8画 口(くち) 部首

左下がりにはらう。
和

短くとめる。

書き順

ノ 木とカキ
(のぎへんに)
右に たて かぎ
よこ一ふさぐ

和和

大和 日和 読み方 特別な



じゆく語
和(和) 和(和) 和(和) 温(温)
食(食) 室(室) 飲(飲) 音(音) 和(和)

13画 足(あしへん) 部首

くつけない。
路

右上にはらう。

書き順

白に
止める
クに右はらい
白をいれる

路路路路路



じゆく語
家(家) 路(路) 通(通) 空(空)
路(路) 線(線) 地(地) 字(字) 路(路)

5画 ネ(ね) 部首

立てない。
礼

とめる。
まげて「口」ははわる。

書き順

ネをかいて
(しめずへんて)
たてまげはねる

礼礼



じゆく語
礼(礼) 礼(礼) 朝(朝) 夫(夫) 敬(敬)
賀(賀) 便(便) 礼(礼) 礼(礼)

14画 糸(いと) 部首

おる。
緑

つき出さない。
この形に注意。
水ではない。

書き順

糸へんて
(くムとつづけて
たて チョン チョン)
ヨの下長く
たてぼう
はねて
左にノて
右にはく

緑緑緑緑緑



鐘(鐘) とに(とに) いる(いる)ね
み(み) どり(どり) (口) (口)

じゆく語
緑(緑) 緑(緑) 緑(緑) 新(新)
色(色) 青(青) 茶(茶) 地(地) 緑(緑)

声を出して歌って書こう

3年 レッワ

声を出して歌って書こう

3年 リッレ



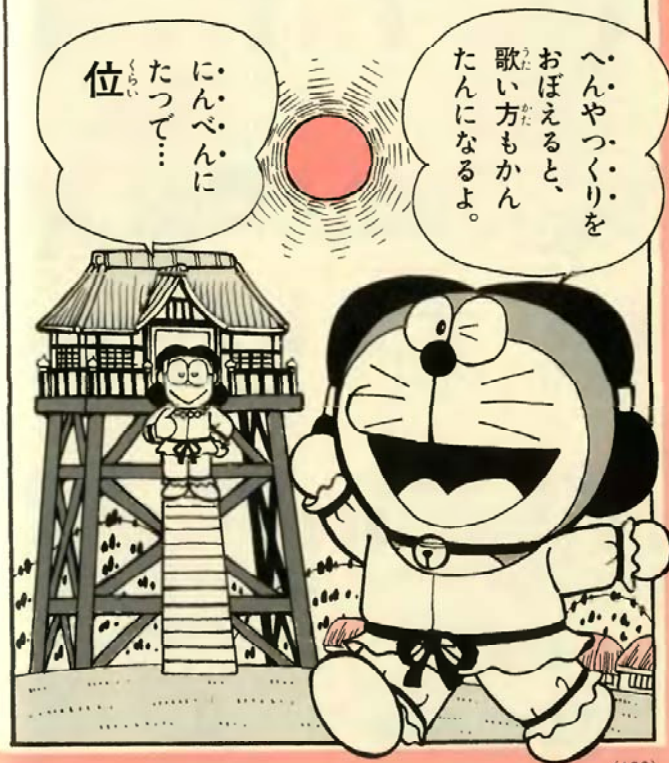
●4年生の漢字もくじ●

(200字・アイウエオ順にならんでいます。)

令冷例歴…	未脈民無…	夫付府副…	働特得毒…	單置仲貯…	説浅戦選…	笑唱烧象…	士氏史司…	航康告差…	訓軍郡径…	喜旗器機…	芽改械害…	愛案以衣…
188	184	180	176	172	168	164	160	156	152	148	144	140
連老勞録…	約勇要養…	粉兵別辺…	熱念敗梅…	兆腸低底…	然争倉巢…	照賞臣信…	試児治辞…	菜最材昨…	型景芸欠…	議求泣救…	街各覚完…	位囲胃印…
189	185	181	177	173	169	165	161	157	153	149	145	141
浴利陸良…	変便包法…	博飯飛費…	停的典伝…	東側統卒…	成省清静…	失借種周…	札刷殺察…	結建健験…	給挙漁共…	官管関観…	英栄塩億…	
186	182	178	174	170	166	162	158	154	150	146	142	
料量輪類…	望牧未満…	必票標不…	徒努灯堂…	孫帯隊達…	席積折節…	祝順初松…	参産散残…	固功好候…	協鏡競極…	願希季紀…	加果貨課…	
187	183	179	175	171	167	163	159	155	151	147	143	



4年生で習う漢字



7画 □ 部首
たて かぎかいて
よこ二本
たてぼう
よこ二本で
そこふさぐ

上より長く。
まげてひたして
とめる。

用

書き順

用

用

(なりたち)

用

井ぞと
かこむ。

オン
イ



板包周胸
画画画画画
用

じゆく語
板包周胸
画画画画画

6画 P 部首
たて かぎかいて
よこ二本
たてぼう
よこ二本で
そこふさぐ

はらう。
はねる。
はらう。
はねる。

印

ひてはない。

書き順

印

印

印かん

オン
イン

じゆく語
矢目塞印印象刷
印印印象刷

9画 月 部首
たて かぎかいて
よこ二本
たて かぎはねて
よこぼう二本

胃

はねる。
はねる。

書き順

胃

胃

胃育

オン
イン



じゆく語
胃胃胃胃胃
痛腸酸飲液

10画 木 部首
たて かぎかいて
よこ二本
たてぼう
よこ二本で
そこふさぐ

立てる。
はらう。
はらう。
はらう。
はらう。

案

書き順

案

案

案



案にて
いるよ。

じゆく語
名答国案案
案案案の定

13画 心 部首
たて かぎかいて
よこ二本
たてぼう
よこ二本で
そこふさぐ

はらう。
はらう。
はらう。
はらう。
はらう。

愛

書き順

愛

愛

愛



愛
愛用読書

じゆく語
友愛愛愛愛
愛用読書

6画 衣 部首
たて かぎかいて
よこ二本
たて かぎはねて
よこぼう二本

立ててつける。
はねる。
はねる。
はねる。
はねる。

衣

この形に注意。

書き順

衣

衣

衣



じゆく語
羽衣
羽衣
衣台付衣衣食
衣が衣類衣注

5画 人 部首
たて かぎかいて
よこ二本
たて かぎはねて
よこぼう二本

はらう。
はねる。
はねる。
はねる。
はねる。

以

入と書かない。

書き順

以

以

以

以

似とにているね。

じゆく語
以以以以以
来前上降外

10画 木 部首
たて かぎかいて
よこ二本
たてぼう
よこ二本で
そこふさぐ

立てる。
はらう。
はらう。
はらう。
はらう。

案

書き順

案

案

案



案にて
いるよ。

じゆく語
名答国案案
案案案の定

13画 心 部首
たて かぎかいて
よこ二本
たてぼう
よこ二本で
そこふさぐ

はらう。
はらう。
はらう。
はらう。
はらう。

愛

書き順

愛

愛

愛



愛
愛用読書

じゆく語
友愛愛愛愛
愛用読書

6画 衣 部首
たて かぎかいて
よこ二本
たて かぎはねて
よこぼう二本

立ててつける。
はねる。
はねる。
はねる。
はねる。

衣

この形に注意。

書き順

衣

衣

衣



じゆく語
羽衣
羽衣
衣台付衣衣食
衣が衣類衣注

5画 人 部首
たて かぎかいて
よこ二本
たて かぎはねて
よこぼう二本

はらう。
はねる。
はねる。
はねる。
はねる。

以

入と書かない。

書き順

以

以

以

以

似とにているね。

じゆく語
以以以以以
来前上降外



8画 木(き) 部首

果

果物 特別な
読み方

下まておろして
とめる。

書き順

果
果
果
果
果

たてかぎ よこ
よこ(白をかいて)
よこぼう長く
たてぼうおろし
左にはらって
右はばらい

くん オン
カ
はてる はたす
じゆく語
果実 果樹 果報
果合 果者 果園

5画 カ(から) 部首

加

はねる。

おくりがなを
に注意!

書き順

加
加
加

かぎまげはねて
ノをかいて
たてかぎ よこて
そこふさぐ

くん オン
カ
くわえる
くわわる
じゆく語
増し 参入 加加 加加
加加 加加 加加 加加



15画 課(こんべん) 部首

課

下まておろして
とめる。

書き順

課
課
課

こんべんに
ひらたい目に
木の上長く

くん オン
カ
放課後
じゆく語
日課 課目 課業
課目 課目 課目



11画 貝(かい) 部首

貨

はねる。

書き順

貨
貨
貨
貨

イをかいて
ノに
たてまげはねて
下に貝

くん オン
カ
貝が化ける
とまほえる
じゆく語
通貨 贈貨 貨物 貨車
貨物 貨物 貨物



8画 艹(くさかんむり) 部首

英

はねる。

書き順

英
英
英
英

サをかいて
(くさかんむり)
たて かぎ
よこて
入をかく

くん オン
エイ
英吉利 → 英国
じゆく語
英和 英英 英英 英英
英和 英英 英英 英英



9画 木(き) 部首

栄

はねる。

おぼえ方
ツツで栄える。

書き順

栄
栄
栄

ツツで栄える。
ツツで栄える。
(はえる)

くん オン
エイ
さかえる
じゆく語
栄光 栄光 栄光 栄光
栄光 栄光 栄光 栄光



13画 土(つちへん) 部首

塩

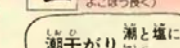
はねる。

書き順

塩
塩
塩
塩

土へんに(よこ
たて)もちあげ
ノ一の
口て
下に血
(たてかぎ)たてて
よこぼう長く

くん オン
エン
しお
じゆく語
塩水 塩水 塩水 塩水
塩水 塩水 塩水 塩水



15画 イ(いんべん) 部首

億

はねる。

書き順

億
億
億

いんべんに
(イをかいて)
てんソ
白心

くん オン
オク
億億 億億
じゆく語
億方 億年 億兆
億方 億年 億兆





8画 部首 艹 (くさかんむり)

はらう。



書き順
サをがいて (くさかんむり)
よこノをかき
よこぼうひいて
たてぼう
はねたら
ノをつける

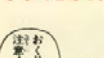
自と使いまちがえないように。

じゆく語

若芽・新芽・発芽・芽吹
芽・生芽・芽・芽

7画 部首 攴 (のぶん)

まげてとめる。



書き順
コに
たてまげて
ノとつづ
左にはらって
右ばらい



じゆく語

改訂・改定・改過・改心・改札・改口

じゆく語

改訂・改定・改過・改心・改札・改口

12画 部首 行 (ぎょう)

はらう。



書き順
ノイとかき (ぎょうにんべん)
よこ たて
よこの
よこの
まご
よこぼう二本
たてはわる

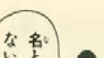
いる所

じゆく語

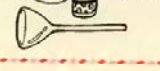
街角・街道・商店街・街灯

6画 部首 口 (くち)

はらう。



書き順
クに
右ばらい
口をか



じゆく語

各地の名産品

10画 部首 宀 (うかんむり)

長い。



書き順
ウかんむりに (ウをかいて)
よこ たて
よこ よこ
口をか

富・実

じゆく語

害・害・害・害・害・害・害・害

12画 部首 見 (みる)

かどをつけず



書き順
ツに
ツウ見て、覚える。

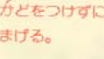
勉強・遊び

じゆく語

目覚め・物覚え・見覚え・味覚

7画 部首 宀 (うかんむり)

かどをつけず



書き順
ウかんむりに (ウをかいて)
よこぼう二本
ひとあしつける

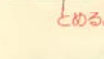
字・安・宗

じゆく語

未覚・覚・覚・覚・覚・覚・覚・覚

11画 部首 木 (き)

点をわすれない。



書き順
木をかいて (木へんかき)
よこぼう
サをいれ
たすきがけてん

器・機・機・機

じゆく語

器・機・機・機

7画 部首 宀 (うかんむり)

長い。



書き順
ウかんむりに (ウをかいて)
よこぼう二本
ひとあしつける

字・安・宗



4年 カキキ 声を出して歌って書こう

7画 巾部首 希 (はば) つき出す。こめる。はねる。

書き順 希 希 希 希 希 希 希 (1)めずらしこと。 (2)のそむこと。

9画 糸部首 紀 (いとへん) 上のばさない。上はねる。こめる。

書き順 紀 紀 紀 紀 紀 (糸へんにくムとつけてたて チョン チョン) 己の部分に注意。

19画 頁部首 願 (おらがい) つき出さない。はねる。

書き順 願 願 願 願 よこ一にノをつけて たて白に小て

8画 子部首 季 (こ) 短め。はねる。

書き順 季 季 季 ノ木とカキ 下にこどもの子をつける

14画 竹部首 管 (たけかんむり) 立てる。上より少し大きめ。

書き順 管 管 管 管 管 クを二つ (たけかんむり) ウかんむりに たてぼうかいて

18画 見部首 観 (みる) 上につき出さない。はねる。

書き順 観 観 観 観 観 ノ二に よこぼう イをかいて てん二 たてて よこ三本 右に漢字の見えるをかく

8画 宀部首 官 (うかんむり) 立てる。上より少し大きめ。

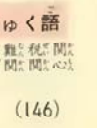
書き順 官 官 官 官 ウかんむりに (ウをかいて) たてぼう ひいたら コを二つ

14画 門部首 関 (もんがまえ) 形や向きに注意。

書き順 関 関 関 関 たてぼう ヌをかき たてカギはねて よこぼう二本て ソに矢をかく



4年 カカカ 声を出して歌って書こう





4年 キ〜キ 声を出して歌って書こう

上の横棒より短く。

喜



12画 部首 口(くち)

書き順
喜 喜 喜 喜 喜
士 白 ソ 白

じゆく語
大喜 悲喜 喜色 喜劇 喜劇

立てる。 旗

旗



14画 部首 方(かたへん)

書き順
旗 旗 旗 旗 旗
てん 一に 木をかいて ノをの 一の
よこて
たてぼう二本
よこ二本
よこぼう長く
八をつける

期とにてるわ。
くん はた

じゆく語
旗 旗 旗 旗 旗 旗 旗 旗 旗 旗

つき出す。 器

器

形に気を つけて書く。
くん (うつわ)

15画 部首 口(くち)

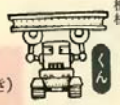
書き順
器 器 器 器 器
口 二つ 大をかいたら 口 二つ



じゆく語
人のまわりに 食べ物のうつつ かがたくさん がある形。
器 器 器 器 器 器 器 器 器 器

点をわすれない。 機

機



16画 部首 木(きへん)

書き順
機 機 機 機 機
木をかいて (木へんかき) <L <L よこ一
ちいさな人に
たすきかけ
てん

じゆく語
この(機械)を 買う チャンス たすきは 機会。

点をわすれない。 機

点を立てない。 議

議

20画 部首 言(ごんべん)

書き順
議 議 議 議 議
言(ごんべん) ソ 主の 議

じゆく語
議 議 議 議 議 議 議 議 議 議



点をわすれない。 求

求

7画 部首 水(みず)

書き順
求 求 求 求 求
よこ たてはねて ンをかき 左右にはらって かにてん

じゆく語
おくりがなに 注意!
くん もとめる
求 求 求 求 求 求 求 求 求 求



4年 キ〜キ 声を出して歌って書こう

立てる。 泣

泣

8画 部首 水(みず)

書き順
泣 泣 泣 泣 泣
水(みず)に (シをかいて) てん 一 ソ 一

じゆく語
泣き 泣き 泣き 泣き 泣き 泣き 泣き 泣き 泣き 泣き



点をわすれない。 救

救

11画 部首 文(ぶん)

書き順
救 救 救 救 救
よこ たてはねて ンをかき チョン チョンつけてんをうち ノ とつづけて 左右にはらう

じゆく語
救 救 救 救 救 救 救 救 救 救





12画
日(に)
部首
景
立てる。
はねる。
はねる。
とめる。

書き順
景景景景景景
ひらたい白
てん ニ
白て
小をかく

特別な景色
読み方

じゆく語
夜景、風景、光景、景色、景気、景品、景色

4画
欠(あくじ)
部首
欠
欠のようにはしない。
はらう。

書き順
欠欠欠
ノ フと
つづけて
入をか

月の裏に欠け。
じゆく語
満ち欠け、欠点、欠席

9画
土(つち)
部首
型
短く。
はねる。
下の横棒を長く。
土にしない。

書き順
型型型型型型
よこ よこ
たて たて
たて二本
おわりをはねたら
土をか

きまってきたらのこと
型とまちがえやすい。

じゆく語
流線型、血液型、新车型、模範型

7画
芸(くさかんむり)
部首
芸
上の横棒より長く。

書き順
芸芸芸
サニム。
サをかいて
(くさかんむり)
よこばう二本に
かなのムをつける

手芸。
じゆく語
芸品、芸術、芸当、芸人



10画
言(ごんべん)
部首
訓
点。立てない。
はらう。

書き順
訓訓訓
てん 一
よこ よこ
口をかき
(ごんべんに)
たてばう二本
川をか

じゆく語
訓読、訓読み、訓令、訓読み、訓読み

10画
卩(おおさこ)
部首
郡
右につき出る。
はねる。
足てはない。

書き順
郡郡郡郡郡郡
クン(書)に、おおさこ。
ヨのなか長く
ノ
白をかき
フにつづけて
たてばう長く

じゆく語
郡内、郡下

9画
車(くるま)
部首
軍
へにしない。
長く。

書き順
軍軍軍軍軍軍
ワかんむり
(ワとかいて)
よこ二
白
一
たて長く

じゆく語
大軍、軍、海軍、軍手、軍人、軍

8画
イ(きょうにんべん)
部首
徑
くつつけない。
はらう。
上の横棒より長く。

書き順
徑徑徑
ノ イとかき
(ぎょうにんべん)
フに若はらいて
土をか

じゆく語
徑路、徑路

じゆく語
群にしているわ



5画
カ 部首
功

上につき出す。
はわる。
右上がりに
はらう。

功

書き順

功 よこぼう
功 たてて
功 もちあげて
功 かざまげはねて
功 ノをつける

切・巧
にている字
くん
オン
コウ



じゆく語
功 成 功 功 功
徳 功 勞 名 罪
者

10画
イ 部首
候

上ではない。
はらう。
はわる。
つぎ出さない。

候

書き順

候 にんべんに
(イをかいて)
候 たてぼうつけて
候 かなのユがいて
候 ノーの下に
候 天をかく



候とにている。
くん
オン
コウ

じゆく語
候 天 候 候
文 候 候 候
補 候 候 候

8画
固 部首
固

まつすぐおろす。
はわる。
かこつて
固まる。

固

書き順

固 たて かざ
固 十
固 口て
固 そことじる



くん
オン
コ

じゆく語
固 固 固 固
固 固 固 固
固 固 固 固

にている字
困 木をかこつてこまる。

9画
建 部首
建

建

書き順

建 ヨのなか長く
建 よこ二本
建 たてぼう
建 とおして
建 フをつづけて
建 石ばらい



くん
オン
ケン
「棒は立てる。」
たてる
たてる

じゆく語
建 建 建 建
物 立 築 設 設 固

12画
糸 部首
結

結

書き順

結 糸へんにくム
結 とつつけて たて
結 チョン チョン
結 よこ たて
結 よこを短くし
結 下に漢字の
結 口をつける



くん
オン
ケツ
むすぶ
ゆき
ゆき

じゆく語
結 結 結 結
結 結 結 結
目 目 目 目

18画
馬 部首
験

つぎ出さない。
はらう。
はわる。
はらう。

験

書き順

験 たてよこたて
験 よこ二本
験 かざまげはねて
験 てん四つ
験 ひとやね
験 口
験 人をかく



くん
オン
ケン
険ににている。

じゆく語
験 験 験 験
験 験 験 験

11画
イ 部首
健

健

書き順

健 にんべんに
(イをかいて)
健 ヨのなか長く
健 よこ二本
健 たてぼう
健 かいたら
健 フをつづけて
健 石ばらい

くん
オン
ケン
すこやか

じゆく語
健 健 健 健
健 健 健 健
家 家 家 家





12画 白(ひらび) 部首

最 くに さい

特別な読み方: 最寄りの駅

書き順: 最 最 最 最 最

じゆく語: 最年、最夫、最高、最近

11画 艸(くさかんむり) 部首

菜 くに さい

書き順: 菜 菜 菜 菜 菜

じゆく語: 菜の花、野菜

9画 日(ひへん) 部首

昨 くに さい

位置に注意: 終わりはとめる。

書き順: 昨 昨 昨 昨

じゆく語: 昨日、昨夜、昨年

7画 木(きへん) 部首

材 くに さい

縦線の少し右から左下へはらう。

書き順: 材 材 材 材 材

じゆく語: 木材、材料

11画 广(まだれ) 部首

康 くに さい

この形に注意。

書き順: 康 康 康 康 康

じゆく語: 健康

10画 舟(ふねへん) 部首

航 くに さい

形や時などに注意。

書き順: 航 航 航 航 航

じゆく語: 航海



10画 工(えたくみへん) 部首

差 くに さい

まんなかより少し左から書き始める。

書き順: 差 差 差 差 差

じゆく語: 差す

7画 口(くち) 部首

告 くに さい

上につくし出す。

書き順: 告 告 告 告 告

じゆく語: 告げ



11画

部首 生(うまれる)

産

少し長く。

特別な読みが土産

書き順

産 てん 一
産 ソ 二
産 ノをつけて
産 ノ 一に
産 たてて
産 よこ二本

注意! ちがいに!

産 たまごを産むわたしが生まれた日。
産 うむ (うぶ)

じゆく語

産毛 産地 産物 産業

10画

部首 歹(いたへん)

残

上にはねる。

左下へはらう。

書き順

残 よこ一
残 タをかき
残 よこ二本
残 そしてさいごにたすきかけ てん

特別な読み方名残おいしい。

じゆく語

食残 残念 残業 残物

8画

部首 厶(む)

参

向きや長さにも注意。

書き順

参 かなのム
参 大きい
参 ノが三つ



参観日

じゆく語

参列 参照 参事 参謀 参事 参事 参事

12画

部首 女(のぶん)

散

はねる。

長く。

とめる。

書き順

散 サをかき
散 よこ一
散 月をかき
散 ノ 一と
散 つづけて
散 左右にはらう(のぶん)

じゆく語

散水 散歩 散歩 散歩

8画

部首 リ(りつとう)

刷

はねる。

書き順

刷 コノとつづけて
刷 たて かきはねて
刷 たてぼうがいたら
刷 たてぼう二本て
刷 おわりをはねる(りつとうをかへ)

別利判字

手刷り 印刷 刷色 刷増 刷新 刷利

じゆく語

手刷り 印刷 刷色 刷増 刷新 刷利

14画

部首 宀(うかんむり)

察

はねる。

立てる。

形に注意。

書き順

察 ウかんむり(ウをがいて)
察 タにてんつけて
察 フをがいて
察 右にはらって
察 ホすかへ

じゆく語

推察 察知 考察 察言 察察 察察 察察

5画

部首 木(きへん)

札

かどをつげずにまげて、はねる。

書き順

札 木をがいて
札 たてまげてはねる



じゆく語

札名 札表 札千 札検 札札 札札 札札 札札

10画

部首 殳(るまた)

殺

とめる。

書き順

殺 メ
殺 木とかき
殺 ルにた形て
殺 フに右はらい

じゆく語

見殺 相殺 殺殺 殺殺 殺殺 殺殺 殺殺 殺殺



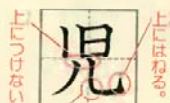


4年

シ～シ

声を出して歌って書こう

7画 部首 儿 (ひとあし)



かどをつけないでまける。

書き順

たてぼうかいて
白をよこに
下に儿にた
ひとあしつける



先・元・光
児
じゆく語
小児科
幼児科
児童科
愛児科
愛児科

13画 部首 言 (ごんべん)



若上にはらう。

書き順

ごんべんに
よこぼう
工をかき
たてまげはね
チョン



じゆく語
入試
試験
試作
試運転
試合

13画 部首 辛 (からい)



立てる。
長く。
左下にはらう。

書き順

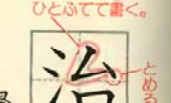
ノに
十 口
てん 二
ソ 二
子をかく

事典...
辞典...
辞書...
説明した本
説明した本
説明した本

じゆく語
祝辞
辞退
辞職
辞書

(161)

8画 部首 治 (さんずい)



ひとつで書く。

書き順

かたかなでシ
(さんずい)
ム
白とかく



じゆく語
病気を
「治す」
車の故障を
直す。

(161)



4年

シ～シ

声を出して歌って書こう

3画 部首 士 (しむらい)



上の横棒より短く。

書き順

よこ
たてかいて
短くよこぼう

じゆく語
武士
代官
代官
代官
代官



4画 部首 氏 (うじ)



左下にはらう。

右の上に大きくはねる。

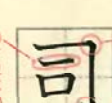
書き順

ノに
たてはねて
よこぼう
上げて
つっかいぼうを
はねておく



じゆく語
氏子
氏名
氏族
氏名

5画 部首 司 (くち)



縦角におれる。
はねる。

書き順

かぎぼうはねて
一に
口

じゆく語
可・同
にている字



(160)

5画 部首 史 (くち)



上につき出す。

左につき出す。

書き順

口をひらたく
左右にはらう

じゆく語
史記
史記
史記
史記



(160)



4年

シ

声を出して歌って書こう

12画 頁(おおい) 部首

いちばん長く。 順

書き順 三本前に
順
順
順
順
順

「真」のつく字
預・願・類

オン シュン

じゅく語
道・順・順・順・順
順・順・順・順・順



9画 祝(しめすへん) 部首

点。立てない。 祝

書き順 てん フに
祝 トをかき(しめすへん)
祝 白に
祝 ひとのあし

「まをき」としない。
くん いわう

オン シュク

じゅく語
入・祝・祝・祝
字・言・言・言・祝



8画 才(きへん) 部首

はなす。 松

書き順 木をかいて
松
松
松

「にている字」
校

オン ショウ

じゅく語
松・松・松・松
松・松・松・松



7画 刀(かたな) 部首

点。立てない。 初

書き順 てんに
初 フをかき
初 たてチョンチョン
初 (ころもへん)
初 かざまげはねて
初 ノをつける

「ころもへん」に、かたな。

オン ショ

じゅく語
書・初・初・初
ま・言・言・言・初



10画 イ(にんべん) 部首

つき出す。 借

書き順 にんべんに
借 (イをかいて)
借 よこ たて
借 たて よこ
借 白を下に

くん かりる

オン シヤク

じゅく語
借・借・借・借
り・用・用・家・物・手・金



5画 大(だい) 部首

上につき出す。 失

書き順 ノをかいて
失失失
失失失
失失失

くん うしなう

オン シツ

じゅく語
失・失・失・失
明・望・敗・神



「てんがない」
出ない。
上につき
にている字

4年

シ

声を出して歌って書こう

8画 口(くち) 部首

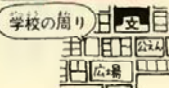
上の横棒より長く。 周

書き順 ノをたて
周
周
周
周
周

くん まわり

オン シュウ

じゅく語
周・周・周・周
週・週・週・週



14画 禾(のぎへん) 部首

小さくこめる。 種

書き順 ノ木とつめて
種
種
種
種
種

くん たね

オン シユ

じゅく語
特・種・種・種
種・種・種・種





4年

シ

声を出して歌って書こう

15画 貝(かい) 部首
この形に注意。
てはなない。

賞

とめる。

書き順

賞 賞 賞 賞
たて チョン チョン
ワカンむりに
口と
貝

ほうびのこと。

じゆく語

賞品の 売買の ための 賞品と 賞品と 賞味 賞状 賞金

9画 イ(いんべん) 部首

信

点。立てない。

信へ。

書き順

信 信
いんべんに (イをkaitて)
いつ(言)

おほまが 人の言葉を 信じよう。



じゆく語

自信 自分自身 地震 磁針 時計

13画 𠂔(れんが) 部首
注意。 点のちがいを つき出さない。

照

はなる。

書き順

照 照 照 照
日をkaitて
力に
口と
てん 西つ

てる てる てる

じゆく語

日照 対照 照会 日照り 対照 照り

11画 ロ(くちへん) 部首

唱

少し上のほうに。

上の白より大きく。

書き順

唱 唱
口をkaitたら (口へんに)
白を二つ

とをえら

じゆく語

二重唱 合唱 合唱 二重唱



10画 ㄨ(たけかんせり) 部首
左にはらう。
天てはなない。

笑

とめる。

知(ち)はなない。

書き順

笑 笑 笑
クを二つ (たけかんせりに)
ノ一と つづけて
人をはか

算答(さんとう) 算答(さんとう) 算答(さんとう)

特別な笑み方



じゆく語

笑顔 笑い 笑い 笑い 笑い

12画 豕(ぶたいのこ) 部首
の形。 ソウ

象

まるみをもたせて おろし、はなる。

書き順

象 象 象 象 象
フをkaitて
たて かざ しきり
そこふさぎ
ノに
たてまげはねて ノノとつづけて
左右にはらう

ソウ

じゆく語

象子 対象 現象 象眼 象家 象家

12画 火(ひへん) 部首

焼

形と向きに注意。

この形に注意。

上にはなる。

書き順

焼 焼 焼 焼 焼
火をkaitて
十に よこ
たて
たてkaitて
よこぼう
ひいたら
ひとのおし

焼(や)く 焼(や)く

じゆく語

焼物 焼き鳥 焼酎 焼き物



4年

シ

声を出して歌って書こう



16画 禾(のぎへん) 部首

上の横棒より長く。

積 じゆく



書き順
ノ 木とカキ
(のぎへんに)
よこ たて
よこ よこ
貝をかく



にている手
積み木 積乱雲
積み水 積り

10画 巾(はば) 部首

立てる。

席 せき



書き順
てん 一に
ノをかくて
よこ たて たて
そことして
たて
かざはねて
たてぼうをかく



じゆく語
運入 運出 運席
運席 運席 運席

13画 竹(たけかんむり) 部首

節 せつ



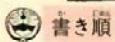
書き順
ケを 二つ
(たけかんむりに)
かなのヨ
たてはね
てんつけて
かざまげはねたら
たてぼうあらず



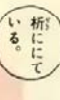
お節料理
お節料理
お節料理

7画 手(てへん) 部首

折 せり



書き順
よこ たてはねて
もちあげて
(てへんかき)
ノノとつつけて
よこ
たてぼう



折ににて
折り紙 折り半 折り半 折り紙

9画 目(め) 部首

はねる。

省 せい



書き順
たてはね
チョン チョン
ノをつけて
たてかざかいたら
よこ三本



じゆく語
反省 反省 反省
反省 反省 反省

6画 戈(ほこがまえ) 部首

むすれない。

成 せい



書き順
ノをたてて
よこ
ちいさく
かざまげはねて
それから大きく
たすきに てん



じゆく語
成長 成長 成長
成長 成長 成長

14画 青(あお) 部首

マにしない。

静 せい



書き順
よこ たて
よこ よこ
ノをカキ
クに
ヨのなか長く
たてぼうはねる

静の争いは静かに。

11画 シ(さんずい) 部首

やや長く。

清 せい



書き順
さんずい
(シをかくて)
よこ たて
よこ よこ
ノをかく



特別な読み方
清水 清水 清水





4年 セン

声を出して歌って書こう

6画 争 部首 丩 (はねぼう)

争 長め。
はねる。

書き順

争 ツをカいて
争 ヨのなが長く
争 たてぼうはねる



じゆく語 争^一刻を
争^い争^い争^い争^い
言^い論^論争^争競^競争^争

12画 然 部首 火 (れんが)

然 点てはない。
点をわすれない。
点の形や向きに
注意。

書き順

然 タにてんつけて
然 犬をかき
然 下にチョン チョン
然 四つ てん



じゆく語 自然
天^天平^平当^当金^金公^公
然^然然^然然^然然^然

9画 浅 部首 水 (さんずい)

浅 点てはない。
点をわすれない。
上にはねる。

書き順

浅 さんずい
浅 (シ)をかいて
浅 よこぼう三本
浅 たすきに
浅 てん



じゆく語 浅^浅深^深浅^浅海^海浅^浅
速^速浅^浅浅^浅浅^浅

14画 説 部首 言 (こんべん)

説 形と向きに注意。
上にはねる。
卓、立てない。

書き順

説 ごんべんに
説 ソをかき
説 口をかき
説 ひとあしをかく

説^説とに^とて^てい^いる^るね。
説^説い^いて^てい^いる^るね。



じゆく語 説^説明^明説^説説^説
口^口説^説説^説説^説



4年 セン

声を出して歌って書こう

11画 巢 部首 宀 (つ)

巢 形や向きに注意。
下までおろして
とめる。

書き順

巢 ツをカいて
巢 たて カき
巢 よこ よこ
巢 木の上長く

巢^巢・巢^巢に
に^にて^てい^いる^るね。

じゆく語 巢^巢・巢^巢・巢^巢
古^古巢^巢・巢^巢立^立ち^ち



10画 倉 部首 人 (ひとやね)

倉 点てはなく横棒。
右につき出さない。
はらう。

書き順

倉 ひとやねに
倉 よこぼう
倉 ヨをかき
倉 ノに
倉 口つける



倉^倉と^と庫^庫・^庫蔵^蔵は、
同^同じ^じよ^よう^うな^な意^意味^味。

じゆく語 倉^倉・庫^庫・蔵^蔵
庫^庫・倉^倉・蔵^蔵

15画 選 部首 辵 (しんによう)

選 白てはない。
少し長めだ。
ひとひらいて書く。

書き順

選 コに上てまげはねを
選 ニツをかき
選 よこ たて たて
選 よこ 八をつけて
選 しんに大きく
選 しんにようつける



じゆく語 選^選手^手選^選せ^せ
選^選子^子入^入選^選選^選
選^選選^選選^選選^選

13画 戦 部首 戈 (ほこがまえ)

戦 形と向きに注意。
点をわすれない。
上にはねる。
とめる。

書き順

戦 ツに日をつけて
戦 斗をかき
戦 よこぼう
戦 かいたら
戦 たすきに
戦 てん

戦^戦に^にて^てい^いる^るね。
戦^戦い^いて^てい^いる^るね。

じゆく語 戦^戦・戦^戦
勝^勝・戦^戦・戦^戦





単

9画 部首 (一) 形や呼ばれ方に注意。長く。

果・栗に っているよね。

書き順 ツをかいて ひらく 白をかき よこ たてぼう

じゆく語 単・線 単・独 単・純 単・行 単・本



置

13画 部首 (四) (あみがしら) 四としない。

おくりがなが 注意!

書き順 四にいた字 十の 白をかき たてまげる

じゆく語 置・物 置・紙 置・手 置・敷 置・配 置・置



仲

6画 部首 (一) (にんべん) まつたへん「おろろ」。

書き順 イをかいて (にんべんに) ひらたい 白をかき たてぼうおろす

じゆく語 仲・良 仲・間 仲・親 仲・利 仲・道 仲・直 仲・和 仲・親 仲・直 仲・和

仲人 特別な 難み方

貯

12画 部首 (貝) (かいへん) 立てる。 つき出さない。

金を守と しないこと。

書き順 貝をかき つかんむりに よこ たてはねる

じゆく語 貯・貯 貯・水 貯・金 貯・ち 貯・く



兆

6画 部首 (儿) (ひとあし) 形や向きに注意。 はねる。

書き順 たてたノに ンをつけ たてまげはねて チョン チョン つける

じゆく語 兆・兆 兆・兆 兆・兆 兆・兆 兆・兆 兆・兆



腸

13画 部首 (月) (にくづき) わすれないように。

書き順 月をかき (にくづきに) 白に よこーて ノをかいて かざまげ はねたら ノを二つ



じゆく語 腸・腸 腸・腸 腸・腸 腸・腸 腸・腸 腸・腸

低

7画 部首 (イ) (にんべん) 長めに書いてはねる。 わすれない。

書き順 にんべんに (イをかいて) ノに たてはねて よこあげて ななめぼうはね そこーをかく

じゆく語 低・低 低・低 低・低 低・低 低・低 低・低

底

8画 部首 (广) (まだれ) 立てる。 長めに書いてはねる。 わすれない。

書き順 てん ーに ノをつけて ノに たてはねて よこぼうかいて たてまげはねて よこーつける



じゆく語 底・底 底・底 底・底 底・底 底・底 底・底



4年 トクト 声を出して歌って書こう

7画 カ(ちから) 部首

努 はねる。

書き順

女(に) 努(フ)をかき 努(右)ばらい 努(下)に大きく方をつける

いっしょうけんめいはげむこと。

じゆく語 努(め)める 努(め)る 努(め)る

10画 彳(ぎょうにんべん) 部首

徒 上の横棒より長く。 長めのはり。

書き順

徒(ノ)イとかき (ぎょうにんべん) 徒(土)をかいたら 徒(た)てよこ 徒(か)いて 徒(左)によせた 徒(人)をか

ついでに 往・得・律

じゆく語 徒(少)く 徒(走)る 徒(走)る

11画 土(つち) 部首

堂 この形に注意。 上は横棒より長く。

書き順

堂(た)てぼう 堂(チヨ)ン チヨ(ン) フをかいて 堂(口)をひらたく 堂(土)をつける

じゆく語 堂(講)堂(講)堂(講)堂(講)堂(講)堂(講)堂(講)堂(講)堂(講)堂(講)

6画 火(ひへん) 部首

灯 形が同じに注意。 つける。 はねる。 ともる。

書き順

灯(火)に 灯(よ)こぼうて 灯(た)てはねる

あかり。 ともし。

じゆく語 灯(電)灯(電)灯(電)灯(電)灯(電)灯(電)灯(電)灯(電)灯(電)灯(電)



4年 テクト 声を出して歌って書こう

8画 白(しろ) 部首

的 左下にはらう。 はねる。 点はななめに。

書き順

的(た)てに長く 的(白)をかき 的(ノ)に 的(か)ざまげはねて 的(て)んをうつ

じゆく語

的(外)的(中)的(中)的(中)的(中)的(中)的(中)的(中)的(中)的(中)



11画 亻(にんべん) 部首

停 立てる。 じにしない。 はねる。

書き順

停(にんべん)に (イ)をかいて 停(て)ん 停(白)ワて 停(よ)こ 停(た)てはねる

じゆく語

停(電)車 停(電)車 停(電)車 停(電)車 停(電)車 停(電)車 停(電)車 停(電)車 停(電)車 停(電)車



6画 亻(にんべん) 部首

伝 上の横棒より長く。 おる。

書き順

伝(にんべん)に (イ)をかいて 伝(かな)の二と 伝(ム)をつける

じゆく語

伝(手)伝(手)伝(手)伝(手)伝(手)伝(手)伝(手)伝(手)伝(手)伝(手)



8画 八(はち) 部首

典 つぎ出す。 長めのはり。 左の はしはつぎ出す。

書き順

典(た)て 典(か)ざ 典(た)て 典(た)て 典(よ)こいれて 典(よ)こぼう長く 典(八)をつける

じゆく語

典(古)典(古)典(古)典(古)典(古)典(古)典(古)典(古)典(古)典(古)





4年

ネ〜ハ

声を出して歌って書こう

8画 部首 心 (しん)

念

はねる。こめる。

書き順

念 ひとやねに
念 かなのうをかき
念 心をつける「心」がつく字思・意
オン
ネン

じゆく語

念力 念入 念入 念入 念入 念入 念入 念入 念入 念入



10画 部首 木 (き)

梅

はねる。こめる。

書き順

梅 木をかいて
梅 ノーで
梅 くをかき
梅 かぎまげはねて
梅 なかをしきって
梅 よこぼう長く特別な読み方 梅雨
オン
バイ

じゆく語

梅酒 梅干 梅雨 梅子 梅園 梅入 梅子 梅園 梅子

15画 部首 火 (れん)

熱

はねる。こめる。まけて。上の横棒より長く。点の形や向きに注意。

書き順

熱 火をまけて
熱 土をかき
熱 ノにかぎまげはねて
熱 てんをつけたら
熱 四つ てん温度が高いこと。
オン
ネツ

じゆく語

熱心 熱意 熱中 熱帯 熱い 熱い 熱い 熱い 熱い 熱い



11画 部首 女 (ぶん)

敗

形に注意。又ではない。こめる。

書き順

敗 貝をかき
敗 ノーと
敗 つづけて
敗 左右にはらうオン
ハイ

じゆく語

敗戦 敗北 敗者 敗者 敗者 敗者 敗者 敗者 敗者 敗者



4年

ト〜ト

声を出して歌って書こう

13画 部首 亻 (じんべん)

働

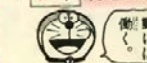
はねる。こめる。右上がりにはらう。

書き順

働 人(イをかいて)
働 ノーで
働 日をかき
働 たて よこ二本
働 右に大きく力をつけるオン
ドウ

じゆく語

働かす 働かす 働かす 働かす 働かす 働かす 働かす 働かす 働かす 働かす



10画 部首 宀 (うしへん)

特

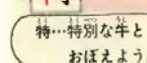
はねる。こめる。右上がり。上の横棒より長く。

書き順

特 ノーで
特 たてぼう
特 もちあげて (うしへんに)
特 よこに土と
特 寸をかく特にしているよ。
オン
トク

じゆく語

特異 特異 特異 特異 特異 特異 特異 特異 特異 特異



8画 部首 母 (はのかん)

毒

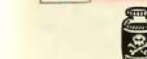
はねる。こめる。右はらう。上の横棒より長く。

書き順

毒 よこ たて
毒 よこ よこ
毒 くをかき
毒 かぎまげはねて
毒 なかをしきって
毒 よこぼうとおすオン
ドク

じゆく語

毒味 毒舌 毒舌 毒舌 毒舌 毒舌 毒舌 毒舌 毒舌 毒舌



11画 部首 彳 (ぎょうじんべん)

得

はねる。こめる。右はらう。長めに。

書き順

得 ぎょうじんべん (イとかき)
得 白に
得 よこーで
得 寸をかくオン
トク

じゆく語

得意 得意 得意 得意 得意 得意 得意 得意 得意 得意





4年

ヒョフ

声を出して歌って書こう

11画 示(し)のめし 部首

たておふだの
入った紙。下につける。
票(ひょう) 長め。
はねる。

書き順

よこ たて
かぎて
たて二本
よこ一
そことじ
示すかく上は「西」は
ないよ。

じゆく語

得₁ 投₂ 開₃ 一₄
票₁ 票₂ 票₃ 票₄ひらひらした
ふだという意味。

5画 心(こころ)のめし 部首

とめる。
必(ひつ) 長め。
はねる。

書き順

てんはね
ノをかき
右にながして
はねてから
左にでんで
右にもてん

じゆく語

必₁ 必₂ 必₃ 必₄
要₁ 読₂ 勝₃ 死₄ 見₅

12画 食(しょくへん)のめし 部首

とめる。
飯(い) 長め。
はねる。

書き順

ひとやねに
てん ヨ
たてはね
てんつけて
よこ一ノをかき
つに右ばらい

じゆく語

朝₁ 夕₂ 飯₃ 赤₄ 残₅
飯₁ 飯₂ 飯₃ 飯₄ 飯₅

12画 十(じゅう)のめし 部首

とめる。
博(はく) 長め。
はねる。

書き順

よこほつ
たてぼう
よこ一白
たてぼうをがいて
てんをうち
よこ
たてはねて
てんつける特別な
読み方
博士(はくし)

じゆく語

博₁ 博₂ 博₃ 博₄
学₁ 物₂ 士₃ 学₄ 交₅
飯₆

4年

ハッピ

声を出して歌って書こう

4画 一(いち)のめし 部首

とめる。
不(ふ) 長め。
はねる。

書き順

よこぼうに
イをかいたら
てんつける意味は「無」と
にている。

じゆく語

不₁ 不₂ 不₃ 不₄
用₁ 器₂ 規₃ 可₄ 安₅
心₁ 用₂ 則₃ 能₄ほかの言葉について、
それを打ち消したり、
反対の意味に使う。

15画 木(きへん)のめし 部首

西ではない。
標(ひょう) 長め。
はねる。

書き順

木をかいて
(木へんかき)
よこ たて かぎて
たて二本
よこ一 そことじ
示すかく

目じるしの意味。

じゆく語

目₁ 標₂ 標₃ 標₄
標₁ 本₂ 準₃ 識₄ 語₅

12画 貝(かい)のめし 部首

つき出す。
費(ひ) 長め。
はねる。
とめる。

書き順

ヨをひらたく
たてたノ
たてぼう
下に大きく
貝をかくわくりがな
に注意!

じゆく語

費₁ 消₂ 給₃ 学₄ 金₅
用₁ 費₂ 費₃ 費₄ 費₅買₁ 買₂ 買₃
貴₁ 貴₂ 貴₃ 貴₄
貝₁ が つく 字。

9画 飛(とび)のめし 部首

形や向きに注意。
飛(とび) 長め。
はねる。
とめる。
土にはねる。

書き順

かぎまげはねて
チョン チョン
つけて
たてぼうひいて
ノを二つ
またかぎまげはねて
チョン チョンをかく

じゆく語

飛₁ 飛₂ 飛₃ 飛₄
火₁ 石₂ 火₃ 火₄
飛₁ 飛₂ 飛₃ 飛₄
行₁ 士₂ 士₃ 士₄



4年

フ〜へ

声を出して歌って書こう

7画 部首 兵 (へい)



書き順

ノをかいて
たてよこ
たてよこ
八をつける



岳にいてる。
オン
オン

じゆく語
兵 兵 兵 水
種 力 士 器 兵

10画 部首 米 (こめへん)



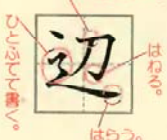
書き順

米へんに
(ノ 木とカキ)
八をかいたら
力を下に

じゆく語
粉 粉 粉
米を
こまかく
分けると

じゆく語
粉 粉 粉
粉 小 粉 金 粉
雪 麦 末 粉 粉

5画 部首 辶 (しんによウ)



書き順

かざまげはねて
ノをかいて
左に大きく
しんによウをかく



オン
オン

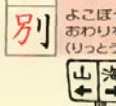
じゆく語
川 海 辺 周 道
辺 辺 地 辺

7画 部首 冫 (りつとう)



書き順

口をかいて
かざまげはねて
ノをつけて
よこほう二本て
おわりをはねる
(りつとうをかく)



オン
オン

じゆく語
別 別 別 別
別 別 別 別
別 別 別 別
別 別 別 別

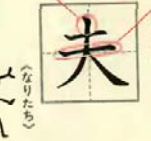


4年

フ〜フ

声を出して歌って書こう

4画 部首 夫 (だいに)



書き順

よこほう二本て
人をかく

じゆく語
夫 夫 夫 夫
婦 人 妻 君 防 夫

天にいてる。
オン
オン

じゆく語
二通りの読み
工夫
仕事を
する人
うまいやり方

5画 部首 付 (にんべん)



書き順

にんべんに
(イをかいて
よこ
たてはねて
てんつける

じゆく語
付 付 付 付
付 付 付 付
付 付 付 付

オン
オン

じゆく語
付 付 付 付
付 付 付 付
付 付 付 付

11画 部首 冫 (りつとう)



書き順

二
口より巾を
大きく
由んぼて
たてほう二本て
おわりをはねる
(りつとうをかく)



オン
オン

じゆく語
副 副 副 副
副 副 副 副
副 副 副 副

8画 部首 广 (まだれ)



書き順

てん
ノをつけ
イに
寸をかく

じゆく語
府 府 府 府
立 知 理 府 都 府



大阪府と
京都府



8画
ウ(うしへん)
部首

牧

こめる。

書き順

ノ一の
たてて
もちあげて
(うしへんに)
ノ一と
つづけて

左右にはらう

二通りの
読み方



じゆく語
牧場 牧草 牧師 牧羊

11画
月(つき)
部首

望

上下につき
出さない。

書き順

てん一に
たてまけて
月を左に
かたむけて
よこ たて よこ
よこ 主をかく

漢字テスト



じゆく語
希望 展望 望遠鏡 望月 望郷 望郷 望郷

12画
シ(さんずい)
部首

満

はねる。

書き順

さんずいにて
(シをかいて)
よこ たて
たて よこ
たて
かぎはねて
たてぼうつきぬけ
山をかく

じゆく語

満腹 満ち 満ち 満ち 満ち 満ち 満ち 満ち 満ち 満ち

5画
木(き)
部首

末

まっすくにおろ
してとめる。

書き順

長いよこぼう
短いよこぼう
たてぼう
かいたら
左右にはらう

じゆく語

末っ子 末っ子 末っ子 末っ子 末っ子 末っ子 末っ子 末っ子 末っ子 末っ子



9画
イ(いんべん)
部首

便

書き順

いんべんに
(イをかいて)
よこ一
日をかき
左右にはらう

じゆく語

便利 便宜 便宜 便宜 便宜 便宜 便宜 便宜 便宜 便宜



9画
夕(なつあし)
部首

変

書き順

てん一に
たてたノ
たてはね
八をつけて
かなのつがいたら
右ばらい

じゆく語

変化 変身 変化 変化 変化 変化 変化 変化 変化 変化

変...かわること。
かわる
かえる

8画
シ(さんずい)
部首

法

書き順

さんずいにて
(シをかいて)
主をかいたら
ムをつける

じゆく語

注: 治・波・洗

上の横棒より長い。
とめる。
おる。

5画
勹(つつみかまえ)
部首

包

書き順

ノに
かぎまげはねて
コをかいて
そしてさいごにて
たてまげはねる

じゆく語

小包 紙包 包み 包み 包み 包み 包み 包み 包み 包み

包...つづむ
なりたち





9画 部首: 力(ちから)

フやマてはない。

勇

はねる。

書き順

マ
由
力



元気いさ
じゆく語
勇い 勇気 勇者 勇気 武勇 勇名 足

9画 部首: 糸(いとへん)

約

とめる。

書き順

糸へんに くんとつづけて 左にチヨンチヨン

予約済み
子 要 約 先 公 約 約 東 約 約

10画 部首: 月(つくき)

脈

とめる。

書き順

にくづきに (目をかき)
ノにノをたてて
ノにたてぼう
左にはらって
右ばらい

派(は)にいてるよ。



文 動 水 山 金 脈 脈 脈 脈 脈

5画 部首: 木(き)

未

まつずくにおろしてとめる。

書き順

よこぼう二本
下長く
たてぼう
ひいたら
左右にはらう



末
末 末 末 末
来 知 成 解 開
年 決



15画 部首: 食(しょく)

養

形に注意。

しなどにしない。

書き順

ソ 呈に
ひとやね
てん ヨを
かいて
たてぼう はねたら
左右にはらう

養
養 養 養 養
分 成 育 養 養

9画 部首: 西(にし)

要

書き順

よこ
たて かぎて
たて二本
そこをとしたら
安を下に

栗 栗にいてるね
要 要 要 要 要
点 所 貝 要 要

12画 部首: 無(れんが)

無

形や向きに注意。
心ではない。

書き順

ノと かいて
よこぼう長く
たてぼう二本
差から
よこぼう
ひいたら
てん四つ

無 無 無 無 無
無 無 無 無 無
無 無 無 無 無
無 無 無 無 無

5画 部首: 氏(うじ)

民

右上に大きくはねる。

書き順

コをかいて
たてはね
よこ一
たてまげはねる



氏にいてるね
民 民 民 民 民
民 民 民 民 民



12画 部首 里 (り) 部首

量 (りょう) いちばん長い。

書き順

量 ひらたい白
量 よこ一長く
量 また白をかいて
量 たてぼう
量 ひいたら
量 よこ二本

重さや体積をはかること。 量 (りょう) はかる

じゆく語 量 (りょう) 分量 (りょう) 重量 (りょう) 計量 (りょう) 産量 (りょう)

18画 部首 頁 (へい) 部首

類 (るい) 形や向きに注意。

書き順

類 采に
類 大きい
類 ノ
類 自ハ

数とにているね。 類 (るい) 数とにているね。

じゆく語 類 (るい) 類 (るい) 類似 (るい) 類 (るい) 類 (るい)



10画 部首 斗 (と) 部首

料 (りょう) 形や向きに注意。

書き順

料 米へんに
料 てん てん
料 二つて
料 よこ
料 たてぼう

にている字。 料 (りょう) 料 (りょう)

じゆく語 料理 (りょう) 料理 (りょう) 料理 (りょう) 料理 (りょう) 料理 (りょう)

15画 部首 車 (くるま) 部首

輪 (りん) わすれない。

書き順

輪 よこ二
輪 たてぼうかいて
輪 ひとやね
輪 二に
輪 たて かざはわて
輪 よこぼうひいたら
輪 たて二本

にている字。 輪 (りん) 輪 (りん) 輪 (りん)

じゆく語 輪 (りん) 輪 (りん) 輪 (りん) 輪 (りん) 輪 (りん)

7画 部首 利 (り) 部首

利 (り) 知い。

書き順

利 ノ 木とカキ (のぎへんに) たてぼう二本て おわりをはねる (りつとうをかく)

不利 (り) ← 有利 (り) 利 (り) 利 (り) 利 (り) 利 (り)

じゆく語 利 (り) 利 (り) 利 (り) 利 (り) 利 (り)

7画 部首 良 (りょう) 部首

良 (りょう) 立てる。

書き順

良 てんをうって
良 ヨをかいて
良 たてぼう
良 はねたら
良 左右にはらう

良い姿勢。 良 (りょう) 良い

じゆく語 良 (りょう) 良 (りょう) 良 (りょう) 良 (りょう) 良 (りょう)



10画 部首 浴 (よく) 部首

浴 (よく) 火ではない。

書き順

浴 さんずいに (シをかいて)
浴 ハに
浴 ひとやねに
浴 口をかく

みくろがをに。 浴 (よく) あびる

じゆく語 浴 (よく) 浴 (よく) 浴 (よく) 浴 (よく) 浴 (よく)

11画 部首 陸 (りく) 部首

陸 (りく) 下を長く。 土ではない。

書き順

陸 つつたてて長く (こざとへん)
陸 土に
陸 ハをまげ
陸 土をかく

陸 (りく) 陸 (りく) にている。

じゆく語 陸 (りく) 陸 (りく) 陸 (りく) 陸 (りく) 陸 (りく)





老 (おいかんむり) 部首
6画 右にカカリ、はひつ。 永てはない。

まけてはねる。

書き順
よこ たて よこ て (土ができ)
ノをかき (がさく)
ノをかき
たてまげはねる

おん ころつ

きりたち
ついでに
なりよりの歌

今 (にている字)

老 老 老 老
老 老 老 老
老 老 老 老
老 老 老 老

じゆく語
老 老 老 老
老 老 老 老
老 老 老 老
老 老 老 老

連 まつづくにおろす。上の横線より長く、ひびいて書く。 永てはない。

部首
10画 え(しんにょう)

にいて いる字

書き順
よこ一
日をかき
よこ一
たてて
左に大きく しんにょうつける

おん ころつ

つらなる
つられる
つらるる

きりたち
ついでに
なりよりの歌

今 (にている字)

連 連 連 連
連 連 連 連
連 連 連 連
連 連 連 連

じゆく語
連 連 連 連
連 連 連 連
連 連 連 連
連 連 連 連

録 とめる。 永てはない。

部首
16画 金(かねへん) 右にカカリ、はひつ。

録にいて いるね。

書き順
ひとやねに
よこほう二本
たて ソ
(金へんに)
ヨの下 長く
たてはねて
左に ンて
右には く

おん ころつ

きりたち
ついでに
なりよりの歌

今 (にている字)

録 録 録 録
録 録 録 録
録 録 録 録
録 録 録 録

じゆく語
録 録 録 録
録 録 録 録
録 録 録 録
録 録 録 録

労 形や向きに注意。 永てはない。

部首
7画 カ(ちから) 右にカカリ、はひつ。

かたかなで、ツワカと書く。

書き順
ツに
ワをかいて
力をいれる

おん ころつ

きりたち
ついでに
なりよりの歌

今 (にている字)

労 労 労 労
労 労 労 労
労 労 労 労
労 労 労 労

じゆく語
労 労 労 労
労 労 労 労
労 労 労 労
労 労 労 労



令 点をわすれない。 永てはない。

部首
5画 人(ひとやね)

ひとやねに
てんをつけたら
マを下に

おん ころつ

きりたち
ついでに
なりよりの歌

今 (にている字)

書き順
ひとやねに
てんをつけたら
マを下に

おん ころつ

きりたち
ついでに
なりよりの歌

今 (にている字)

令 令 令 令
令 令 令 令
令 令 令 令
令 令 令 令

じゆく語
令 令 令 令
令 令 令 令
令 令 令 令
令 令 令 令

冷 点をわすれない。 冷える。 永てはない。

部首
7画 凵(にすじ)

につける。

冷える

書き順
にすじに
ひとやね
てんつけ
マ

おん ころつ

つめたい
ひえる
ひやす
ひやす
さめる

きりたち
ついでに
なりよりの歌

今 (にている字)

冷 冷 冷 冷
冷 冷 冷 冷
冷 冷 冷 冷
冷 冷 冷 冷

じゆく語
冷 冷 冷 冷
冷 冷 冷 冷
冷 冷 冷 冷
冷 冷 冷 冷

歴 短くとめる。 長めに。

部首
14画 止(とめる)

にいて いる字

歴(カレンダー)

書き順
よこ一
ノをかき
林に
止める

おん ころつ

きりたち
ついでに
なりよりの歌

今 (にている字)

歴 歴 歴 歴
歴 歴 歴 歴
歴 歴 歴 歴
歴 歴 歴 歴

じゆく語
歴 歴 歴 歴
歴 歴 歴 歴
歴 歴 歴 歴
歴 歴 歴 歴

例 短くとめる。 永てはない。

部首
8画 イ(にんべん)

にんべんに、レツ列。

例(にんべんに、イをかいて)

よこ一
タをかき
たてほう二本て おわりをはねる (りつとウをかく)

書き順
にんべんに (イをかいて)
よこ一
タをかき
たてほう二本て おわりをはねる (りつとウをかく)

おん ころつ

きりたち
ついでに
なりよりの歌

今 (にている字)

例 例 例 例
例 例 例 例
例 例 例 例
例 例 例 例

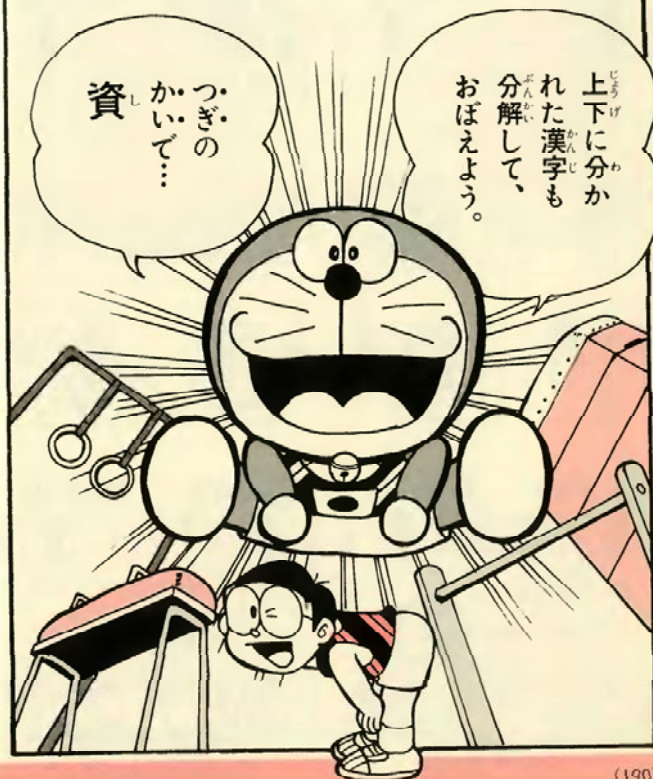
じゆく語
例 例 例 例
例 例 例 例
例 例 例 例
例 例 例 例

● 5年生の漢字もくじ ●

(185字・アイウエオ順にならんでいます。)

迷綿輸余…	富武復複…	任燃能破…	退貸態団…	接設舌絶…	証条状常…	資飼示似…	査再災妻…	險檢限現…	技義逆久…	価河過賀…	圧移因永…
236	232	228	224	220	216	212	208	204	200	196	192
預容略留…	仏編弁保…	犯判版比…	断築張提…	錢祖素総…	情織職制…	識質舎謝…	採際在財…	減故個護…	旧居許境…	快解格確…	営衛易益…
237	233	229	225	221	217	213	209	205	201	197	193
領…	墓報豊防…	肥非備俵…	程適敵統…	造像増則…	性政勢精…	授修述術…	罪雜酸賛…	効厚耕鉞…	均禁句群…	額刊幹慣…	液演応往…
238	234	230	226	222	218	214	210	206	202	198	194
貿暴務夢…	評貧布婦…	銅導徳独…	測属率損…	製税責績…	準序招承…	支志枝師…	構興講混…	経潔件券…	眼基寄規…	桜恩可仮…	
235	231	227	223	219	215	211	207	203	199	195	

5年生で習う漢字



10画
心部首
心(しん)

因を由としない。



10画
木部首
木(きへん)



書き順
恩
たてぼう
かぎに
大をいれ
そこを
とじたら
心を下に

思いにている。
オン
オン
オン



書き順
桜
木をかいて
ツに
くノ一て
女をかく

オン
オン
オン
オン



桜は日本の
国花だよ。
じゆく語
夜・山・桜・桜・桜
桜・桜・前・色・花
線

6画
イ部首
イ(いへん)



書き順
仮
いんべんに
(イをかいて)
よこ一
ノをかき
フに
右ばらい

オン
オン
オン
オン



5画
口部首
口(くち)



書き順
可
よこぼうに
口をかいたら
たてはねる

オン
オン
オン
オン



じゆく語
河・何
認・許・可・可・可・可
可・可・能・能・物

14画
シ部首
シ(さんずい)



書き順
演
さんずいに
(シをかいて)
ウかんむりに
よこ一つけて
たてかぎたてて
よこ二本
そしてさいごに
八をつける

オン
オン
オン
オン



8画
イ部首
イ(いへん)



書き順
往
ぎょうにんべん
(ノイをかき)
てん二
たてて
よこ二本

オン
オン
オン
オン



じゆく語
往・往・往・往・往
往・往・往・往・往
往・往・往・往・往
往・往・往・往・往

11画
シ部首
シ(さんずい)



書き順
液
さんずいに
(シをかいて)
てん一
イをかき
夕に
右ばらい

オン
オン
オン
オン

7画
心部首
心(しん)



書き順
応
てん一
ノをかき
心をなかに

オン
オン
オン
オン



じゆく語
反・応・応・応・応
反・応・用・対・戦・應
反・用・対・戦・應

5年 オカ 声を出して歌って書こう

5年 エオ 声を出して歌って書こう

13画
角(つのへん)
部首
部首

つき出さない。
はねる。
解

書き順

つにノをたてて
かざはねて
たてぼうかいて
よこ二本
刀をつけたら
牛をかく



オン
くん
とく
とがす

じゆく語

塩が氷に「とけた」は
「溶けた」と書く。

解(かい) 解(かい) 解(かい) 解(かい)
解(かい) 解(かい) 解(かい) 解(かい)
解(かい) 解(かい) 解(かい) 解(かい)

7画
小(りっしんべん)
部首
部首

長くはらう。
はねる。
快

書き順

チョン チョン
たてぼう
(りっしんべん)
かたかなのユに
人をかく

じゆく語

決(けつ) 決(けつ) 決(けつ) 決(けつ)

おくりがなに注意!
「こころよい」
「かえり」

不快(ふかい) 不快(ふかい) 不快(ふかい) 不快(ふかい)
不快(ふかい) 不快(ふかい) 不快(ふかい) 不快(ふかい)
不快(ふかい) 不快(ふかい) 不快(ふかい) 不快(ふかい)

8画
シ(さんずい)
部首
部首

はねる。
河

書き順

さんずいに
(シをかいて)
よこ一
白て
たてはねる

じゆく語

河(か) 河(か) 河(か) 河(か)
河(か) 河(か) 河(か) 河(か)
河(か) 河(か) 河(か) 河(か)

特別な
魚河岸

河(か) 河(か) 河(か) 河(か)
河(か) 河(か) 河(か) 河(か)
河(か) 河(か) 河(か) 河(か)

8画
イ(にんべん)
部首
部首

西にしない。
はねる。
価

書き順

にんべんに
(イをかいて)
よこ一
たて かざ
たてぼう二本
そしてさいごに
そことじる

じゆく語

物(もの) 物(もの) 物(もの) 物(もの)
物(もの) 物(もの) 物(もの) 物(もの)
物(もの) 物(もの) 物(もの) 物(もの)



オン
くん
(あた)

物(もの) 物(もの) 物(もの) 物(もの)
物(もの) 物(もの) 物(もの) 物(もの)
物(もの) 物(もの) 物(もの) 物(もの)

15画
石(いしへん)
部首
部首

ひとぶてで左にはらう。
はねる。
確

書き順

石へんに
(石をかき)
ワイと
つづけて
てん 二かい
たてぼう
かいたら
よこ二本

オン
くん
たしか
たしかめる

じゆく語

正(ただ) 確(たしか) 確(たしか) 確(たしか)
確(たしか) 確(たしか) 確(たしか) 確(たしか)
確(たしか) 確(たしか) 確(たしか) 確(たしか)

10画
木(きへん)
部首
部首

女てはない。
はねる。
格

書き順

木をかいて
(木へんかき)
フに 石ほらい
口をかく

じゆく語

格(かく) 格(かく) 格(かく) 格(かく)
格(かく) 格(かく) 格(かく) 格(かく)
格(かく) 格(かく) 格(かく) 格(かく)

失格!
格(かく) 格(かく) 格(かく) 格(かく)
格(かく) 格(かく) 格(かく) 格(かく)
格(かく) 格(かく) 格(かく) 格(かく)

12画
貝(かい)
部首
部首

少し長めにはらう。
とめる。
賀

書き順

かに
白をつけて
貝をかく

じゆく語

賀(が) 賀(が) 賀(が) 賀(が)
賀(が) 賀(が) 賀(が) 賀(が)
賀(が) 賀(が) 賀(が) 賀(が)

12画
辶(しんにょう)
部首
部首

はねる。
過

書き順

たて かざ
かいて
ながに
たて よこ
下に大きく
たて かざはねて
口をいれたら
しんにょうつける

じゆく語

過(か) 過(か) 過(か) 過(か)
過(か) 過(か) 過(か) 過(か)
過(か) 過(か) 過(か) 過(か)

オン
くん
すま
すま

過(か) 過(か) 過(か) 過(か)
過(か) 過(か) 過(か) 過(か)
過(か) 過(か) 過(か) 過(か)

11画 土(つち) 部首

基

はらう。

左右にひびき出さない。

書き順

よこ たて二本 よこ よこ 短く よこ長く 八の字がいたら 土いれる

基本

くん オン キ

じゆく語

基 基 基 基 基 基 基 基 基 基

11画 目(めへん) 部首

眼

大きく はねる。

この形に注意。

書き順

目をかいて ヨに たてはねて 左右にはらう

書き順

目に かいて ヨに たてはねて 左右にはらう

じゆく語

眼 眼 眼 眼 眼 眼 眼 眼 眼 眼

にている字 眠(ま) 眠(ま) 眠(ま) 眠(ま) 眠(ま) 眠(ま) 眠(ま) 眠(ま) 眠(ま)

じゆく語

血 肉 内 近 感 眼 眼 眼 眼 眼 眼 眼 眼 眼 眼

11画 見(み) 部首

規

かどをつけずに まげて、はねる。

上につき出す。

書き順

よこほう二本 人をかき 目の下に ひとあしつける

書き順

よこほう二本 人をかき 目の下に ひとあしつける

書き順

よこほう二本 人をかき 目の下に ひとあしつける

じゆく語

規 規 規 規 規 規 規 規 規 規

11画 一(かんむり) 部首

寄

はねる。

立てる。

書き順

ウかんむりに (ウをかいて) 大をいれ よこ一

書き順

ウかんむりに (ウをかいて) 大をいれ よこ一

じゆく語

寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄

寄席 寄席 寄席 寄席 寄席 寄席 寄席 寄席 寄席 寄席

じゆく語

寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄 寄

5画 リ(リフとう) 部首

刊

はねる。

つき出さない。

書き順

よこほう二本 たてがいて たてほう二本で おわりをはねる (りつとうをかく)

書き順

よこほう二本 たてがいて たてほう二本で おわりをはねる (りつとうをかく)

刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊 刊

じゆく語

夕刊 夕刊 夕刊 夕刊 夕刊 夕刊 夕刊 夕刊 夕刊 夕刊

18画 頁(おおい) 部首

額

はねる。

立てる。

書き順

ウかんむり タのてんのぼし 口をいれ 右に大きく一ノ自

書き順

ウかんむり タのてんのぼし 口をいれ 右に大きく一ノ自

額 額 額 額 額 額 額 額 額 額

じゆく語

額 額 額 額 額 額 額 額 額 額

14画 卜(りっしんべん) 部首

慣

はねる。

早やめてはない。

書き順

チヨン チヨン たてほう (りっしんべん) たてまげ かぎで たてしきり よこほう かいなら (下にどしり) 員をかく

書き順

チヨン チヨン たてほう (りっしんべん) たてまげ かぎで たてしきり よこほう かいなら (下にどしり) 員をかく

じゆく語

慣 慣 慣 慣 慣 慣 慣 慣 慣 慣

じゆく語

慣 慣 慣 慣 慣 慣 慣 慣 慣 慣

13画 干(かん) 部首

幹

はねる。

書き順

よこ たて 白をかき よこ たて かい ひとやね なかに一と十

書き順

よこ たて 白をかき よこ たて かい ひとやね なかに一と十

じゆく語

幹 幹 幹 幹 幹 幹 幹 幹 幹 幹

じゆく語

幹 幹 幹 幹 幹 幹 幹 幹 幹 幹

5年 カキ 声を出して歌って書こう

5年 カキ 声を出して歌って書こう

5年 キ〜キ 声を出して歌って書こう

8画 尸(しかばね)
部首

居

はらう。



書き順
コ
ノとつづけて
ノ
白
口

オン

キョ

じゆく語
居・居・同・新・居
間・残・居・居・住

14画 ナ(うちへん)
部首

境

かどをつけずに
まげて、はねる。

書き順
土へんに(よこ)
たてもちあげ
てん
ソ
白に

オン

キョウ

じゆく語
境・境・国・昔・地
目・内・境・境・界



5画 日(ひ)
部首

旧

書き順
旧 たてぼうに
旧 白

オン

キョウ

「旧友」
むかしからの
友
「級友」
クラスメイト。

じゆく語
新・旧・旧・旧・旧
旧・友・知・式・家

11画 き(ごんべん)
部首

許

書き順
許 ごんべんに
許 一の
許 よこて
許 たてぼうを
許 かく

オン

キョ

じゆく語
めん
特・新・許・許・
許・許・答・答・可



13画 羊(ひつじ)
部首

義

書き順
義 ソーにたてて
義 よこ二本
義 ノ 一に
義 たてはね
義 もちあげて
義 たすきをかけた
義 てんをうつ

オン

キ

じゆく語
正・主・義・義・義
義・義・理・務・足

3画 ノ(はらいぼう)
部首

久

書き順
久 かなのつに
久 若ばらい

オン

キョウ

じゆく語
長いこと会って
いなし人に、
「久しぶり」と
言って
あじきするよ。



7画 扌(てへん)
部首

技

書き順
技 よこたてはねて
技 もちあげて
技 (てへんかき)
技 十に
技 フをかき
技 石ばらい

オン

ギ

じゆく語
足・技・
技・技・技・技・技

9画 辶(しんによう)
部首

逆

書き順
逆 ソ 一に
逆 うけほ(たて
逆 まげ たてぼう)
逆 ノをかいて
逆 左に大きく
逆 しんによくつる

オン

ギョウ

じゆく語
逆・逆・逆・逆
逆・逆・逆・逆



5年 キ〜キ 声を出して歌って書こう

15画

部首
シ(さんずい)

潔

右上下に
右上下にはらう。

書き順

さんずいに
(シをかいて)
よこ たて
よこ よこ
刀をかいて
下に漢字で
糸をかく

じゅく語
おほえよう。
じゅくり
くん (いさぎよし)

不潔 高潔 簡潔 潔白
潔 潔 潔 潔

11画

部首
糸(いとへん)

経

又てはない。
とめる。

書き順

糸へんにくムと
つづけて たて
チョン チョン
フに
右ばらい
土をかく

じゅく語
にている字
径(キョウ)
軽

経 経 経 経
典 路 理 費 過

13画

部首
示(しめす)

禁

端くとめる。
はねる。

書き順

禁 禁 禁 禁 禁
木 木 木 木 木
よこ二本
小をかく

禁はやし(禁と、しめす)。



じゅく語
禁 禁 禁 禁 禁
止 物 止 句 禁 区

7画

部首
土(つちへん)

均

右上下に
この形や向きに
注意。

書き順

土へんて(よこ
たて もちあげ)
ノに
かぎまげはねて
土をかく

じゅく語
平均台
平均 均 均 均 均
均 分 等 整 一



5年

ケケケ

声を出して歌って書こう

8画

部首
刀(かたな)

券

つぎ出す。
はねる。

書き順

ソに
よこ二本
入をかき
なかに刀を
いれておく

じゅく語
にている字
券
くん



入券 定券 乗券 回数券
場券 期券 車券 先取券
券券券券券券券券

6画

部首
亻(ひとへん)

件

じゅく語
にている字
件
くん

書き順

にんべんに
(イをかいて)
ノ 一の
よこ(ぼうて
たてぼう長く

「件」の牛が年にならぬように。



要件 用件 案件 事件
事件 事件 事件 事件

13画

部首
羊(ひつじ)

群

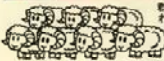
右に少し出す。
少し長めに。

書き順

ヨのはか長く
ノに
口をつけ
ソてよこよこ
たてぼうをかく

クン(巻に、ひつじ)。

じゅく語
群 群 群 群 群
群 群 群 群 群
群 群 群 群 群



5画

部首
口(くち)

句

句ににているよ。

書き順

ノをかいて
かぎまげうちはね
なかに口

佛句
五・七・五の
十七文字で
詩のこと。

じゅく語
名 節 語 句 句 句
句 句 句 句 句 句

9画 女 部首

故

ポイント

書き順

故
故
故
故
故

漢字の十に
口かいて
ノ 一とつづけ
左右にはらう

故の意味
(とまご)
(しあせ)
(もも)



くん (ゆえ)

じゆく語
事=故:故:故:故:
故:人:事:卿:意:

12画 シ(さんずい) 部首

減

わすれない。

ポイントをわすれない。

はねる。

書き順

減
減
減
減
減

さんずいに
(シをかいて)
ノをかき
よこぼう
一 口わいて

減の
いる字
減

じゆく語
目=示:減:加:
減:減:点:少:減:
り

検

短くともる。

11画 木(きへん) 部首

11画 冫(こごへん) 部首

険

形に注意。

つき出さない。

書き順

検
検
検
検
検

木をかいて
(木へんかき)
ひとやね
二 口
人をかく

探検、探険
同じ意味。

じゆく語
点=検:算:眼:
検:検:算:眼:
温:

書き順

険
険
険
険
険

フにつづけて
たてぼう長く
(こごとへん)
ひとやね
二 口
人をかく

いて
る字
険

じゆく語
保=探:険:
険:険:
険:険:
険:
険:

20画 ミ(こんべん) 部首

護

点。立てない。

文にしれない。

書き順

護
護
護
護
護

こんべんに
サイ
てん 一て
たてぼうかいて
よこぼう三本
フに若ばらい

獲に
にている。

じゆく語
保=舟:護:護:
護=護:身:
護:護:
衛:

10画 イ(たんべん) 部首

個

ひとがでて書く。

書き順

個
個
個
個
個

いんべんに
(イをかいて)
たて
かき
十 口て
そこふさぐ



じゆく語
個=個:個:個:一:
個:性:数:人:個:

11画 王(おうへん) 部首

現

かどをつけずに
まげて、はねる。

書き順

現
現
現
現
現

よこ たて
よこて
もちあげて
白玉の白をかき
ひとあしつける

現

月が雲から現れる。
あらわす

じゆく語
出=現:現:現:
現:代:現:現:
現:代:現:
後:

9画 冫(こごとへん) 部首

限

形に注意。

この形に注意。

書き順

限
限
限
限
限

フにつづけて
たてぼう長く
(こごとへん)
ヨに
たてはねて
左右にはらう

に
ている字
限

じゆく語
無=制:限:
限:限:
限:極:
限:限:度:
定:限:

5年

ケコ

声を出して歌って書く

5年

ケケ

声を出して歌って書く

16画 部首 白(うす)

左下にはらう。

興

左(ひら)き(ま)す

書き順

ノ たて
よこ よこ
興 興
興 興
興 興
興 興
興 興



オン
くん (おここ)
キョウ
コウ

じゆく語
余興・復興・再興・興味・興行

14画 部首 オ(さへん)

つき出さない。

構

左(ひら)き(ま)す

書き順

木をかいて
(木へんかき)
よこぼう
構 構
構 構
構 構
構 構
構 構

講 講
講 講
講 講
講 講
講 講

じゆく語
心構・構構・構構・構構
構・構・構・構
構・構・構・構
構・構・構・構

9画 部首 厂(かんだれ)

厚

平たく下すばまじ。

書き順

よこ
厚 厚
厚 厚
厚 厚

反対番は「こうすじ」。

じゆく語
冷たい 寒たい 暑たい
厚い 厚い 厚い

8画 部首 力(ちから)

効

短くとめる。

上(ひら)き(ま)す

書き順

てん
効 効
効 効
効 効
効 効

効 効
効 効
効 効
効 効

じゆく語
効効にしている。

5年

コ

コ

声を出して歌って書こう

11画 部首 シ(さんずい)

上にはしない。

混

左(ひら)き(ま)す

書き順

さんずいに
混 混
混 混
混 混
混 混

湿 湿
湿 湿
湿 湿
湿 湿

じゆく語
混じり 混雑 混同 混同

17画 部首 言(ごんべん)

点。立てない。

講

左(ひら)き(ま)す

書き順

ごんべんに
講 講
講 講
講 講
講 講
講 講

講 講
講 講
講 講
講 講

じゆく語
講義 講習 講演

13画 部首 金(かねへん)

短くとめる。

鉦

立てる。

若上にはらう。

書き順

釜へんに
(金をかき)
鉦 鉦
鉦 鉦
鉦 鉦
鉦 鉦

この字 銅・鋼

じゆく語
鉄鉦 銅鉦 鋼鉦
鉦物 石山 鉦

10画 部首 耒(すきへん)

短くとめる。

耕

上(ひら)き(ま)す

書き順

よこぼう三本
耕 耕
耕 耕
耕 耕
耕 耕

耕す 耕す
耕す 耕す
耕す 耕す
耕す 耕す

じゆく語
耕地 耕作 耕具
耕地 耕作 耕具

14画 部首

際

この形に注意。

はねる。

書き順



際 際 際 際 際

じゆく語

際 際 際 際 際

11画 部首

採

形や向きに注意。

はねる。

とめる。

書き順

採 採 採 採 採

じゆく語

採 採 採 採 採

6画 部首

再

上につき出さない。

はねる。

とめる。

書き順

再 再 再 再 再

じゆく語

再 再 再 再 再

9画 部首

查

はねる。

書き順

查 查 查

じゆく語

查 查 查 查 查

10画 部首

財

はねる。

縦線の少し若から
左下へはらう。

書き順

財 財 財

じゆく語

財 財 財 財 財

6画 部首

在

は上への横線より長くへ。

はねる。

とめる。

書き順

在 在 在 在 在

じゆく語

在 在 在 在 在

8画 部首

妻

上につき出す。

はねる。

とめる。

書き順

妻 妻 妻 妻 妻

じゆく語

妻 妻 妻 妻 妻

7画 部首

災

三つとも同じ大きさ。

はねる。

とめる。

書き順

災 災 災

じゆく語

災 災 災 災 災

5年

サ

声を出して歌って書こう

5年

サ

声を出して歌って書こう

7画 心部 部首

上の横線より短く、はねる。

書き順

よこ たて 短いよこぼう かけて 下に心を どころりつける

志志志志志

忘らわす いる。忘らわす 忘らわす

じゆく語

有て大志志意 志望気志

4画 支部 部首

又ししない。あける。

書き順

よこ たて フをかき 右ばらい

支支支支支

特別な読み方 差し支える。

じゆく語

支流 十二配店支

10画 巾部 部首

わすれない。左下にはしり。

書き順

ノに たてて コにコをかいて よこぼうひいて たて かぎはねたら たてぼうおろす

師師師師師

じゆく語

調師師師師 理走事師師

8画 オ部 部首

又ししない。とめる。

書き順

木をかいて よこ たて フをかき 右ばらい

枝枝枝枝枝

にて いる字 技

じゆく語

小枝枝枝枝 枝道豆毛葉

14画 隹部 部首

形に注意。生じしない。とめる。

書き順

数字の九に 木をつけて イにてん 一て たておろし よこぼう三本 おわりを長く

雑雑雑雑雑

雑きん。

じゆく語

乳複雑雑雑 雑用水林

15画 貝部 部首

この形に注意。カウの口のし。とめる。

書き順

ニ入 質にている字 質・賃 貝をかき

贄贄贄贄贄

じゆく語

絶贄贄贄贄 贄贄贄贄 贄贄贄贄 贄贄贄贄

13画 四部 部首

四ではない。とめる。かるくはらう。

書き順

四ににた字 ノをたてたら よこ三本 またたてぼうて よこ三本

罪罪罪罪罪

罪ほろぼし

じゆく語

罪有罪罪罪 罪ほろぼし

14画 酉部 部首

この形に注意。右にまげら。わすれない。よこ。

書き順

よこ たて かぎて ルをかいて よこぼういれて そことして 上に八をまけて フに右ばらい

酸酸酸酸酸

じゆく語

酸酸酸酸酸 酸味素性化酸

15画 貝(かい) 部首 部首 形に注意。ケてはない。

質

書き順

ノ ノ よこ
たてを 二つかき
自の下に
八をつける



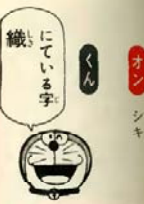
じゆく語
言人物質質質
質質質問素

19画 言(ごんべん) 部首 部首 点をわすれない。立てる。

識

書き順

識 識 識
ごんべんに
てん 一
ソ 二
白に
たすきがけ
てん



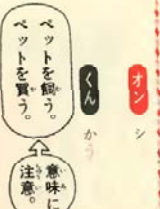
じゆく語
面常識識字意
識識識列識識

13画 食(しょくへん) 部首 部首 食にしない。はねる。

飼

書き順

飼 飼 飼 飼 飼
ひとやねに
てん ヨ
たてはね
てんつけて
かぎまげ
はねたら
一と口



じゆく語
放飼飼飼飼
飼飼飼飼飼

13画 貝(かい) 部首 部首 食にしない。はねる。

資

書き順

資 資 資 資 資
にすいに
ノ フて
人の
自
八



じゆく語
資資資資資
料産業金格

5年 シンシ 声を出して歌って書こう

17画 言(ごんべん) 部首 部首 点をわすれない。はねる。

謝

書き順

謝 謝 謝 謝 謝
ごんべんて
ノにたて
かぎを長くはね
よこ よこ
もちあげ 大きく
よこ たてはねて
てんをうつ



じゆく語
平謝謝謝謝
謝謝謝謝謝

8画 舌(した) 部首 部首 舌した(ごんべん) 舌をわすれない。上の横棒より長く。

舎

書き順

舎 舎 舎 舎
ひとやねに
よこ たて
よこて
口をかく



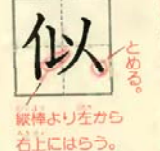
じゆく語
宿校舎牛官取
舎舎舎舎舎

7画 イ(いんべん) 部首 部首 似にしない。はねる。

似

書き順

似 似 似 似 似
いんべんに
(イをかいて)
たてぼう
もちあげ
てんをうち
そしてさいごに
人をかく



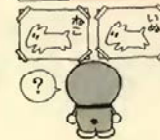
じゆく語
似似似似似
夫顔似似似
嫁者似似似

5画 示(しめす) 部首 部首 上の横棒より長く。はねる。

示

書き順

示 示 示 示
よこぼう二本
たてはね
チョン チョン



じゆく語
因衣展示示
示示示示示

5年 シンシ 声を出して歌って書こう

7画
部首
広(まだれ)

序
立てる。
はねる。
はねる。
はねる。

書き順
序
序
序
序
序
序
序
序
序

序にいてる。
く
オン
ジョ
じゆく語
序の列
序の曲
序の口

13画
部首
シ(さんずい)

準
定めにはらう。
はねる。
はねる。

書き順
準
準
準
準
準
準
準
準
準

さんずいに(シをかいて)
イにて
たてかいて
よこぼう
十をかく
く
オン
ジュン
じゆく語
準急
準決
準決
準急

10画
部首
イ(にんべん)

修
艾てはない。
とめる。
とめる。

書き順
修
修
修
修
修
修
修
修
修
修

にんべんに(イをかいて)
たてぼう
つけたら
ノ一と
つづけ
左右にはらって
ノを三つ(さんづくり)
く
オン
シヨウ
おきまる
おきまる
じゆく語
修行
修業
修業
修業

11画
部首
オ(てへん)

授
この形に注意。
はねる。
はねる。

書き順
授
授
授
授
授
授
授
授
授
授

てへんに(よこたてはねてもちあげて)
ノツ
ワ
フに右ばらい
く
オン
ジュ
おきまる
おきまる
じゆく語
授業
授業
授業
授業

8画
部首
手(て)

承
少しはるめをつけて
最後ははねる。
はねる。
はねる。

書き順
承
承
承
承
承
承
承
承
承
承

字のよこ短く
三本つけて
かなのフ
かいたら
左右にはらう
く
オン
シヨウ
うけたまわ
じゆく語
承知
承認
承認
承認

8画
部首
オ(てへん)

招
上につき出さない。
はねる。
はねる。

書き順
招
招
招
招
招
招
招
招
招
招

てへんに(よこたてはねてもちあげて)
刃と
口をかく
く
オン
シヨウ
まね
にいてる字
昭
じゆく語
招待
招待
招待
招待

11画
部首
行(ぎようがまえ)

術
点をわすれない。
はねる。
はねる。

書き順
術
術
術
術
術
術
術
術
術
術

ぎようにんべん(ノイとかき)
ホにてんつけて
よこぼう二本たてはねる
く
オン
ジュツ
にいてる字
術
じゆく語
美術
美術
美術
美術

8画
部首
主(しんによ)

述
木てはない。
はねる。
はねる。

書き順
述
述
述
述
述
述
述
述
述
述

ホにてんつけて
しんにょうつける
く
オン
ジュツ
の
じゆく語
記述
記述
記述
記述

5年 シンシ 声を出して歌って書こう

5年 シンシ 声を出して歌って書こう

18画 糸(いとへん) 部首

織

点をわすれない。
右に「糸」のひしひしと入る。
点。任(にん)はひしひしと入る。
はねる。

書き順

糸へんに(く)ムと
つづけて たて
チョン、(チョン)
てん、一
ソ、一
白に
たすぎがけ
てん



にている字 織・職
おる (シヨク)
シキ

織物、織機、織女、織機、織物、織機、織女、織機

じゆく語

織物、織機、織女、織機

11画 忄(りっしんへん) 部首

情

長めた。
はねる。
こめる。

書き順

チョン チョン
たてぼう (りっしんへん)
よこ たて
よこ たて
月をかく



性・快
「の」のつく字

じゆく語

感情、感情、感情、感情、感情、感情、感情、感情、感情、感情

8画 リ(りっしん) 部首

制

つき出す。
短めた。
右に「リ」のひしひしと入る。
右に「制」のひしひしと入る。
はねる。

書き順

ノ、一
よこぼう
たて かざはねて
たてぼう
かいたら
たてぼう二筆で
おわりをはねる
(りっとうをかく)

制作は芸術的なもの
をつくること。

じゆく語

制、制、制、制、制、制、制、制、制、制

18画 耳(みみへん) 部首

職

立てる。
右に「耳」のひしひしと入る。
右に「職」のひしひしと入る。
はねる。

書き順

耳に
職 立つ
白の
たすぎがけ
てん



じゆく語

職業、職業、職業、職業、職業、職業、職業、職業、職業、職業

7画 木(き) 部首

条

反てはない。
はねる。
こめる。

書き順

木につく
右ばらい
木をつける

各・冬
にている字

じゆく語

条、条、条、条、条、条、条、条、条、条

12画 言(ごんべん) 部首

証

点。立てない。
少し長めた。
はねる。

書き順

ごんべんに
よこ たて
よこ たて
よこぼう長く

じゆく語

証、証、証、証、証、証、証、証、証、証



シヨウ

じゆく語

保証、証、証、証、証、証、証、証、証、証

11画 巾(はば) 部首

常

はねる。
この形「巾」は常。
反てはない。

書き順

たて チョン チョン
ワかんむりに
白をつけ
たて かざはねて
たてぼうおろす

じゆく語

常、常、常、常、常、常、常、常、常、常

7画 犬(いぬ) 部首

状

点。わすれない。
点のゆきで形「犬」のゆきで形「状」。
こめる。

書き順

たてぼうに
ンをつけ
犬の字かいて
かたにてん

じゆく語

状、状、状、状、状、状、状、状、状、状



シヨウ

じゆく語

礼、状、状、状、状、状、状、状、状、状

12画 糸(のきへん) 部首

八としない。
とめる。

かどをつけずに
まげて、はねる。

書き順

税 ノ 木とつづけて
(のぎへんに)
税 ソに
税 糸をかか



悦・説

悦・説

じゆく語
増税 税金 消費 減税
税金 関税 税

14画 衣(ころも) 部首

この形に注意。
大きくはねる。

書き順

製 ノ一に よこぼう
製 たて かぎはねて
製 たてぼう
製 ひいたら
製 たてぼう二本で
製 おわりをはねて
製 てんーいをはね
製 左右にはらう



じゆく語
製 製 製 製 製
品 鉄 造 作 材 所

器具や機械を使って、
品物をつくること。

17画 糸(いとへん) 部首

とめる。

書き順

績 糸へんに(く)と
つづけて たて
績 チョン チョン)
績 よこ たて
績 よこ よこ
績 糸をかか

績にしているよ。

じゆく語
成績 実績 功績 業績
績 績 績 績

11画 貝(かい) 部首

とめる。

書き順

責 よこ たて
責 よこ よこ
責 貝をかか

責・員にしているよ。

じゆく語
責 責 職 重 自
務 任 責 責 責



9画 女(のぶん) 部首

とめる。 「に」しない。

書き順

政 よこ たて
政 よこ たて
政 もちあげて
政 ノ一と
政 つづけて
政 左右にはらう



せい(せい)、のぶん

放・改

じゆく語
政 政 政 政 行
治 策 推 見 政

8画 忄(りっしんべん) 部首

この形や向きに注意。
少し長へ。

書き順

性 チョン チョン
性 たてぼう
性 (りっしんべん)
性 ノ一とつづけて
性 たてぼうかいて
性 よこ二本



りっしんべんに、うまれる(生)。

性にしているよ。

じゆく語
根 知 男 性 性
性 性 性 能 質

14画 米(こめへん) 部首

とめる。

書き順

精 ソ
精 木とカキ
精 (米へんに)
精 よこ たて
精 よこ よこ
精 月をかか



こめへんに、おおい意。

糖・粉

じゆく語
精 在 精 精 精
進 の 度 神 算 精

13画 力(ちから) 部首

点をあずめない。
上にはねる。

書き順

勢 土に八をまげ
勢 土をかき
勢 ノに
勢 かぎまげはねて
勢 てんをうち
勢 下に力を
勢 どつしりと

勢にしているよ。

じゆく語
勢 情 形 加 運
力 勢 勢 勢 勢

5年 セ〜セ 声を出して歌って書こう

5年 セ〜セ 声を出して歌って書こう

9画

部首
ネ(しめすへん)

点。立てない。

祖



書き順

祖 てん 尸に
祖 たてぼう
祖 チョンをつけ
祖 (しめすへん)
祖 たて カギ
祖 よこ よこ
祖 よこぼう長く

じゆく語
祖・祖・祖・先・元
父・先・国・祖・祖・母

14画

部首
多(かねへん)

箱ととめる。

銭



書き順

銭 ひとやねに
銭 よこぼう二本
銭 たて ソ ニ
銭 (かねへん)
銭 よこぼう三本
銭 たすきがけ
銭 てん

じゆく語
小・一 銭 古・金
銭 湯 銭 銭

11画

部首
言(こんべん)

点。立てない。

設

書き順

設 こんべんに
設 ルにた形て
設 フに右ばらい
設 (女をかく)

にている手 役
くん もうける
オン セツ

じゆく語
設 設 設 設 開
立 備 置 計 歌 団

11画

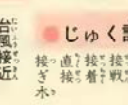
部首
扌(てへん)

右上にはらう。

接

書き順

接 よこ たてはねて
接 もちあげて
接 (てへん、かき)
接 てん ニ
接 ソ ニて
接 く ノーをかく



じゆく語
接 接 接 接 接
直 着 着 着 近

5年 セン 声を出して歌って書こう

14画

部首
糸(いとへん)

おる。

総

書き順

総 糸へんにくムと
総 つけて たて
総 チョン チョン)
総 ハ
総 ム
総 心

にている手 聡・統
くん ソウ

じゆく語
総 総 総 総
理 立 合 領 会

10画

部首
糸(いと)

長く。

素

書き順

素 よこ たて
素 よこ よこ
素 く ム
素 たて
素 チョン チョン

特別な 素人
くん ソ

じゆく語
素 素 素 素 色
直 直 資 材 行 素

12画

部首
糸(いとへん)

絶

書き順

絶 糸へんにくムと
絶 つけて たて
絶 チョン チョン)
絶 クをかき
絶 かぎ たて
絶 よこて
絶 たてまげはねる

にている手 絶
くん セツ

じゆく語
絶 絶 絶 絶 絶
絶 絶 絶 絶 絶

四字熟語の注意
「絶体絶命」
「絶対」とは書かない。

6画

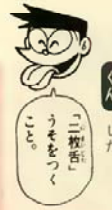
部首
舌(した)

左下にはらう。

舌

書き順

舌 ノ
舌 よこ
舌 たてて
舌 口をかく



じゆく語
舌 舌 舌 舌
舌 舌 舌 舌

12画 尸(しかばね) 部首

属

左下に「は」のひし。はねる。とめる。

書き順

属属属属属
コノに
ノ白
たて
かぎはねて
たてぼう
ひいたら
もちあげ
てん



じゆく語

配属専所金
馬馬馬馬馬

12画 凵(さんすい) 部首

測

短めに。はねる。とめる。

書き順

測測測
さんすいに
(シをかいて)
自に
ハをつけて
たてぼう二本
おわりをはねる

「測」は長さ・深さ・広さをはかる。

じゆく語

予測測計観
測量定測測

13画 扌(てへん) 部首

損

月ではない。はねる。

書き順

損損損
てへんをかいて
(ぶこ たてはねて
もちあげて)
口と
貝



じゆく語

破損損損損
損料得失害

11画 玄(けん) 部首

率

点の形や向きに注意。つぎ出す。

書き順

率率率率率
てん二に
くムと
つづけて
差に
右にはく
下によこ
平つける

「率」は引能確率。辛(ツツ)。

じゆく語

率引能確率
直率率率率

14画 亻(にんべん) 部首

像

この形に注意。少しふくらませる。最後ははねる。

書き順

像像像像像
にんべんに
(イをかいて)
ク たて かぎで
なかしざり
そこをとしたら
ノをかいて
たてぼう まげはね
ノを二つ
左にはらって
右ばらい



じゆく語

仏像実像現像
像像像像像

10画 辶(しんにょう) 部首

造

この横棒より長く。ひびいて書いて。

書き順

造造造
ノ二
たて よこ
口をつけ
左に犬さく
しんにょうつける

「作」は、おもに手をつくること。

じゆく語

造り造り造り
造り造り造り

9画 冫(りっしょう) 部首

则

短めに。はねる。とめる。

書き順

则则则
白に
ハをつけて
たてぼう二本
おわりをはねる

「則」は、法則。

じゆく語

法則にがての
法則則則則

14画 土(つちへん) 部首

増

上にしらない。右上にはらう。

書き順

増増増増増
土へんに(よこ
たて もちあげ)
ソをかき
田をかき
白を下に

「増」は、増える。

じゆく語

日増増増増
増大増増増

5年

ソソソ

声を出して歌って書こう

5年

ソソソ

声を出して歌って書こう

16画 部首

築

形に注意。

点をおろさない。



書き順
築
築
築
築
築

ケを二つ
(たけかんむりに)
かなの工
ルににた形に
てんをいれ
下に大きく
木をつける

じゅく語
築_造 築_増 築_新 築_改 築_築

11画 部首

断

点の形や向きに注意。

ある。



書き順
断
断
断
断
断

糸をかいたら
たてをまげ
ノにノをたてて
よこ
たてぼう

じゅく語
断_判 断_断 断_断 断_断 断_切 断_断 断_絶 断_水 断_音 断_断

12画 部首

貸

点をおろさない。

ある。

書き順
貸
貸
貸
貸

にんべんに
たすきがけて
てん
貝をかく



じゅく語
貸_貸 家_貸 貸_貸 貸_貸 貸_貸 貸_貸 貸_貸 貸_貸 貸_貸 貸_貸

9画 部首

退

点をおろさない。

ある。

書き順
退
退
退
退
退

かなのヨに
たてぼうはねて
くをかいて
左に大きく
しんによつける



じゅく語
退_敗 退_退 退_退 退_退 退_退 退_退 退_退 退_退 退_退 退_退

12画 部首

提

右に注意。

長くはひく。

書き順
提
提
提
提
提

てへんに(よこ
たてはねて
もちあげて)
白 一て
たて
よこかいて
左にずらした
人つける

じゅく語
提_手 提_提 提_提 提_提 提_提 提_提 提_提 提_提 提_提 提_提

11画 部首

張

形に注意。

最後はねる。

書き順
張
張
張
張
張

コをかいて
ノにつづけて
かぎをはね
たて よこ
よこ よこ
よこぼう長く
たてぼうはねたら
左右にはらう

じゅく語
張_見 張_張 張_張 張_張 張_張 張_張 張_張 張_張 張_張 張_張

6画 部首

団

点をおろさない。

ある。

書き順
団
団
団
団

たて
かきかいて
寸をかき
そしてさいごに
そことじる



じゅく語
団_布 団_団 団_団 団_団 団_団 団_団 団_団 団_団 団_団 団_団

14画 部首

態

上にはねる。

書き順
態
態
態
態
態

△月(まごうの山に)
月がてて
ヒがてて
ヒがてて
心(心を下に)



じゅく語
態_態 態_態 態_態 態_態 態_態 態_態 態_態 態_態 態_態 態_態

5年 タクテ 声を出して歌って書く

5年 タクテ 声を出して歌って書く

15画 寸部首 (すん) 形や向きに注意。
 細めて書いて最後ははねる。
 ひびいて書いて

導

書き順
 導 導 導 導 導
 ソ ニ ノ 自に
 しんによう
 つけて
 よこ
 たてはねて
 てんをうつ

みち(道)に、すん。

先導 導火線 導線 導線

くん 導線 導線 導線

オン ドウ

じゆく語
 導線 導火線 導線 導線

14画 多部首 (かねへん) 短くとめる。
 はねる。
 右上にはらう。

銅

書き順
 銅 銅 銅 銅
 ひとやねに
 よこぼう二本
 たて ソ
 (金へんに)
 たて
 かぎはねて
 二 口いれる

かね・銀・銅メダル。

くん

オン ドウ

じゆく語
 銅像 銅山 銅貨



14画 辵部首 (しんにょう) 立てる。
 ひびいて書いて
 回てはない。

適

書き順
 適 適 適 適 適
 てん 二
 ソをかき
 どうがまえ
 (たて かぎはねて)
 なかに十 口て
 しんによう
 つける

適はふさわしいこと。

くん

オン テキ

じゆく語
 適当 適格 適応 適逢

12画 禾部首 (のぎへん) 上はまにしない。
 程

程

書き順
 程 程 程 程
 のぎへんに
 (ノ 木とかぎ)
 口と
 主 (よこ たて
 よこ よこ)

「日定」とは
 書かない。

84画 56画 69画 88画

くん

オン テイ

じゆく語
 程度 程度 程程

9画 犭部首 (けものへん) つき出さない。
 本に「リ」のへんを
 はねる。

独

書き順
 独 独 独 独
 ノに
 たてまげはねて
 ノをつけて
 (けものへん)
 口 たて
 もちあげ
 てんをうつ

けものへんに、むし(虫)。

くん ひとり

オン ドウ

じゆく語
 独り言 独り身 独り学

一人ぐらし、一人旅は、「独り」を使ってもよい。

14画 彳部首 (ぎょうにんべん) 回てはない。
 はねる。

徳

書き順
 徳 徳 徳 徳 徳
 ぎょうにんべんに
 (ノ イとかいたら)
 平
 四の
 心

くん トウ

オン トウ

じゆく語
 徳用品 徳道 徳人 徳悪



12画 糸部首 (いとへん) 立てる。
 ある。
 上にはねる。
 はらう。

統

書き順
 統 統 統 統 統
 糸へんにく(と
 つつけて たて
 チョン チョン)
 てん 二
 ムをかき
 ひとあしつける

くん (すべる)

オン トウ

じゆく語
 統治 統制 統帥 統領



15画 女部首 (女のぶん) 立てる。
 回してはない。
 とめる。フにしない。
 敵

敵

書き順
 敵 敵 敵 敵 敵
 てん 二
 ソをかき
 どうがまえ
 (たて かぎはねて)
 なかに十 口て
 ノ 一とつづけ

くん (かたき)

オン テキ

じゆく語
 敵手 敵意 敵対 敵愾



7画
リ(リットウ)
部首
判

上につき出す。
はねる。
少し長め。
とめる。

書き順



ソに
よこ二本
たてかいて
たてぼう二本で
おわりをはねる
(りつとつをか)

じゆく語

伴(は)に
いて
字

新小判判判
書書判判
判判判判
判判判判

5画
イ(けものへん)
部首
犯

左上につき出す。
はねる。
上にはねる。

書き順

ノをかいて
たてぼうまげはね
もひとつノ
(けものへん)
かざをはねたら
たてまげはねる

法律に反すること。
(おかし)

じゆく語

防犯犯犯犯
犯人罪人
犯人罪人

16画
火(ひへん)
部首
燃

点(てん)をわすれない。
とめる。
点の形や向きに注意。
心にしない。

書き順

火をかいて
夕(ゆ)にてんつけて
犬(いぬ)をかき
下(した)にてんてん
西(さい)つかく

く
もえる
もやす
もやす

じゆく語

燃え
燃え
燃え
燃え

6画
イ(にんべん)
部首
任

左にはらう。
上のはねより短く。

書き順

にんべんに
(イをかいて)
ノに
よこぼうて
たてに よこ

く
まかせる
まかす

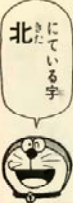
じゆく語

人任任任
任任任任
任任任任

4画
比(くらへる)
部首
比

左にはらう。
上にはねる。
とめる。

書き順



よこぼう
たてはね
ノに
たてまげ
はねる

じゆく語

比の比の比
比の比の比
比の比の比

8画
片(かたへん)
部首
版

少し右につき出す。
皮(かわ)ではない。
はねる。
おる。

書き順

ノをたてて
てん一に
かきをつけ
よこ一
ノをたて
フに右ばらい

く
ハ

じゆく語

水版版版
版版版版
版版版版

10画
石(いしへん)
部首
破

上につき出す。
とめる。
とめる。
とめる。

書き順

石をかき
(石へんに)
たてたノ
よこはね
たてかいて
下にフをかき
右ばらい

く
やぶる
やぶる

じゆく語

型破破破
破破破破
破破破破

10画
月(つき)
部首
能

おる。
上にはねる。
はねる。
とめる。

書き順

ムをかき
月かき
ヒ ヒとかく

く
ノ

じゆく語

本能能能
能能能能
能能能能

5年 ハーヒ 声を出して歌って書こう

5年 ニーハ 声を出して歌って書こう

11画 貝(かい) 部首

あける。
刀(か)とく。かや
つ(つ)にない。

貧

書き順

貧 八をかき
貧 かぎまげはねて
貧 ノをかいて
貧 下に目をかき
貧 八をつける

見(財産)が、ちりちりに
分かれて、貧しくなる。

じゆく語
貧(貧) 貧(貧) 貧(貧) 貧(貧)
相(相) 利(利) 血(血) 貧(貧)

12画 言(ごんべん) 部首

点、立てない。
点(てん)の形や高(たか)に注意。

評

書き順

評 こんべんに
評 よこ一
評 ソ
評 一
評 たてぼう長く

にている字
詳(しょう)

じゆく語
品(品) 評(評) 評(評) 好(好)
評(評) 利(利) 価(価) 評(評) 評(評) 会(会)

8画 非(あらず) 部首

とめる。
かるくはらう。

非

書き順

非 たてノに
非 よこぼう三本
非 たてぼうかいて
非 右にもならべて
よこ三本

下の言葉(ことば)をうちけす。

じゆく語
非(非) 非(非) 非(非) 非(非)
非(非) 非(非) 非(非) 非(非)

8画 月(つき) 部首

上(かみ)はねる。
はねる。

肥

書き順

肥 月をかき
肥 (にくつきに)
肥 かぎ
肥 たて
肥 よこて
肥 たてまげはねる

肥(こ) 肥(こ) 肥(こ) 肥(こ)
肥(こ) 肥(こ) 肥(こ) 肥(こ)

じゆく語
腸(腸) 肺(肺) 月(月) 字(字)
肥(肥) 肥(肥) 肥(肥) 肥(肥)
肥(肥) 肥(肥) 肥(肥) 肥(肥)

11画 女(おんなへん) 部首

つき出さない。
口(くち)にない。
はらう。

婦

書き順

婦 くノ一(女)に
婦 (おんなへんに)
婦 ヨと
婦 フをつけて
婦 たて
婦 かぎはねたら
婦 たてぼうおろす



じゆく語
婦(婦) 主(主) 女(女) 家(家)
人(人) 婦(婦) 護(護) 婦(婦) 婦(婦)

5画 巾(はば) 部首

長(なが)めに。
はねる。

布

書き順

布 ノをかいて
布 よこ一
布 たてに
布 かぎはねて
布 そしてさいごに
布 たてぼうおろす



じゆく語
布(布) 巾(巾) 分(分) 布(布) 配(配)
目(目) 地(地) 布(布) 敷(敷) 布(布)

10画 イ(いんべん) 部首

この形(かたち)に注意。
はらう。

俵

書き順

俵 にんべんに
俵 (イをかいて)
俵 よこ たて
俵 よこ よこ
俵 イのたてはねて
俵 左にはらって
俵 右ばらい

じゆく語
俵(俵) 俵(俵) 俵(俵) 俵(俵)
俵(俵) 俵(俵) 俵(俵) 俵(俵)

12画 イ(いんべん) 部首

冊(ふ)にない。
はねる。

備

書き順

備 にんべんに
備 (イをかいて)
備 よこ たて
備 たて よこ
備 ノをかいて
備 たて
備 かぎはねて
備 よこぼう二本で
備 たてをかく



じゆく語
備(備) 予(予) 備(備) 整(整)
物(物) 備(備) 品(品) 備(備)
け 付(付)

5年 ヒュー 声を出して歌って書こう

5年 ヒュー 声を出して歌って書こう

15画
糸 (いとへん)
部首

左から右へまっすくに。

編

用いしない。
はねる。

書き順

編 糸へんにくんとつづけて たて
編 よこぼう短く
編 コノとカキ
編 たて
編 カギはねて
編 よこぼういれたら
編 たて二本



編み物
くん
あむ

オン
へん

書き順

仏 にんべんに
(イをかいて)
仏 ム

仏蘭西のこと。仏蘭西の言葉。
フランス語。

仏

上にあめる。



くん
ほんけ

オン
フツ

じゆく語
仏蘭西のこと。仏蘭西の言葉。
フランス語。

9画
イ (いへん)
部首

保

赤しなない。
長い。

書き順

保 にんべんに
(イをかいて)
保 口をひらたく
保 木を下に

保健室に行く。
保険にはいる。
意味が
ちがう。

オン
ホ

書き順

弁 ムをかいて
弁 よこぼう
弁 ノをたて
弁 たておろす

弁

長い。
はらう。

にている字
弁



くん
べん

オン
べん

じゆく語
弁論、弁士、弁解、弁論、弁士

8画
止 (とどめる)
部首

武

点をわすれない。
右にはらう。
上にはねる。

書き順

武 二の下長く
武 たてよこ
武 たてて
武 もちあげて
武 たてぼう
武 おげはね
武 てんをうつ

にている字
武



じゆく語
武文、武武、武武、武者、武者、武者、武者

12画
一 (うかんざり)
部首

富

立てる。
大きめ。
わすれない。

書き順

富 うかんむり
(ウをかいて)
富 ニ
富 口かいて
富 由を下に



くん
とじ

じゆく語
富貴、富強、富貴、富強

14画
ネ (なもへん)
部首

復

短くはらう。
又しなない。
あてはなない。

書き順

復 てん フに
復 たてぼう
復 くをつけて
(ころもへん)
復 ノーに
復 白をかき
復 クに
復 若ばらい

にている字
復



じゆく語
復讐、復讐、復讐、復讐、復讐、復讐、復讐、復讐

12画
イ (いへん)
部首

復

短くはらう。
又しなない。

書き順

復 ぎょうにんべん
(ノイとかき)
復 ノーに
復 白をかき
復 クに
復 若ばらい

にている字
腹



じゆく語
復讐、復讐、復讐、復讐、復讐、復讐、復讐、復讐



5年 フフホ 声を出して歌って書こう



5年 フフフ 声を出して歌って書こう

15画 日(ひ) 部首

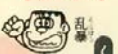
下の横線を長く。

この形に注意。
水にしない。

書き順

暴
暴
暴
暴
暴
暴

ひらたい白
よこ たて たてて
よこ長く
ハの字を
かいたら
たてはねて
左にんて
右にはく



オン
ボウ
(ハシ)

じゆく語
暴(ハシ) 暴(ハシ) 暴(ハシ) 暴(ハシ) 暴(ハシ) 暴(ハシ)
暴(ハシ) 暴(ハシ) 暴(ハシ) 暴(ハシ) 暴(ハシ) 暴(ハシ)

12画 貝(かい) 部首

この形に注意。
右がわは刀。

貿

書き順

貿
貿
貿
貿

ノ たてはねて
チョンをつけ
刀をかいたら
貝つける

じゆく語
貿(ハシ) 貿(ハシ) 貿(ハシ) 貿(ハシ) 貿(ハシ) 貿(ハシ)
貿(ハシ) 貿(ハシ) 貿(ハシ) 貿(ハシ) 貿(ハシ) 貿(ハシ)



12画 土(つち) 部首

報

フにしない。
つむ出さない。
とめる。

書き順

報
報
報
報
報
報

土に
ソ 二て
十をかき
かぎまげはねて
たて長く
かなのフかいたら
右ばらい



オン
ボウ
(ハシ)

じゆく語
報(ハシ) 報(ハシ) 報(ハシ) 報(ハシ) 報(ハシ) 報(ハシ)
報(ハシ) 報(ハシ) 報(ハシ) 報(ハシ) 報(ハシ) 報(ハシ)

13画 土(つち) 部首

墓

すく上の横線
より長く。

書き順

墓
墓
墓
墓
墓

くさかんむりに
(サとかいて)
白をかいて
ひらたい大て
土をかく



オン
ボウ
(ハシ)

じゆく語
墓(ハシ) 墓(ハシ) 墓(ハシ) 墓(ハシ) 墓(ハシ) 墓(ハシ)
墓(ハシ) 墓(ハシ) 墓(ハシ) 墓(ハシ) 墓(ハシ) 墓(ハシ)



5年

ホムム

声を出して歌って書こう

13画 夕(ゆうべ) 部首

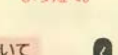
夢

下になめ線
より短く。

書き順

夢
夢
夢
夢
夢
夢

よこぼうかいて
たて二本
たて かぎ
たて たて
そこふさぎ
大きくワをかき
夕を下に



オン
ム

じゆく語
夢(ハシ) 夢(ハシ) 夢(ハシ) 夢(ハシ) 夢(ハシ) 夢(ハシ)
夢(ハシ) 夢(ハシ) 夢(ハシ) 夢(ハシ) 夢(ハシ) 夢(ハシ)

11画 カ(から) 部首

務

はねる。
とめる。

書き順

務
務
務
務
務
務

マをかいて
よこはね
たてはね
ノをかいて
のぶんを
かいたら
カをいれる



オン
ム

じゆく語
務(ハシ) 務(ハシ) 務(ハシ) 務(ハシ) 務(ハシ) 務(ハシ)
務(ハシ) 務(ハシ) 務(ハシ) 務(ハシ) 務(ハシ) 務(ハシ)

7画 阝(へん) 部首

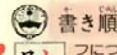
防

かどをつけて、
まげてからはねる。

書き順

防
防
防
防
防

フにつつけて
たて長く
(こざとへん)
てん 一かいて
かぎまげ
はねたら
ノを長く



オン
ボウ
(ハシ)

じゆく語
防(ハシ) 防(ハシ) 防(ハシ) 防(ハシ) 防(ハシ) 防(ハシ)
防(ハシ) 防(ハシ) 防(ハシ) 防(ハシ) 防(ハシ) 防(ハシ)

13画 豆(まめ) 部首

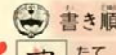
豊

上につき出す。
長めに。

書き順

豊
豊
豊
豊
豊

たて
かぎかいて
たて二本
なかによこぼう
そこふさぎ
一ロソ一
豆をかく



オン
ボウ
(ハシ)

じゆく語
豊(ハシ) 豊(ハシ) 豊(ハシ) 豊(ハシ) 豊(ハシ) 豊(ハシ)
豊(ハシ) 豊(ハシ) 豊(ハシ) 豊(ハシ) 豊(ハシ) 豊(ハシ)



5年

ホムム

声を出して歌って書こう

10画 部首

宀(うかんむり)

立てる。
容

火にしなない。

書き順

ウかんむり
(ウをかいて)
ハに
ひとやねて
口をかく

美人



じゆく語

容(容) 容(容) 容(容) 美(美) 内(内)
量(量) 積(積) 器(器) 容(容) 容(容)

13画 部首

頁(おおが)

夢にしなない。
預

はねる。

書き順

かなのマに
フをかいて
たてぼう
はねたら
一ノ自ハ



くん

あずける

オン

ヨ

じゆく語

預(預) 預(預) 預(預) 金(金)
物(物) け(け) 入(入)

14画 部首

糸(いとへん)

綿

ある。

こめる。

書き順

糸へんにくムと
つけて たて
チュン チュン
白をかき
たて
かきはねて
たてぼう長く

にている字線

オン

メン

じゆく語

綿(綿) 綿(綿) 水(水) 綿(綿) 織(織) 物(物)
毛(毛) 糸(糸) 綿(綿) 神(神) 物(物)

9画 部首

辶(しんによう)

迷

こめる。

こめる。

書き順

ソに
木をかいて
しんによう
つける

くん

まよ

オン

(マイ)

じゆく語

迷(迷) 迷(迷) 迷(迷) 迷(迷)
迷(迷) 走(走) 信(信) 寄(寄)
道(道)



迷子

特別な
見方が

5年 ヨヨリ

5年 ヨヨリ

声を出して歌って書こう

10画 部首

田(た)

留

この形に注意。
右がわは刀。

書き順

ノにたてはねて
てんつけて
刀をかいたら
たんほの田

くん

とめる

オン

リユウ

じゆく語

留(留) 留(留) 守(守) 留(留) 保(保)
留(留) 留(留) 守(守) 留(留) 金(金)



11画 部首

田(たへん)

略

又にしなない。

書き順

田をかいて
クに右はらい
下に白

くん

町

オン

リヤク

じゆく語

略(略) 略(略) 略(略) 略(略)
略(略) 略(略) 略(略) 略(略)
略(略) 略(略) 略(略) 略(略)

7画 部首

人(ひとやわ)

余

上につき出さなない。

はねる。

書き順

ひとやねに
よこぼう二本
たてはね
チュン チュン

くん

あまる

オン

ヨ

じゆく語

余(余) 余(余) 余(余) 余(余)
余(余) 余(余) 余(余) 余(余)
余(余) 余(余) 余(余) 余(余)

16画 部首

車(くるまへん)

輸

わすれないように。

はねる。

書き順

白をかき
よこぼう
たてぼう
ひとやね
よこ一
月をかき
たてぼう二本で
おわりをはねる

くん

ユ

オン

ユ

じゆく語

輸(輸) 輸(輸) 輸(輸) 輸(輸)
輸(輸) 輸(輸) 輸(輸) 輸(輸)
輸(輸) 輸(輸) 輸(輸) 輸(輸)



難くとめる。

領

うの。

部首
頁(おおい)

14画



書き順

領 領 領 領

レイ(令)に、おおい。



ひとやね
チヨン マ
ニ ノ 自 八

じゆく語
領(領) 領(領) 領(領) 領(領)

意味は、支配すること。大切なこと。うけとるなどの意味があるよ。

オン リョウ



5年り

声を出して歌って書こう

★国字について

きみも、知っていると思うけど、漢字は中国で作られたものですね。でも、日本で作られた漢字もあります。二つ以上の漢字の部品を組み合わせて作られています。が、これらを国字ともいいます。



例を上げてみます。

- 樅……堅い木。
- 風……木をヒューヒューふく風。
- 神……神にそなえる木。
- 軼……身を美しくする。
- 蹄……雪のふるころによくとれる魚。
- 辻……道の十字に交わったところ。
- 峠……山の上りと下りのさかい。
- 畑……草原を火で焼いて作る田。
- 風……風が止まる。



5年生の漢字まで、がんばってきたきみは、りっぱです。ここまでがんばれば、6年生は、すぐそこ。中学生になっても、きつと大いに楽しめることでしょう。

一口ちしき 漢字の部分で、意味が似ている。

漢字の形をよく見ると、山や日のように、これ以上分けられないものもあるけど、ほとんどの漢字は二つ以上の部分に分けられます。

この組み立ての基本になる部分には、その漢字のどの部分にあるかによって、七つに分けられます。

- ①へん ②つくり ③かんむり ④あし
- ⑤たれ ⑥によう ⑦かまえ

漢字は、一つ一つよく見てね。



これは、漢字の意味の上から分け、配列するときの目印になる形、部首とはちがいます。漢字は、意味を表す表意文字ですから、形残のちがう別の部分でも、同じ

意味や似ているような意味を表しているものがあります。これを左にまとめてみました。

参考にしてください。

- ①ひとに關係するもの……イ、凡、尸
- ②家に關係するもの……宀、尸
- ③歩行に關係するもの……彳、止、廴
- ④布に關係するもの……衣、巾
- ⑤材料に關係するもの……土、木、金
- ⑥刀などに關係するもの……リ、斤
- ⑦米などに關係するもの……禾、米
- ⑧武器に關係するもの……戈、矛
- ⑨からだに關係するもの……月、頁

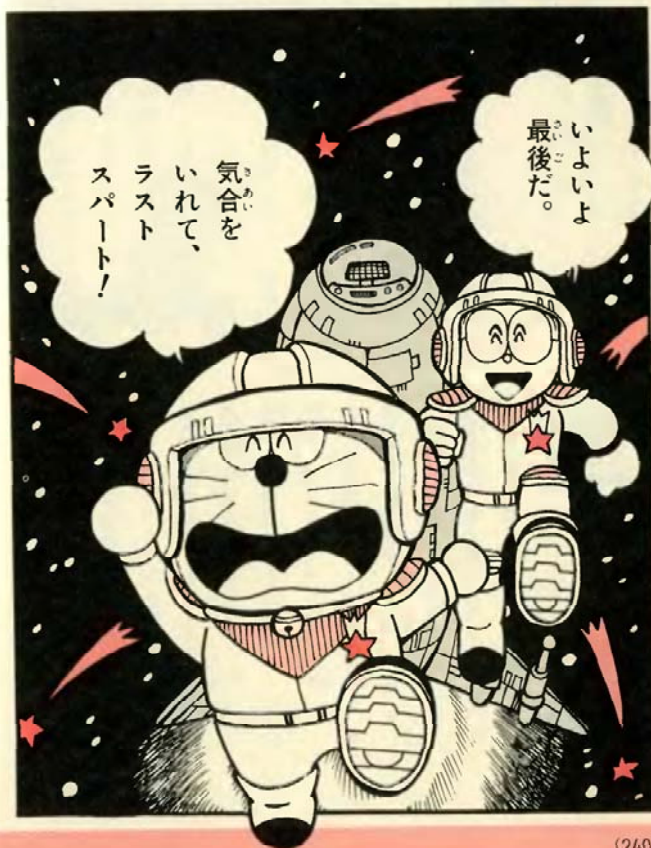


●6年生の漢字もくじ●

(181字・アイウエオ順にならんでいます。)

裏律臨朗…	忘棒枚幕…	班晚否批…	痛展討党…	存尊宅担…	聖誠宣專…	純処署諸…	詞誌磁射…	鋼刻穀骨…	劇激穴絹…	看簡危机…	異遺域宇…
286	282	278	274	270	266	262	258	254	250	246	242
論…	密盟模訳…	秘腹奮並…	糖届難乳…	探誕段暖…	泉洗染善…	除将傷障…	捨尺若樹…	困砂座濟…	権憲源嚴…	揮貴疑吸…	映延沿我…
287	283	279	275	271	267	263	259	255	251	247	243
郵優幼欲…	陛閉片補…	認納腦派…	值宙忠著…	奏窓創裝…	城蒸針仁…	収宗就衆…	裁策冊蚕…	己呼誤后…	供胸鄉勤…	灰拉革閣…	
284	280	276	272	268	264	260	256	252	248	244	
翌乱卵覽…	暮宝訪亡…	扞背肺俳…	庁頂潮賃…	層操蔵臈…	垂推寸盛…	従縦縮熟…	至私姿視…	孝皇紅降…	筋系敬警…	割株干卷…	
285	281	277	273	269	265	261	257	253	249	245	

6年生で習う漢字



6年



6年

8画 延 (えん) 部首

つき出る。上に出る。左に出る。右に出る。とちがうので注意。

書き順

ノをかいて
たてよこたてよこ
(止まるをかいて)
フをつづけたら
右ばらい

じゆく語

延び 延び 延び 延び
延び 延び 延び 延び
延び 延び 延び 延び
延び 延び 延び 延び

9画 映 (ひへん) 部首

史てはない。左右に出る。

書き順

白をかいて
たて かぎ
よこて
人をかく

じゆく語

映 映 映 映
映 映 映 映
映 映 映 映
映 映 映 映

15画 遺 (いしん) 部首

少しぼく。少しぼく。

書き順

白に たて
よこぼう
貝て
しんによつ
つける

じゆく語

遺言 遺失 遺産 遺物

11画 田 (た) 部首

少しぼく。上の横棒より長く。

書き順

たんぼの田
よこ たて
たて よこ
八をつける

じゆく語

異性 異物 異物 異物

7画 我 (わ) 部首

意をわすれずに。はねる。上に出る。右に出る。

書き順

ノをかいて
よこぼう長く
たてはねて
下からもちあげ
たすきがけ
てんをうつ

じゆく語

我が家 我々 我々 我々
我が家 我々 我々 我々
我が家 我々 我々 我々
我が家 我々 我々 我々

8画 浴 (よく) 部首

谷てはない。右に出る。左に出る。

書き順

さんずいに
(シをかいて)
ハ
白を下に

じゆく語

浴槽 浴槽 浴槽 浴槽
浴槽 浴槽 浴槽 浴槽
浴槽 浴槽 浴槽 浴槽
浴槽 浴槽 浴槽 浴槽

6画 宇 (う) 部首

立てる。上に出る。右に出る。

書き順

ウをかいて
(ウかんむり)
よこぼう
二本て
たてはねる

じゆく語

宇宙 宇宙 宇宙 宇宙
宇宙 宇宙 宇宙 宇宙
宇宙 宇宙 宇宙 宇宙
宇宙 宇宙 宇宙 宇宙

11画 域 (いき) 部首

わすれずに点。上に出る。右に出る。

書き順

土へんに(よこ
たて もちあげ)
よこぼう
口て
もちあげて
くんと大きく
たすきがけ てん

じゆく語

流域 流域 流域 流域
流域 流域 流域 流域
流域 流域 流域 流域
流域 流域 流域 流域

声を出して歌って書こう

6年 エカ

声を出して歌って書こう

6年 イウ

10画
木へん
部首

株

まっすくにおろして、とめる。

書き順

株
株
株
木へんに
(木をかいて)
ノ 一に
木をつきぬける



じゆく語

切り株、林、株、林、切、林、式、式、林、式、式、林、式、式

12画
リ(りっとう)
部首

割

はねる。

書き順

割
割
割
割
ウをかいて
よこ たて
よこ よこ
口つけて
たてぼう二本で
おわりをはねる
(じつとつをかく)

4 ÷ 2 =



じゆく語

割れ目、割合、割割、割り算、割り算

9画
P(ふしづくり)
部首

巻

上にはねる。

書き順

巻
巻
巻
巻
巻
リをかいて
よこぼう二本
入をかき
かなのこ
かいたら
たてまげはねる

じゆく語

巻舌、巻舌、巻舌、巻舌、巻舌、巻舌、巻舌、巻舌

3画
干(かん)
部首

干

上にはねる。

書き順

干
干
よこぼう二本
たて長く



じゆく語

干物、干物、干物、干物、干物、干物、干物、干物

8画
才(てへん)
部首

抔

はねる。

書き順

抔
抔
抔
抔
てへんに(よこ
たてはねて
もちあげて)
てん 二
ノに
ムをいれる

じゆく語

抔張機、抔張機、抔張機、抔張機

じゆく語

抔張機、抔張機、抔張機、抔張機

6画
火(ひ)
部首

灰

はらう。

書き順

灰
灰
灰
灰
よこ一
ノをつけ
ソ
入をいれる

じゆく語

灰皿、灰皿、灰皿、灰皿

じゆく語

灰皿、灰皿、灰皿、灰皿

14画
門(もんがまえ)
部首

閣

はねる。

書き順

閣
閣
閣
閣
閣
たてぼう
ヨをかき
たて
かぎはねて
よこぼう二本で
クに右はらい
下に漢字の
白いれる

じゆく語

閣下、閣下、閣下、閣下

9画
革(つくりがわ)
部首

革

はねる。

書き順

革
革
革
革
革
よこぼう
たて たて
そことして
白に
よこぼうで
たてつきぬける

じゆく語

革、革、革、革、革、革、革、革

声を出して歌って書こう

6年 カカ

点の形や向きに注意。

声を出して歌って書こう

6年 カカ

12画 貝(かい) 部首

上につき出す。
貴

書き順

中をかき
よこぼうひいて
貝をかく



貴金属

オン
くん (たつと) キ
(たつと) (たつと) (たつと)

責 買

にている字

じゆく語
富貴 貴重 貴族 貴金 貴金属

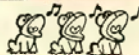
12画 オ(てへん) 部首

揮

少く振る。右にあげる。はねる。

書き順

よこ たてはねて
もちあげて
(くへんかき)
フに
よこ一て
白 一の
たてぼう



じゆく語
発指 揮発 揮揮 揮

18画 竹(たけかんむり) 部首

簡



書き順

ケを二つ
(たけかんむりに)
たてぼう
ヨをかき
たて かぎはねて
よこぼう二本て
白をいれる

じゆく語
竹の脚 簡単料理 簡易 簡便 簡潔 簡略 簡明 簡便 簡便 簡便

9画 目(め) 部首

看



書き順

ノをかいて
よこぼう二本
ノをたてて
たてぼうかぎで
よこ二本

じゆく語
看病 看破 看守 看破 看破 看破 看破 看破 看破 看破

声を出して歌って書いて書こう

6年 キスキ

6画 ロ(くちへん) 部首

吸

ひくひく吸へ。なまじい。

書き順

口へんに
(口をかき)
ノに
フをつづけたら
右はらい



オン
くん キユウ

呼吸

じゆく語
吸い入る 呼吸器 呼吸器 呼吸器 呼吸器 呼吸器 呼吸器 呼吸器 呼吸器 呼吸器

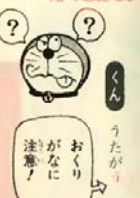
14画 疋(ひき) 部首

疑

つてはねる。つき出すきない。短くとめる。

書き順

ヒに
ノ一て
大をかき
マに
フて
たて よこ
入をかく



じゆく語
容疑 疑心 疑問 疑点 疑心 疑心 疑心 疑心 疑心 疑心

6画 木(きへん) 部首

机



書き順

木をかいて
(木へんかき)
たてたノに
かざまげはねる

じゆく語
机の上 机の上 机の上 机の上 机の上 机の上 机の上 机の上 机の上 机の上

6画 P(ふしくり) 部首

危



書き順

フをかいて
よこ一
ノをかき
かざまげはねて
そしてさいごに
たてまげはねる

じゆく語
危険 危険 危険 危険 危険 危険 危険 危険 危険 危険

声を出して歌って書いて書こう

6年 カスキ

7画 部首 糸(いと)

左にはらう。

系

糸 いる手
て

書き順

系
系
系
系
系
系

ノをかいて

く

ムとつづけて

たて

チョン チョン

オン
ケイ



じゅく語

太陽系 糸系 系系 家系 糸系 糸系 糸系 糸系

12画 部首 筋(たけかんむり)

筋

上(うへ)にひらばらう。

はねる。

書き順

筋
筋
筋

ケを二つ
(たけかんむりに)

月をかいたら

力をよこに

オン
キン

くん すじ



じゅく語

背筋 筋力 筋脈 筋肉 筋道 筋金 筋力 筋肉

10画 部首 月(にくつき)

胸

左下にはらう。

上(うへ)め。

はねる。

書き順

胸
胸
胸
胸

月をかき
(にくつきに)

ノにかぎまげはねて

メに

たてまげたてぼう
(うけばこ)



じゅく語

胸元 胸度 胸中 胸像 胸け

8画 部首 イ(にんべん)

供

上の横棒より長く
とめる。

書き順

供
供
供

にんべんに
(イをかいて)

よこ たて

たて よこ

八をつける



じゅく語

子供 供養 自供 供物 子供 供え物

声を出して歌って書こう

6年 キ〜ケ

19画 部首 言(げん)

警

とめる。

病 立てない。

書き順

警
警
警
警

サをかいて

ノにかぎはねて

口をいれ

ノーで

りようばらい

言をかく

オン
ケイ

にている字 驚

じゅく語

警告 警備 警告 警備 警告 警備

12画 部首 女(のぶん)

敬

とめる。

まろみをもたせて
おろしく、はねる。

書き順

敬
敬
敬
敬

サをかいて

ノにかぎはねて

口をいれ

ノーとつづけて

左右にはらう

オン
ケイ

くん うやまう

じゅく語

尊敬 敬愛 敬重 敬慕 敬重 敬慕

12画 部首 力(ちから)

勤

甘にしない。

はねる。

右上にはらう。

書き順

勤
勤
勤
勤
勤

サ

白

たてて

よこ三本

右に大きく

力かく



じゅく語

勤め人 勤め度 出勤 勤行 勤行 勤行

11画 部首 邑(おおさと)

郷

長にしない。

はらう。

書き順

郷
郷
郷
郷
郷

<を二つ

たてたノ

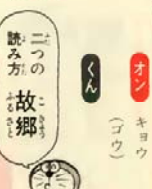
ヨをかき

たてはね

チョン

フにつづけて

たてぼう長く



じゅく語

水郷 同郷 山郷 出郷 郷土 郷土

声を出して歌って書こう

6年 キ〜キ

16画 心部首 (こころ)

憲 (けん) 立てる。 点をはねる。 点をはねる。 点をはねる。

書き順

憲 憲 憲 憲 憲

憲法 国のいちばん大事なものになるまで。

じゆく語 立憲 合憲 憲法 憲章 憲兵 憲兵 憲兵 憲兵

15画 オ部首 (お)

権 (けん) 上につき出さない。 点をはねる。 点をはねる。 点をはねる。

書き順

権 権 権 権 権 権 権 権 権 権

権利の反対は義務。 (けん) (ごん)

じゆく語 権威 権力 権限 権柄 権柄 権柄 権柄 権柄 権柄

16画 シ部首 (しんずい)

激 (げき) とめる。 点をはねる。 点をはねる。 点をはねる。

書き順

激 激 激 激 激 激 激 激 激 激

感激 (げんげき) はげしい

じゆく語 激流 激怒 激進 激進 激進 激進 激進 激進 激進 激進

15画 リ部首 (りりつとう)

劇 (げき) はねる。 点をはねる。 点をはねる。 点をはねる。

書き順

劇 劇 劇 劇 劇 劇 劇 劇 劇 劇

たてよこノをかき よこをはね 数字の七に よこ一かいて ノに たてまげはね ノノと くをつけ りつとうをかく (たてぼう二本とおわりをはねる)

じゆく語 劇作 劇作 劇作 劇作 劇作 劇作 劇作 劇作 劇作 劇作

声を出して歌って書こう

6年 ケケケ

17画 巖部首 (いん)

巖 (いん) 点の形や向きに注意。 つき出さない。 若上にはらう。

書き順

巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖

巖格 (いん) さびしい (いん) (おろそか)

じゆく語 巖窟 巖窟 巖窟 巖窟 巖窟 巖窟 巖窟 巖窟 巖窟 巖窟

13画 シ部首 (しんずい)

源 (げん) 左下。 右上下。 はねる。

書き順

源 源 源 源 源 源 源 源 源 源

水瀬 (みづのせ) めん (げん) めん (げん) めん (げん) めん (げん)

じゆく語 電源 水源 源泉 源泉 源泉 源泉 源泉 源泉 源泉 源泉

13画 糸部首 (いとへん)

絹 (きぬ) おる。 点をはねる。 点をはねる。 点をはねる。

書き順

絹 絹 絹 絹 絹 絹 絹 絹 絹 絹

糸へんにくムと つけて たて チョン チョン 口をかいたら 月をかく

じゆく語 絹糸 絹糸 絹糸 絹糸 絹糸 絹糸 絹糸 絹糸 絹糸 絹糸

5画 穴部首 (あな)

穴 (あな) 立てる。 ひこめて書く。 最後ははねる。 はらう。

書き順

穴 穴 穴 穴 穴 穴 穴 穴 穴 穴

つをかいて (ウかんむりに) 痛とし穴 (あな) 空・突・六 (あな) 空・突・六 (あな) 空・突・六 (あな)

じゆく語 窟窿 窟窿 窟窿 窟窿 窟窿 窟窿 窟窿 窟窿 窟窿 窟窿

声を出して歌って書こう

6年 ケケケ

9画 部首 白(しろ)

左下にはらう。
上につき出さない。
長く。

皇

書き順

ノ たて
かざて
よこ 二本
よこ たてよこ
よこ 主をかく



オン
コウ



王(の)つオノの
上の部分に光る
玉のかさり

7画 部首 子(こ)

長く。
はねる。

孝

書き順

よこ たて
よこて
ノをかいて
下から子どもが
もちあげる



オン
コウ

老考 考 考
孝 孝 孝 孝 孝 孝
兼 心 子 行 不 孝

8画 部首 口(くちへん)

左下にはらう。
長く。
はねる。

呼

書き順

口をかき
(口へんに)
ノ ソ
よこて
たてまげ
はねる



オン
コ

じゆく語
呼 呼 呼 呼 呼
び び び び び

3画 部首 己(おのれ)

つぎ出さないで
あける。

己

書き順

かたかなの
コに
たてまげはねる



改 紀 己のつく字
記 起

じゆく語
知 利 自
己 己 己

声を出して歌って書こう

6年 コ〜コ

10画 部首 冫(こゝろへん)

左下にはらう。
上につき出さない。
わすれない。

降

書き順

フにつづけて
たて長く
(こざとへん)
フに右はらい
よこ たて
よこて
たておろす



オン
コウ

じゆく語
降 降 降 降 降
水 水 水 水 水

9画 部首 糸(いとへん)

上につき出さない。
上の横線より
長く。

紅

書き順

く ムと
つづけて
たて チョン チョン
(糸へんて)
よこ たてよこて
フをかく

オン
コウ

じゆく語
紅 紅 紅 紅 紅
茶 茶 茶 茶 茶

6画 部首 口(くち)

左下にはらう。
左につき出さない。
あける。

后

書き順

ノ ノ
よこぼつて
口をかく



オン
コウ

じゆく語
后 后 后 后 后
天 天 天 天 天

14画 部首 言(ごんべん)

ひとつで書く。
点。立てない。
つぎ出す。

誤

書き順

ごんべんに
口をかいたら
たて
よこまげて
よこぼう
ひいたら
八をかく

まちがえること。
「謝る」は「ごめん」なさい。

じゆく語
誤 誤 誤 誤 誤
字 字 字 字 字

声を出して歌って書こう

6年 コ〜コ

7画 部首

左下にはらう。

私

知くためる。

ある。

書き順

私 ノ
私 木とつづけて
私 (のぎへんに)
私 かなたの私

「わたしと書くときは、ひらがな。」

オン

シ

6画 部首

至

上の横棒より短く。

書き順

至 よこ一
至 へをかき
至 土をかき

「至急」ひじょうに急ぐこと。



いたる

オン

シ

じゆく語

至のつく字

じゆく語

必至 至急 至意 至意 至意 至意 至意 至意 至意 至意

11画 部首

点。立てない。

視

知め。

かどをつけずにまけて、はねる。

書き順

視 ネをかいて
視 目の下に
視 ひとあしつける



視男

オン

シ

9画 部首

姿

この形に注意。うてはなない。

はらう。

短く。

書き順

姿 ンをかき
姿 ノ フと
姿 つづけて
姿 人をかき
姿 下にノ
姿 女をつける



晴れ姿 すがた

オン

シ

じゆく語

次の女の姿を、お

じゆく語

晴れ姿 容姿 容姿 容姿 容姿 容姿 容姿 容姿

12画 部首

策

変にしない。

はねる。

書き順

策 ヌをつ (たけかんむりに)
策 よこ
策 たて
策 かざはね
策 たてぼうあるし
策 左にはらって
策 石ばらい



対策

オン

サフ

じゆく語

解策 策略 策士 策士 策士 策士 策士 策士 策士

12画 部首

裁

はねる。

こめる。

書き順

裁 土の下長く
裁 てん 一かいて
裁 イをはね
裁 ををかき
裁 たずきがけ
裁 てん
裁 いて
裁 いる字



オン

サイ

じゆく語

裁断 裁断 裁断 裁断 裁断 裁断 裁断 裁断

10画 部首

蚕

上につき出さない。

上の横棒より短く。

こめる。

書き順

蚕 下を短く
蚕 よこ二本
蚕 入をかいたら
蚕 なかに虫



かいこ

オン

サン

じゆく語

蚕糸 蚕糸 蚕糸 蚕糸 蚕糸 蚕糸 蚕糸 蚕糸

5画 部首

冊

はねる。

こめる。

書き順

冊 たてぼう
冊 かざはね
冊 たて たて
冊 よこぼう
冊 いて
冊 いる字



オン

サツ

じゆく語

別冊 別冊 別冊 別冊 別冊 別冊 別冊 別冊

声を出して歌って書こう

6年 シ〜シ

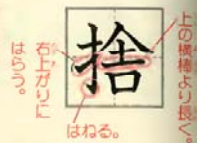
声を出して歌って書こう

6年 サ〜サ

4画 尸(しかばね) 部首



11画 才(てへん) 部首



書き順

尺 コ
尺 ノ
尺 右ばらい



オン シヤツ

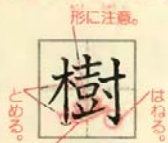
書き順

捨 へんに(よこたてはねてもちあげて)
捨 ひとやね
捨 土
捨 口とかく



じゆく語
捨て 捨てる
拾う 拾う
拾身 拾身

16画 才(てへん) 部首

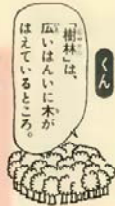


8画 艹(くさかんむり) 部首



書き順

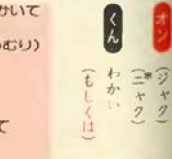
樹 木をかいて(木へんに)
樹 土 白に
樹 ソ 二で
樹 寸をかく



オン ジュ

書き順

若 よこぼうかいてたて二筆(くさかんむり)
若 ノに
若 よこぼうて
若 口をかく



じゆく語
若く 若く
若手 若手
若草 若草
若干 若干

樹立 樹液 果樹 樹木

樹立 樹液 果樹 樹木

14画 言(ごんべん) 部首



書き順

誌 ごんべんに
誌 よこ たて
誌 よこて
誌 心をつける



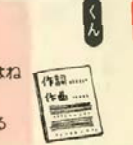
読む 認める
読んでいる手

12画 言(ごんべん) 部首



書き順

詞 ごんべんに
詞 大きなかざはね
詞 一 口いれる



台詞 読み方
台詞 読み方
台詞 読み方

じゆく語
名詞 名詞
動詞 動詞
形容詞 形容詞
副詞 副詞

10画 寸(すん) 部首



書き順

射 ノにたてぼつて
射 かき長くはね
射 よこ よこ
射 もちあげ
射 天さくノ
射 よこぼう たてはねてんをうつ



じゆく語
射撃 射撃
日射 日射
注射 注射

14画 石(いしへん) 部首



書き順

磁 石へんに(石をかき)
磁 ソ 一と
磁 かいたら
磁 < ムと
磁 < ム



じゆく語
磁石 磁石
磁気 磁気
磁石 磁石
磁気 磁気

滋 いる手
滋 いる手

声を出して歌って書こう

6年 シーシ

声を出して歌って書こう

6年 シーシ

16画
糸(いと)へん
部首

縦
にしない。
はらう。
とめる。

書き順

縦
糸へんにくムと
つづけて たて
チョン(チョン)
ノ イと
つづけて
縦
ソ 一をかいて
縦
たてよこつづけて
縦
入をかく

くん
たて
オン
シユウ

じゅく語



10画
イ(ぎょうにんべん)
部首

従
にしない。
はらう。
とめる。

書き順

従
ぎょうにんべん
(ノ イとカキ)
従
ソ 二
従
たて よこ
従
入をかく

くん
シユウ
したがり
したがる

じゅく語



15画
火(れんが)
部首

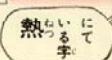
熟
にしない。
はらう。
とめる。

書き順

熟
てん 二
熟
白 子て
熟
数字の九に
熟
てんつづけて
熟
下にてんてん
熟
四つづけ

くん
オン
シユク

じゅく語



17画
糸(いと)へん
部首

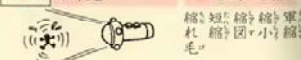
縮
にしない。
はらう。
とめる。

書き順

縮
糸へんにくムと
つづけて たて
チョン(チョン)
縮
ワのなかに
縮
イと
縮
一ノ白
縮
いれる

縮大 縮小
くん
オン
シユク
ちぢまる
ちぢめる
ちぢれる

じゅく語



8画
一(うかんむり)
部首

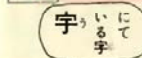
宗
立てる。
はねる。
とめる。

書き順

宗
ウかんむり
(ウをかいて)
宗
よこ よこ
宗
たてはね
宗
八をつける

くん
シユウ
宗家
宗流
宗徒
宗教
宗宗

じゅく語



4画
又(また)
部首

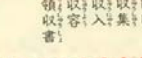
収
父てはない。
はらう。
とめる。

書き順

収
たてぼうに
収
しをかいて
収
フに
収
右ばらい

くん
シユウ
おさめる
おさまる

じゅく語



12画
血(ち)
部首

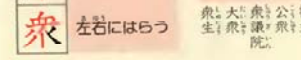
衆
形と書き順に注意。
はらう。
とめる。

書き順

衆
ノに
衆
たて かざて
衆
たて たて
衆
たて よこぼう
衆
イに
衆
ノを二つ
衆
左右にはらつ

くん
オン
シユウ
にている字
象

じゅく語



12画
九(たいのまげあし)
部首

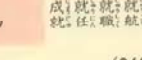
就
立てる。
はらう。
とめる。

書き順

就
てん 一
就
口に
就
小をつけ
就
かなのナ
就
たてまげはねて
就
かたにてん

くん
オン
シユウ
つづける

じゅく語



声を出して歌って書こう

6年 シュウシ

声を出して歌って書こう

6年 シュウシ

10画 寸(すん) 部首

点の形や向きに注意。

将

はねる。はねる。はねる。

書き順

将 将 将 将 将
たてぼう
かいたら
ンをつけ
ノ ツと
つづけて
寸をかく



じゆく語

名: 大将(将) 将(将) 将(将) 将(将) 将(将)
将(将) 将(将) 将(将) 将(将) 将(将)

10画 卩(けつ) 部首

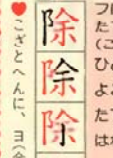
上につき出さない。

除

はねる。はねる。はねる。

書き順

除 除 除 除 除
フにつづけて
たて長く
(こざとへん)
ひとやねかいて
よこ二本
たてぼう
たねたら
かなの八つける



じゆく語

除(除) 除(除) 除(除) 除(除) 除(除)
除(除) 除(除) 除(除) 除(除) 除(除)

14画 阝(へん) 部首

障

上(の横棒より)長く。長く。

書き順

障 障 障 障 障
フにつづけて
たてぼう長く
(こざとへん)
てん 二て
白に
干をかく



じゆく語

目(障) 障(障) 障(障) 障(障) 障(障)
障(障) 障(障) 障(障) 障(障) 障(障)

13画 イ(いん) 部首

傷

長め。長め。長め。

書き順

傷 傷 傷 傷 傷
にんべんに
(イをかいて)
ノ 二
白 二て
ノにかぎ(まげ)
はねて
なかにつづけて
ノとかく



じゆく語

古(傷) 傷(傷) 傷(傷) 傷(傷) 傷(傷)
古(傷) 傷(傷) 傷(傷) 傷(傷) 傷(傷)

5画 几(いく) 部首

処

又(は)はない。又(は)はない。又(は)はない。

書き順

処 処 処
クに
石ばらい
ルににた字



じゆく語

宿(処) 宿(処) 宿(処) 宿(処) 宿(処)
宿(処) 宿(処) 宿(処) 宿(処) 宿(処)

10画 糸(いと) 部首

純

上につき出す。上につき出す。上につき出す。

書き順

純 純 純 純 純
糸へんに(く) 二と
つづけて たて
チョン チョン)
ノに
つけばこて
(たてまげ たて)
たてまげはねる



じゆく語

半(純) 純(純) 純(純) 純(純) 純(純)
純(純) 純(純) 純(純) 純(純) 純(純)

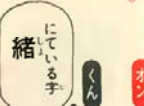
15画 言(ごん) 部首

諸

右(上)につき出す。右(上)につき出す。右(上)につき出す。

書き順

諸 諸 諸 諸 諸
ごんべんに
土
ノ
白



じゆく語

諸(諸) 諸(諸) 諸(諸) 諸(諸) 諸(諸)
諸(諸) 諸(諸) 諸(諸) 諸(諸) 諸(諸)

13画 罫(あみ) 部首

署

四(に)にしない。四(に)にしない。四(に)にしない。

書き順

署 署 署 署 署
たて かぎ
たて たて
そことして
よこ たて
よこて
ノに
白をつける



じゆく語

部(署) 署(署) 署(署) 署(署) 署(署)
署(署) 署(署) 署(署) 署(署) 署(署)

声を出して歌って書く

6年 シーシ

声を出して歌って書く

6年 シーシ

11画
部首
オ (まへん)

左下にはらう。

推

はわる。

点のつちかたに注意。

書き順

よこ たてはねて
もちあげて
(くへんカギ)

イに

てん 一て

たて

よこ三本



じゆく語

推_ス 推_ス 推_ス 推_ス
理_リ 定_{テイ} 測_{ソク} 進_{シン} 移_イ

8画
部首
土 (つち)

左下にはらう。

垂

長くまを「垂」す。

書き順

ノ 一の

よこて

たて二本

そこを
とじたら

たて
よこぼう



水平

じゆく語

垂_ス 垂_ス 垂_ス 垂_ス
れ_レ 垂_ス 直_{チキ} 線_{セン} 下_カ 垂_ス
暴_{バウ} 垂_ス

11画
部首
皿 (は)

わすれない。

盛

はわる。

上にはなる。



書き順

ノ 一とかいて

かぎまげはねて

たすきを
かいたら てん

たて かぎ

たて たて

よこぼう長く

じゆく語

花_{ハナ} 山_{ヤマ} 大_{ダイ} 盛_{セイ}
り_リ 盛_{セイ} り_リ 大_{ダイ} 盛_{セイ} り_リ

3画
部首
寸 (すん)

寸

はわる。

オ
にている字

書き順

よこ

たてはねて

てんつける



じゆく語

寸_ス 寸_ス 寸_ス 寸_ス
法_{ホウ} 寸_ス 寸_ス 寸_ス 寸_ス
法_{ホウ} 寸_ス 寸_ス 寸_ス 寸_ス

13画
部首
艹 (くさかんむり)

蒸としない。

蒸

わすれない。

書き順

サをかいて
(くさかんむり)

フにつづけて

フ <

よこぼう

そしてさいごに
てん 四つ



蒸_ス 蒸_ス
(む_ス)
(む_ス)

じゆく語

蒸_ス 蒸_ス 蒸_ス 蒸_ス
蒸_ス 蒸_ス 蒸_ス 蒸_ス
蒸_ス 蒸_ス 蒸_ス 蒸_ス

9画
部首
土 (つちへん)

城

はわる。

城をわすれない。

書き順

土へんに(よこ
たて もちあげ)

ノ

よこ

かぎはね

たすきがけ
てん



じゆく語

根_ネ 城_{シロ} 城_{シロ} 城_{シロ}
城_{シロ} 城_{シロ} 城_{シロ} 城_{シロ}
城_{シロ} 城_{シロ} 城_{シロ} 城_{シロ}

4画
部首
イ (いんべん)

仁

上の横棒より長く。

書き順

イをかいて
(いんべんに)
よこぼう二本
下長く

件_{ケン} 仕_シ に_ニ ている字
任_{ニン} 伝_{デン} に_ニ ている字

じゆく語

仁_ニ 仁_ニ 仁_ニ 仁_ニ
王_{オウ} 徳_{トク} 教_{キョウ} 愛_{アイ}

10画
部首
金 (かねへん)

針

右にはらう。
(なりたち)

書き順

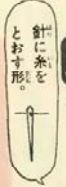
ひとやねに

よこぼう二本

たて

ソ ニ
(釜へんに)
右に大きく

よこ たてぼう



じゆく語

針_{ハリ} 注_{チュウ} 方_{ホウ} 秒_{セウ} 針_{ハリ}
金_{キン} 針_{ハリ} 針_{ハリ} 針_{ハリ}
金_{キン} 針_{ハリ} 針_{ハリ} 針_{ハリ}

9画 シ(さんずい) 部首 首

洗

かどをつけずに
まけて、はねる。

書き順

さんずいに
(シをかいて)
ノ 一
たて よこ
ひとのおし

かん
せん
あらう
洗たく

じゆく語
丸洗 手洗 洗面 洗髪 洗面 洗面 洗面 洗面

9画 水(みず) 部首 首

泉

はねる。

書き順

ノ 白
たてはねて
フをかいて
左にはらって
右はらい

温泉
かん
いずみ
せん

じゆく語
冷泉 熱泉 温泉水 泉 泉 泉 泉

13画 言(ごんべん) 部首 首

誠

はねる。

書き順

ごんべんに
ノに
よこぼうて
かぎまげ
はねたら
たすきがけ
てん

誠実
かん
まこと
せん

じゆく語
志誠 誠心 誠意 誠實 誠實 誠實 誠實

13画 耳(みみ) 部首 首

聖

はねる。

書き順

よこ たて
よこ よこ
もちあげ
たてぼう
右に白をかき
よこ たてよこ
よこ 主をかく

聖夜
かん
せい
せん

じゆく語
聖夜 聖人 聖書 聖火 聖神 聖霊

12画 口(くち) 部首 首

善

つぎ出さない。

書き順

ソに
よこ三本
たてをだし
ソ 一と
つづけて
下に口

善人
かん
よい
せん

じゆく語
善悪 善行 善悪 善行 善悪 善行 善悪 善行

9画 木(き) 部首 首

染

はねる。

書き順

シをかいて
(さんずいに)
ノに
かぎまげはねて
木を下に

染め物
かん
せん
せん

じゆく語
染め物 染め料 染め物 染め物 染め物 染め物

9画 寸(すん) 部首 首

専

はねる。

書き順

よこ二に
白をかいて
たてぼう
かいたら
寸つける

専心
かん
もんぱら
せん

じゆく語
専心 専断 専断 専断 専断 専断 専断 専断

9画 宀(うかんむり) 部首 首

宣

はねる。

書き順

うかんむり
(ウをかいて)
よこ二
白をかき
よこぼう長く

宣言
かん
せん
せん

じゆく語
宣言 宣戦 宣戦 宣戦 宣戦 宣戦 宣戦 宣戦

声を出して歌って書こう

6年 セーセ

声を出して歌って書こう

6年 セーセ

16画 部首 才 (マヘン)

上の口を少し大きく。

操

はねる。 止める。

書き順

よこ たてはねて
もちあげて
(マヘンカサ)
口を三つて
木を下に



じゆく語

操 操 操
操 操 操
操 操 操
操 操 操

14画 部首 尸 (しかばね)

層

ハ・ツにしない。

書き順

層 層 層 層 層



じゆく語

層 層 層 層 層
層 層 層 層 層
層 層 層 層 層
層 層 層 層 層

19画 部首 月 (つくぎ)

臆

はねる。 わずれない。

書き順

月をかき
(つくぎに)
よこ たて たて
ノによこぼう
たてよこ
コチョンよこて
たすきがけ
てん



じゆく語

臆 臆 臆 臆 臆
臆 臆 臆 臆 臆
臆 臆 臆 臆 臆
臆 臆 臆 臆 臆

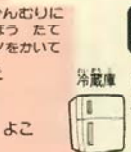
15画 部首 艹 (くさかんむり)

蔵

上につき出す。 点をわずれない。

書き順

蔵 蔵 蔵 蔵 蔵



じゆく語

蔵 蔵 蔵 蔵 蔵
蔵 蔵 蔵 蔵 蔵
蔵 蔵 蔵 蔵 蔵
蔵 蔵 蔵 蔵 蔵

11画 部首 宀 (あなかんむり)

窓

立てる。 まげてとめる。 はねる。

書き順

窓 窓 窓 窓 窓



じゆく語

窓 窓 窓 窓 窓
窓 窓 窓 窓 窓
窓 窓 窓 窓 窓
窓 窓 窓 窓 窓

9画 部首 大 (だい)

奏

つき出す。 つき出さない。 とめる。

書き順

奏 奏 奏 奏 奏



じゆく語

奏 奏 奏 奏 奏
奏 奏 奏 奏 奏
奏 奏 奏 奏 奏
奏 奏 奏 奏 奏

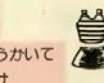
12画 部首 衣 (ころも)

装

土にしない。 下を知く。 この形に注意。

書き順

装 装 装 装 装



じゆく語

装 装 装 装 装
装 装 装 装 装
装 装 装 装 装
装 装 装 装 装

12画 部首 利 (りつとう)

創

とめる。 はねる。

書き順

創 創 創 創 創



じゆく語

創 創 創 創 創
創 創 創 創 創
創 創 創 創 創
創 創 創 創 創

声を出して歌って書こう

6年 ソーソ

声を出して歌って書こう

6年 ソーソ

左にはらう。

15画 部首 言(ごんべん) 点、立てない。

誕

こではない。

書き順

誕 誕 誕 誕 誕
ごんべんに
ノ たて
よこ たて
よこをかき
フを
つづけたら
右はらい



じゆく語 誕生(たんじゆ) 誕(たん) 誕(たん) 誕(たん) 誕(たん)

11画 部首 扌(てへん) 右に上げてはらう。

探

はねる。

書き順

探 探 探 探 探
よこ
たてはねて
もちあげて
(てへんかき)
ワに
ハをまけて
木をつける

深(ふか)く 探(たん) 探(たん) 探(たん) 探(たん) 探(たん)



じゆく語 探(たん) 探(たん) 探(たん) 探(たん) 探(たん)

まけてとめる。

12画 部首 寸(すん) 西にしない。

尊

はねる。

書き順

尊 尊 尊 尊 尊
ソ 一とかいて
たて かぎ
かいて
ルのよこまけて
一つけて
そこをとしたら
寸をかく

尊(そん) 尊(そん) 尊(そん) 尊(そん) 尊(そん)

じゆく語 尊(そん) 尊(そん) 尊(そん) 尊(そん) 尊(そん)

6画 部首 子(こ) 右に上げてはらう。

存

はねる。

書き順

存 存 存 存 存
よこ一
イをかき
子をつける

存(ぞん) 存(ぞん) 存(ぞん) 存(ぞん) 存(ぞん)

学(がく) 孫(そん) 子(こ) のつく字

じゆく語 存(ぞん) 存(ぞん) 存(ぞん) 存(ぞん) 存(ぞん)

声を出して歌って書こう

6年 タクタ

13画 部首 日(ひへん) 西にしない。

暖

上の横線からつき出さない。

書き順

暖 暖 暖 暖
白をかいて
ノ ツと
つづけて
よこぼうに
炭

暖(だん) 暖(だん) 暖(だん) 暖(だん)

じゆく語 暖(だん) 暖(だん) 暖(だん) 暖(だん) 暖(だん)

9画 部首 扌(てへん) 右に上げてはらう。

段

右にはらう。

書き順

段 段 段 段 段
ノに
たて
よこ よこ
もちあげて
ノに
かきまげはねて
フに右はらい



じゆく語 段(だん) 段(だん) 段(だん) 段(だん) 段(だん)

8画 部首 扌(てへん) 右に上げてはらう。

担

はねる。

書き順

担 担 担 担 担
よこ
たてはねて
もちあげて
(てへんかき)
白をかいたら
よこぼつ長く

担(たん) 担(たん) 担(たん) 担(たん) 担(たん)

胆(たん) 拍(ぱく) いるて

6画 部首 宀(かんむり) 立てる。

宅

書き順

宅 宅 宅
ウをかいて
(ウかんむり)
ノによこ一
たてまげはねる

宅(たく) 宅(たく) 宅(たく)

じゆく語 宅(たく) 宅(たく) 宅(たく) 宅(たく) 宅(たく)



声を出して歌って書こう

6年 ソクタ

11画

頁(おのがい) 部首 頂(いただき)

立てる。上(うへ)つきのほはなはい。はねる。とめる。



書き順

よこ たてはねて **頂** **頂** **頂** **頂** 自 八

にている字 頂

じゆく語 頂(いただき) 頂(たて) 頂(ね) 頂(かみ) 頂(あたま)

5画

宀(まだれ) 部首 庁(ちやう)

立てる。上(うへ)つきのほはなはい。はねる。とめる。

書き順

てん **庁** **庁** **庁** **庁** ちよウ

庁は役所のことだよ。とめる。



じゆく語 庁(ちやう) 庁(ちやう) 庁(ちやう) 庁(ちやう)

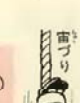
8画

宀(うかんむり) 部首 宙(ちゆう)

立てる。上(うへ)つきのほはなはい。はねる。とめる。

書き順

うかんむり(うをかいて) **宙** **宙** **宙** **宙** よこ二本



じゆく語 宙(ちゆう) 宙(ちゆう) 宙(ちゆう) 宙(ちゆう)

10画

亻(にんべん) 部首 値(ぢ)

まっすぐ下に。とめる。おさえて右にある。

書き順

イをかいて(にんべんに) **値** **値** **値** **値** ち



じゆく語 値(ぢ) 値(ぢ) 値(ぢ) 値(ぢ)

声を出して歌って書こう

6年 チ〜チ

13画

貝(かい) 部首 賃(ちん)

左にはらう。上の横線より短く。とめる。

書き順

にんべんに **賃** **賃** **賃** 貝をかく

にている字 賃

じゆく語 賃(ちん) 賃(ちん) 賃(ちん) 賃(ちん)

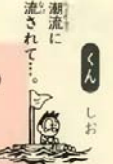
15画

氵(さんずい) 部首 潮(しほ)

にている字 湖(こ) とめる。はねる。

書き順

さんずい(シをかいて) **潮** **潮** **潮** **潮** ちよウ



じゆく語 潮(しほ) 潮(しほ) 潮(しほ) 潮(しほ)

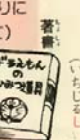
11画

宀(くさかんむり) 部首 著(ちやく)

長め。自(みづか)にしない。とめる。

書き順

くさかんむりに(せをかいて) **著** **著** **著** **著** 白



じゆく語 著(ちやく) 著(ちやく) 著(ちやく) 著(ちやく)

8画

心(こころ) 部首 忠(ちゆう)

上下つきのほはなはい。とめる。はねる。

書き順

よこにひらたい **忠** **忠** **忠** **忠** ちよウ



じゆく語 忠(ちゆう) 忠(ちゆう) 忠(ちゆう) 忠(ちゆう)

声を出して歌って書こう

6年 チ〜チ

8画 尸(しかばね) 部首

届 (届) 上へに任せる。 ほう。 上下にき出す。

書き順
届 届 届 届
コノとカギ
たて かぎ
たてて
よこ二本

くん オン
とどける
とどく

じゆく語
届 届 届 届
不届 届 届 届
出 出 出 出
先 先 先 先



届げ物

声を出して歌って書こう

16画 米(こめへん) 部首

糖 (糖) 上にき出す。 つき出さない。 点の形や音に注意。

書き順
糖 糖 糖 糖
ソ 木とカギ
(こめへんに) てん
ノをたて
ヨのなが長く
たてぼうひいたら
白をつける

くん オン
トウ

じゆく語
糖 糖 糖 糖
糖 糖 糖 糖
製 製 製 製
果 果 果 果
類 類 類 類
分 分 分 分
粒 粒 粒 粒



精(つく)の字

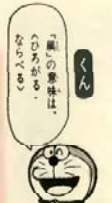
10画 尸(しかばね) 部首

展 (展) この形に注意。 衣(こし)ない。 大きくなる。

書き順
展 展 展 展 展
コノとカギ
よこ
たて たてて
よこをかき
たてぼう
はねたら
左右にはらう

くん オン
テン

じゆく語
展 展 展 展
展 展 展 展
示 示 示 示
開 開 開 開
展 展 展 展
会 会 会 会

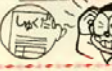


痛 (痛) 立てる。 ねる。 わげれない。 ためる。

書き順
痛 痛 痛 痛
てん ノをかき
ンをつけ
マをがいたら
用をかく

くん オン
ツウ

じゆく語
痛 痛 痛 痛
痛 痛 痛 痛
手 手 手 手
感 感 感 感
快 快 快 快
痛 痛 痛 痛
頭 頭 頭 頭
苦 苦 苦 苦
痛 痛 痛 痛



痛が痛い

声を出して歌って書こう

8画 し(おつによう) 部首

乳 (乳) 上へはねる。 はねる。

書き順
乳 乳 乳 乳 乳
ノ ツ 子
たてまげ
はねる

くん オン
ニュウ

じゆく語
乳 乳 乳 乳
乳 乳 乳 乳
製 製 製 製
首 首 首 首



乳牛

18画 隹(ふるとり) 部首

難 (難) 甘にしない。 上の横棒 上の横棒。 上より長く。 とめる。

書き順
難 難 難 難 難
サ 白とカギ
よこぼう二本で
人をつけ
イに てん
たて よこ二本

くん オン
ナン

じゆく語
難 難 難 難
難 難 難 難
難 難 難 難
問 問 問 問
氏 氏 氏 氏
題 題 題 題
所 所 所 所
難 難 難 難



10画 儿(ひとあし) 部首

党 (党) この形に注意。 けにしない。 方どをつけずにまげて、はねる。

書き順
党 党 党 党 党
たてに
ソで
下にフをつけ
なかに兒

くん オン
トウ

じゆく語
野 党
党 党 党 党
政 政 政 政
首 首 首 首
党 党 党 党
党 党 党 党



政党

討 (討) 立てない。 長へんを任せる。 はねる。

書き順
討 討 討 討
言(ごんべん)
ごんべんに
討 討 討 討
寸 (よこぼう
たてはね
てんつける)

くん オン
トウ

じゆく語
討 討 討 討
討 討 討 討
計 計 計 計
入 入 入 入



6年 ト〜二

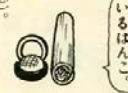
6年 ツ〜ト



わすれない。
はねる。
認

14画
部首
言(ごんべん)
認(ごんべん)
認(ごんべん)
認(ごんべん)

書き順
ごんべんに
力にてんをつけ
心を平に



じゆく語
認め印
ふだん使って
いるはんこ

おる。
はねる。
納

10画
部首
糸(いとへん)
納(いとへん)
納(いとへん)
納(いとへん)

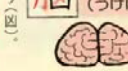
書き順
糸へんに(くムと
つづけて たて
チョン チョン)
たて
かぎはねて
人をかく

じゆく語
納税を納める。

はねる。
はねる。
脳

11画
部首
月(にくづき)
脳(にくづき)
脳(にくづき)
脳(にくづき)

書き順
月をかき
(にくづきに)
かなのツと
メて
たてまげたてぼう
(うけはこ)



じゆく語
脳(ごんべん)
脳(ごんべん)
脳(ごんべん)
脳(ごんべん)

はねる。
はねる。
派

9画
部首
シ(さんずい)
派(さんずい)
派(さんずい)
派(さんずい)

書き順
さんずいに
(シをかいて)
ノにノをたてて
ノにたてぼう
左にはらって
右ばらい

じゆく語
派(さんずい)
派(さんずい)
派(さんずい)
派(さんずい)

上につぎ出さない。
はねる。
拝

8画
部首
才(てへん)
拝(てへん)
拝(てへん)
拝(てへん)

書き順
よこ
たてはねて
もちあげて
(てへんかき)
よこぼう四本
たておろす

じゆく語
礼拝(らいはい)
拝見(らいけん)
拝観(らいくわん)
拝参(らいさん)

立てる。
はねる。
肺

9画
部首
月(にくづき)
肺(にくづき)
肺(にくづき)
肺(にくづき)

書き順
月をかき
(にくづきに)
てん
たてて
かぎはね
たてぼう

じゆく語
肺(はい)
肺(はい)
肺(はい)
肺(はい)



はねる。
はねる。
背

9画
部首
月(にくづき)
背(にくづき)
背(にくづき)
背(にくづき)

書き順
よこ
たて
もちあげ
ヒに
月をかく

じゆく語
背(せい)
背(せい)
背(せい)
背(せい)



背(せい)
背(せい)
背(せい)
背(せい)

はねる。
はねる。
俳

10画
部首
イ(いんべん)
俳(いんべん)
俳(いんべん)
俳(いんべん)

書き順
いんべんに
(イをかいて)
たてたノ
よこ三(本)
たてた
よこ三(本)

じゆく語
俳句(はいく)



俳句(はいく)

13画 月(つくぎ) 部首

短くはらう。

腹 はねる。

書き順
腹 月をかき(にくづぎに)
腹 ノ
腹 白をかき
腹 つに
腹 右ばらい

復(ふく) 復(ふく)
にている字
くん はん
オン フク
復(ふく) 腹(はら) 腹(はら) 腹(はら) 腹(はら)
復(ふく) 腹(はら) 腹(はら) 腹(はら) 腹(はら)
復(ふく) 腹(はら) 腹(はら) 腹(はら) 腹(はら)

10画 才(のぎへん) 部首

形と書き順に注意。

秘 はねる。こめる。

書き順
秘 ノ木とかき(のぎへんに)
秘 てん ノ
秘 たてまげはねて
秘 チョン チョンとかく

くん ひ
オン ヒ
秘(ひそ) 秘(ひそ) 秘(ひそ) 秘(ひそ) 秘(ひそ)
秘(ひそ) 秘(ひそ) 秘(ひそ) 秘(ひそ) 秘(ひそ)
秘(ひそ) 秘(ひそ) 秘(ひそ) 秘(ひそ) 秘(ひそ)

12画 日(ひへん) 部首

夕(ゆふ)にしない。

晩 はらう。上(うへ)はねる。

書き順
晩 白をかいて
晩 かなのつ
晩 たてかぎたて
晩 たてまげはねて
晩 ノをかいたらたてまげはねる

くん はん
オン ばん
晩(ばん) 晩(ばん) 晩(ばん) 晩(ばん) 晩(ばん)
晩(ばん) 晩(ばん) 晩(ばん) 晩(ばん) 晩(ばん)
晩(ばん) 晩(ばん) 晩(ばん) 晩(ばん) 晩(ばん)

10画 王(おうへん) 部首

まつすくに。

班 はらう。

書き順
班 よこ たて
班 よこて
班 よちあげて
班 かなのりをかき
班 (よこたてよこよこ)王をかく

くん はん
オン ばん
班(ばん) 班(ばん) 班(ばん) 班(ばん) 班(ばん)
班(ばん) 班(ばん) 班(ばん) 班(ばん) 班(ばん)
班(ばん) 班(ばん) 班(ばん) 班(ばん) 班(ばん)

声を出して歌って書こう

6年 ヒーへ

8画 一(ひと) 部首

夕(ゆふ)にしない。

並 上の横線が短く。

書き順
並 ソ
並 一の
並 たて たて
並 ソに
並 よこぼう

迷(まよ)うがなに
注意!
くん はん
オン びん
並(びん) 並(びん) 並(びん) 並(びん) 並(びん)
並(びん) 並(びん) 並(びん) 並(びん) 並(びん)
並(びん) 並(びん) 並(びん) 並(びん) 並(びん)

16画 大(だい) 部首

奮 少し横長に。

書き順
奮 大をかき
奮 イにてん ーにてん
奮 たてつけて
奮 よこぼう 三本
奮 下には由

くん はん
オン ぶん
奮(ぶん) 奮(ぶん) 奮(ぶん) 奮(ぶん) 奮(ぶん)
奮(ぶん) 奮(ぶん) 奮(ぶん) 奮(ぶん) 奮(ぶん)
奮(ぶん) 奮(ぶん) 奮(ぶん) 奮(ぶん) 奮(ぶん)

7画 才(のぎへん) 部首

夕(ゆふ)にしない。

批 はねる。上(うへ)はねる。

書き順
批 よこ
批 たてはねて
批 よちあげて(てへんかき)
批 よこ
批 たてはねて
批 ノに
批 たてまげはねる

くん はん
オン び
批(び) 批(び) 批(び) 批(び) 批(び)
批(び) 批(び) 批(び) 批(び) 批(び)
批(び) 批(び) 批(び) 批(び) 批(び)

7画 口(くち) 部首

否 こめる。

書き順
否 よこ ーて
否 イに
否 てんつけて
否 口をかく

くん はん
オン び
否(び) 否(び) 否(び) 否(び) 否(び)
否(び) 否(び) 否(び) 否(び) 否(び)
否(び) 否(び) 否(び) 否(び) 否(び)

声を出して歌って書こう

6年 ハーヒ

13画 血(ま) 部首

盟

四や血にしない。下の横棒は左から出る。

むねの

書き順

盟 日に
盟 月て
盟 たて かぎ
盟 たて たて
盟 よこぼう長く

血のつく字
盛・益

オン
くん
メイ

じゆく語

連盟 盟同 加盟 友約 盟盟



11画 一(うかんむり) 部首

密

立てる。形と書き順に注意。

書き順

密 ウかんむりに(ウをかいて)
密 てんノ
密 若へまげはね
密 てん てんつけて
密 下に大きく
密 山をかく

密
くん
オン
ミツ

じゆく語

密々 密々 密々 密々 密々
密々 密々 密々 密々 密々



12画 木(きへん) 部首

棒

上の横棒より長く。短くはなからぬ。

書き順

棒 木をかいて(木へんかき)
棒 よこぼう三本
棒 人をかき
棒 よこ よこ
棒 たてばつ

木も削げば
樹にあたる



じゆく語

棒 棒 棒 棒 棒 棒
棒 棒 棒 棒 棒 棒

橋はいる字

棒 棒 棒 棒 棒 棒
棒 棒 棒 棒 棒 棒

棒 棒 棒 棒 棒 棒
棒 棒 棒 棒 棒 棒

7画 心(こころ) 部首

忘

立てる。まろく、とめる。

書き順

忘 てん 二
忘 たてまげ
忘 心を下に

忘
くん
オン
ボウ

じゆく語

忘物 忘物 忘物 忘物 忘物
忘物 忘物 忘物 忘物 忘物



悪急心の
思思つく字

忘 忘 忘 忘 忘 忘
忘 忘 忘 忘 忘 忘

忘 忘 忘 忘 忘 忘
忘 忘 忘 忘 忘 忘

11画 言(ごんべん) 部首

訊

点。立てない。下の横棒より長く。

ほらつ。

書き順

訊 ごんべんに
訊 かなのゴカいて
訊 人をかく

オン
くん
ヤク

じゆく語

内訊 訊者 訊者 訊者 訊者
内訊 訊者 訊者 訊者 訊者



14画 木(きへん) 部首

模

短くとめる。目ししない。

とめる。

書き順

模 木をかいて(木へんかき)
模 よこ たて
模 たてて
模 白が
模 大きい

模
くん
オン
ボモ

じゆく語

模模 模模 模模 模模 模模
模模 模模 模模 模模 模模



13画 巾(はば) 部首

幕

上(うへ)の横棒より長く。

はねる。

書き順

幕 よこ たて たて
幕 (くさかんむり)
幕 白をかいて
幕 よこぼう
幕 六て
幕 たて かぎはねて
幕 ぞしておわりに
幕 たてぼうおろす

幕
くん
オン
マク

じゆく語

幕幕 幕幕 幕幕 幕幕 幕幕
幕幕 幕幕 幕幕 幕幕 幕幕



8画 木(きへん) 部首

枚

父や父ではない。短くとめる。

とめる。

書き順

枚 木へんに(木をかいて)
枚 ノーて
枚 左右にはらう

枚
くん
オン
マイ

じゆく語

枚枚 枚枚 枚枚 枚枚 枚枚
枚枚 枚枚 枚枚 枚枚 枚枚



声を出して歌って書こう

6年 ミッヤ

声を出して歌って書こう

6年 ホッマ

7画 し(おつにょう) 部首

つき出さない。

乱

上にはねる。



書き順 乱 乱 乱 乱 乱
ノ
よこ
たて
口をかき
右に大きく
たてまげはねる

じゆく語

乱れ 乱入 乱雑 乱暴

11画 羽(はね) 部首

形や向きに注意。

翌

立てる。

書き順 翌

カギはね
ン
カギはね
ンテ
てん
ソ

習っている字
オナン ヨク
次の日のことだよ。
じゆく語
翌日 翌朝 翌月 翌年 翌週 翌日 翌朝 翌年 翌週

17画 イ(にんべん) 部首

白にしない。

優

はねる。

書き順 優

にんべんに(イをかいて)
ノ たて
カギ よこ二本
フに 心で
クに 右ばらい(なつおしをかく)

じゆく語

優等生 優男 優先 優待 優待 優待

11画 卩(おおきと) 部首

左にはらう。

郵

白にしない。

右上ガリにはらう。

書き順 郵

ノ 一の
よこて
たて二本
そこをふさいで
たておろし
下からもちあげ
フにつづけて
たて長く



じゆく語

郵便 郵便物 郵便船 郵便車 郵便局 郵便配達

17画 見(み) 部首

覧

上の横棒より短くハにしない。

書き順 覧
たてよこ
コ チョン
ノ 一に
よこて
下に大きく
見をかく

じゆく語

覧 覧 覧 覧 覧

7画 P(ふしづくり) 部首

卵

はねる。

かるくはらう。

書き順 卵

ノに
たてはねて
てんつけ ノ
カギをはねたら
てんつけ
たてぼう

じゆく語

卵 卵 卵 卵 卵

11画 欠(あくび) 部首

欲

白にしない。

はらう。

書き順 欲

ハに
ひとやねて
口をかき
ノ フと
つづけて
入をかき

じゆく語

欲 欲 欲 欲 欲

5画 幺(いとがしら) 部首

幼

はねる。

書き順 幼

ノをつける
幼 幼 幼 幼 幼

じゆく語

幼 幼 幼 幼 幼

声を出して歌って書こう

6年 ヨソラ

声を出して歌って書こう

6年 ヨソラ

- ★漢字の書き方、ここに注意!★
- ① ていねいに一点一画ずつ、読みやすく正しく書こう。
 - ② 一点一画の長短、方向、位置もポイントをよく見て書こう。
 - ③ 書き順どおりに書くとき、かつこよく、すらすら書けるよ。
 - ④ 目で見ているより、歌いながらノートに書いてみよう。



声を出して歌って書いて

6年 口

15画 部首: 論(ろんべん)

上につき出さない。
左につき出さない。
点、立てない。

書き順: 論 論 論 論 論

こんべんに
ひとやね
よこ一
たて
かざはねて
よこぼうひいたら
たて二本

輪(わ) にている字
くん
オン (リ)
ロン

じゅく語
論(ろん) 論(ろん) 論(ろん) 論(ろん) 論(ろん)

★書体について★
漢字には昔から書き方によって楷書・行書・草書などがあります。
また、文字の書体には、小学校の教科書で使っている教科書体や、雑誌でよく使っているいろいろのデザインがあります。

9画 部首: 律(りつ)

右につき出さない。
こめる。

書き順: 律 律 律 律

ぎょうにんべん
(ノ イとカキ)
ヨのなか長く
よこ二本
そしてさいごに
たて長く

くん
オン (リ)
リツ (リチ)

じゅく語
律(りつ) 律(りつ) 律(りつ) 律(りつ) 律(りつ)

津(つ) にて
いる字

13画 部首: 裏(うら)

立てる。
上につき出さない。
この形に注意。

書き順: 裏 裏 裏 裏 裏

てん 一
日をカキ
たて よこ二本
かなのイ
はねたら
左右にはらう

くん
オン (リ)

裏表(うらおもて)
裏裏(うらうら)

じゅく語
裏(うら) 裏(うら) 裏(うら) 裏(うら) 裏(うら)

声を出して歌って書いて

6年 リ〜口

10画 部首: 朗(らう)

立てる。
はねる。
こめる。

書き順: 朗 朗 朗 朗

てん ヨに
たてはね
てんつけて
に
かざはねて
よこ二本

くん
オン (ハ) 朗 (ラウ)

じゅく語
朗(らう) 朗(らう) 朗(らう) 朗(らう) 朗(らう)

18画 部首: 臨(りん)

左下にはらう。
上の口を少し大きく。

書き順: 臨 臨 臨 臨

たてよこ たて
よこ たてよこ
つづけて
つづけて
口 三つ

くん
オン (リン)

臨海(りんかい)

じゅく語
臨(りん) 臨(りん) 臨(りん) 臨(りん) 臨(りん)

かんがえる
かん

考驗 願 願 眼 岩 岸 元 九 神 観 簡 館 間 管 慣 漢 感 幹 間 寮 看 卷 官 完 刊 干 変
58 147 51 199 51 94 55 51 112 146 246 94 146 146 198 94 93 198 50 93 246 245 146 145 198 245 182

ギ き

キ

(き)

疑 義 技 黄 生 木 機 器 旗 貴 期 揮 春 規 寄 基 掃 起 記 紀 季 汽 希 気 机 危 己
247 200 200 59 34 42 148 148 148 247 95 247 148 199 199 199 52 94 52 147 147 51 147 26 246 246 252

キユウ キヤク きやク きあキ きあキ きあキ きあキ きあキ きあキ きあキ きあキ きあキ きあキ きあキ
キユウ キヤク きあキ きあキ きあキ きあキ きあキ きあキ きあキ きあキ きあキ きあキ きあキ

旧 弓 久 九 逆 容 決 君 決 嶽 額 来 北 北 覽 者 傷 傷 岸 刺 兆 兆 間 間 効 効 消 謙
201 52 200 27 200 95 100 99 100 251 250 85 85 81 151 118 225 263 94 254 173 173 80 80 206 186 110 149

キヨウ キヨウ キヨウ
キヨウ キヨウ キヨウ

教 強 獅 胸 橋 協 供 京 共 兄 清 漁 魚 許 華 居 去 牛 輪 球 救 官 級 息 泣 求 水 吸 休
53 53 248 248 151 248 53 150 54 166 150 53 201 150 201 96 52 150 96 149 96 96 95 149 95 149 247 27

キン きわみ きわみ きれる きる きよまる ギョク キヨク ギョウ
キン きわみ きわみ きれる きる きよまる ギョク キヨク ギョウ

動 金 近 均 金 極 究 極 樞 摩 切 着 切 清 清 玉 極 局 曲 業 形 行 鏡 鏡 橋 興 境 極
248 27 54 202 60 151 95 151 151 209 69 118 69 166 166 27 151 97 97 97 54 58 151 151 97 207 201 203

く くに くち くだ くすり グ グ グ
く くに くち くだ くすり グ グ グ

(ギ)

首 配 国 口 下 管 菓 草 官 食 空 具 庫 官 紅 菩 俱 伺 功 区 工 口 久 九 銀 禁 筋
64 124 59 29 25 146 132 37 96 66 28 98 100 96 253 98 248 202 155 98 57 29 200 27 98 202 249

おり おり およ おや おも おも おも おも おお おお おの おの おの おの おの おの おの
おり おり およ おや おも おも おも おも おお おお おの おの おの おの おの おの おの

折 降 折 泳 観 面 表 思 重 面 主 党 帝 帝 己 各 同 訪 落 男 弟 音 夫 落 教 推 教 納
167 253 167 90 67 132 128 62 109 132 106 145 171 171 252 145 76 281 135 38 74 25 180 135 53 265 53 276

カ おん おん おれん
カ おん おん おれん

(か)

過 貨 荷 家 夏 科 河 果 価 花 何 俱 可 加 火 化 下 女 遠 温 恩 音 輕 降 下 折 織
196 143 92 48 47 47 196 143 196 26 47 195 195 143 25 92 25 33 47 92 196 25 108 253 25 167 217

かう かい ガイ カイ
かう かい ガイ カイ

飼 買 交 委 街 害 外 貝 解 階 開 街 檢 界 海 改 快 会 灰 回 賀 西 莽 我 日 課 歌
212 78 57 256 145 144 49 26 197 93 93 145 49 144 92 49 144 197 49 244 48 196 48 144 243 40 143 48

かける ガク かく カク かかる かかり かがみ がお かえる かえる かえりみる かえず
かける ガク かく カク かかる かかり かがみ がお かえる かえる かえりみる かえず

欠 額 索 学 書 欠 確 鬧 覺 格 草 害 拉 面 角 各 限 係 係 鏡 顏 得 遇 変 代 省 佛 遇
153 198 50 26 65 153 197 244 145 197 244 95 244 48 50 145 204 99 99 151 51 52 130 182 117 166 52 130

ガツ カツ かつ カツ かたる かたる かたる かたる かたき かたい かと かぞえる かぞ かせ かしら かさねる かさねる かこむ かのう
ガツ カツ かつ カツ かたる かたる かたる かたる かたき かたい かと かぞえる かぞ かせ かしら かさねる かさねる かこむ かのう

合 月 合 勝 割 活 語 語 固 固 刀 形 敵 難 固 型 形 片 方 敷 風 敷 貨 頭 重 風 團 團
59 28 59 111 245 50 56 56 155 155 75 54 226 275 155 153 54 280 81 67 80 67 224 76 109 80 141 141

かわる かろ やか かり から かよう かみ かまう かぶ かね かねら かねら かなしむ かなしい かな かつぎ
かわる かろ やか かり から かよう かみ かまう かぶ かね かねら かねら かなしむ かなしい かな かつぎ

代 團 革 河 皮 川 輕 輕 備 俱 休 空 通 紙 紳 上 構 構 株 金 必 奏 惠 惠 金 門 角 担
117 170 244 196 126 36 99 99 162 195 71 28 74 62 112 33 207 207 245 27 179 268 127 127 27 83 50 270

●音訓さくいん●

コン
こわ
ころも
ころぶ
ころす
ころがる
ころがす
こやし
こめ
こまる
こまかい
こまか
このむ
このむ
こな
こどわる
こと
コツ
こたえ
こころよい
こころみ
こころみ

建金因今声衣転殺転転肥米米困細細好粉断具事言骨答答快読
154 27 255 60 68 140 121 158 121 121 230 230 80 255 60 60 155 181 225 242 105 55 254 76 76 197 161

サイ ザイ
サ
ゴン

菜細祭清採採殺妻災西再切才座差砂查茶作再左 紙推勸言混根
157 60 102 255 209 209 158 208 208 68 208 69 60 255 156 255 208 72 61 208 29 251 251 248 55 207 102

さける さぐる さくら さく サク さき さかん さかる さかな さがす さかえり さかいわい ザイ
下酒探板割策昨作冊先盛盛逆魚探榮境酒逆坂幸罪財材在際裁最
25 107 271 195 245 256 157 61 256 36 265 265 200 53 271 142 201 107 200 126 101 210 209 157 209 209 256 157

サン さわる さら さめる さむい さます さばく さと ザツ サツ サツ さち さだめる さだか さずける さずかる さす ささえる
三障去四覚冷寒覚様截量維早察叔札冊幸定定校授差指支提
30 263 96 102 145 188 93 145 135 256 85 210 36 158 158 158 256 101 120 120 214 214 156 104 211 225

シ ザン
志至自系次死示矢市四司史任氏止支子士 残賢酸算散産妻参山
211 257 63 31 104 103 212 62 61 30 160 160 103 160 61 211 30 160 159 210 210 61 159 159 256 159 30

ジ
見似自耳次寺字地示仕誌飼資詩試密陶視紙師指思姿核柿始使私
161 212 63 31 104 63 31 71 212 103 258 212 212 104 161 104 258 257 62 211 104 62 257 211 62 103 103 257

ケ グン クン くわえる くわい くろい くれな くらま くらしめる くらしい くらべる くらす くらう くらう くらう くらも くみ

化 群郡軍訓君加加黑黒幕紅車苦苦苦米比暮食暗位蔵倉雲組組
92 202 152 152 152 99 143 143 60 60 281 253 32 98 98 98 85 229 281 66 88 141 269 169 46 70 70

ケケツ ゲゲイ ケイ ゲイ
欠消激刺芸競警境輕景歌経計型係怪京系形兄解夏外下毛家気飯
153 110 250 250 153 151 249 201 99 153 249 203 54 153 99 152 53 249 54 54 197 47 49 25 83 48 26 195

ゲン ケン ゲツ
眼現原限言元験憲権補問校険健渠研建券見伴大険月潔結決血穴
199 204 55 204 55 55 154 251 251 250 50 204 204 154 100 100 154 203 28 203 28 204 28 203 154 100 99 250

コウ ゴ ニ コ
口誤誤語期後午五黄粉木子小湖庫個故因呼古去尸己 驗嚴源滅
29 205 252 56 95 56 56 29 59 181 42 30 33 101 100 205 205 155 252 56 96 55 252 154 251 251 205

港黄康高降航耕校格候紅皇後厚幸効孝行考好后向光交広功公工
101 59 156 58 253 156 206 29 197 155 253 253 56 206 101 206 283 58 58 155 252 101 58 57 57 155 57 57

ゴウ コウ こえり こえ こえ ゴウ
志志心九九極穀黒国刻谷告石水肥肥声業脚強合号神講銅興構組
211 211 66 27 27 151 254 60 59 254 59 156 35 128 230 230 68 97 248 53 59 102 112 207 254 207 207 206

●音訓さくいん●

ジン シン しらい しろ しるす しるし しりぞく しらへる ショク

仁人親新森進深針真神信臣身申中心白城白代配印知退退調白職織
264 34 67 67 33 113 113 264 113 112 165 165 112 112 66 41 264 41 117 52 141 72 224 224 120 41 217 217

すくぐ すすく すすく すがた すすえ すすい スイ ズ す ス

す

優少救好過奄末吸酸摧垂出水頭専豆団泉州教素守主子 神臣
284 65 149 155 196 257 183 247 67 210 265 265 32 34 76 105 122 67 169 107 67 221 106 106 30 112 165

セセセ スン すする すむ すみやか すみ すます する すな すてる すむ すむ すこす すこし

せ

声西成生正世背世 才座刷濟住速庚濟住統砂拾進進筋健過少助
68 68 166 34 34 113 277 113 265 255 158 255 109 115 118 255 109 226 255 259 113 113 249 154 196 65 110

セキ セゼイ

續積貴席昔赤夕夕祝祝背整靜整精誠聖勢晴盛清情省星政青性制
219 167 219 167 114 35 35 35 168 219 277 114 166 219 218 266 266 218 68 265 166 217 166 68 218 35 218 217

セセセ ゼン ゼン ゼン

選銭戦船染洗浅泉専宜先川千競貴銭絶舌説節言説接殺折切節開
168 221 168 69 267 267 168 267 266 266 36 36 36 151 219 221 220 220 168 167 69 220 220 158 167 69 167 146

ソウ ソウ ゼン

そ

沿操録屏想裝制窟巢倉送草相委宗走専早想組素組 然幕前全録
243 269 221 269 115 268 268 268 169 169 115 37 114 268 260 70 169 36 115 70 221 221 169 267 70 114 69

シキ しお しいる しあわせ じ ジ ヨキ しすか しすか しすめる

親親從從舌下靜靜靜靜食直識織色式潮塩強幸路磁絆時除持治事
67 67 261 261 220 25 166 166 166 166 66 73 213 217 66 105 273 142 53 101 137 258 161 63 263 105 161 105

シヤク しも しめる しめす しみる しまる しな ジツ ジツ シツ シチ

石尺謝捨射砂者舎車社写下閉示染染閉島死品十夫日貨室失賀七
35 259 213 259 258 255 106 213 32 64 106 25 280 212 267 267 280 122 103 129 32 105 40 213 63 162 213 31

シユウ ジュ シュ ジャク

條秋祝拾宗周州取樹就校役受種衆酒修首取守主手着弱若借昔赤
214 64 163 108 260 162 107 260 259 260 214 261 107 162 280 107 214 64 107 106 106 32 118 64 259 162 114 35

ショ ジュン ジュツ ジュク シュク ジュウ

番書所切矣準順賦春術述出熟縮宿祝擬從垂拾住十集衆就週習終
110 65 109 163 262 215 163 262 65 214 214 32 261 261 109 163 261 261 109 108 109 32 108 260 260 65 108 108

シヨウ ジョウ

商唱天消從符相省皇昭政青松招承性声生正少小上除序助女諸署
111 164 164 110 261 263 114 166 68 110 218 35 163 215 215 218 68 34 34 65 33 33 263 215 110 33 262 262

シヨク ジョウ

植食色靜蔗場盛情常城衆定状衆成上賞精障照傷衆証裝燒膳章清
112 66 66 166 264 66 265 217 216 264 111 120 216 216 166 33 165 218 263 165 263 164 216 268 164 111 111 166

●音訓さくいん●

ナ ン ちる ちらす ちらかす ちらかす ナヨク チヨウ チヨ

貸 款 敷 敷 敷 敷 直 調 湖 勝 朝 鳥 頂 張 帳 重 長 町 兆 序 丁 貯 蓄 益 柱 注 忠 宙
273 159 159 159 159 73 120 273 173 73 73 273 225 119 109 73 39 173 273 119 172 272 72 119 119 272 272

つ たえり つ たえり つ げり つ ける つ くる つ ぐ つ ぐ つ ぐ つ ぎ つ かし つ かい ツ ウ つ かい ツ イ

伝 伝 告 着 就 付 造 作 机 接 次 着 就 付 次 月 仕 使 痛 通 費 費 違 対 都 通
174 174 174 156 118 260 180 222 61 246 220 104 118 260 180 104 28 103 103 274 74 178 178 120 116 121 74

テ デ テ つ れる つ らなる つ らなる つ よまる つ もる つ めたい つ む つ み つ ま つ ね つ とめる つ とう つ つ づ つ つ づ

低 体 丁 弟 手 連 連 連 面 強 強 積 積 罪 妻 角 常 勤 務 努 勤 集 包 統 統 土
173 71 119 74 32 189 189 189 132 53 53 167 188 167 210 208 50 216 248 235 175 248 108 182 170 170 39

ト デ ン テ ン て れる て る て らす て ら テ ツ テ キ

土 電 伝 田 転 展 点 店 典 天 照 出 照 照 寺 鉄 飲 通 笛 的 程 提 停 庭 底 定 第
39 75 174 39 121 274 74 74 174 39 165 32 165 165 63 121 226 226 121 174 226 225 174 120 173 120 74

ト ウ い ド と

等 答 登 湯 道 討 党 納 島 東 豆 投 灯 当 冬 刀 間 度 努 土 戸 十 頭 金 都 徒 度 団
123 76 123 123 77 274 274 276 122 76 122 122 175 75 75 75 132 122 175 39 55 32 76 123 121 175 122 67

こ く ト ク と き と おす と おい とう と とう とう ド ウ

解 読 通 得 特 時 解 通 通 通 十 貴 尊 貴 尊 導 銅 御 道 童 堂 動 同 間 頭 糖 読 統
197 77 227 176 176 63 197 74 74 47 32 247 270 247 270 227 227 176 77 124 175 123 76 132 76 275 77 226

ソク ソク ソク ソク ソク ソク ソク ソク ソク ソク ソク ソク ソク ソク ソク ソク

供 外 率 卒 育 有 注 損 損 感 統 属 族 測 測 速 息 則 足 来 候 臘 臘 雜 增 像 象 造
248 49 223 170 89 89 119 223 223 173 170 223 116 223 170 115 115 222 37 170 155 269 269 210 222 222 164 222

タ グ た タ ソ ン ソ ン そ ら そ ら そ れ る そ む け る そ む け る そ の そ の そ な わ る

台 代 太 大 打 田 手 多 他 太 存 損 尊 孫 村 存 反 反 空 梁 初 背 背 梁 園 備 備
71 117 71 37 116 39 32 70 116 71 270 223 270 171 37 270 126 126 28 267 163 277 277 267 46 230 230

た し か め る た し か た け タ グ た が や す た か め る た か い た か た へ る た い ら

確 確 竹 度 宅 宝 料 高 高 高 高 絶 平 題 第 第 台 代 内 大 懸 隊 貸 帯 退 待 対 体
197 197 38 122 270 281 206 58 58 58 220 130 117 117 74 71 117 77 37 224 171 224 171 224 117 116 71

た ば た の し ゃ た ね た に た と へ る た て た つ た っ と ぶ た つ た つ た だ し た だ し た だ し た ず け る た す け る た す け る

東 梁 禮 檀 谷 側 建 立 販 賣 尊 貴 尊 觀 鐵 斷 建 立 直 直 正 正 戰 訪 助 助 出 足
170 50 50 162 59 188 154 43 261 247 270 247 270 256 220 225 154 43 171 73 34 34 168 281 110 110 32 37

ダ ン た わ る た れ る た れ る た れ る た れ る た よ り た も つ た め す た め す た ま こ た ま こ た ま る た び

暖 斷 段 男 団 誕 短 探 炭 早 單 反 復 垂 足 足 垂 便 飽 保 試 民 師 球 玉 食 株 度
271 225 271 38 224 271 118 271 118 172 270 126 230 265 37 37 265 182 220 233 161 184 285 96 27 66 136 122

チ ユ ウ チ ャ チ れ る ち む ち む ち ち チ ク ち か ら ち い き

虫 仲 中 着 茶 縮 縮 縮 縮 乳 父 強 竹 力 近 小 乳 血 干 質 置 儲 知 治 池 地 派
38 172 38 118 72 261 261 261 261 275 79 225 38 43 54 33 275 99 36 213 172 272 72 161 72 71 118

●音訓さくいん●

はた はずれる はずす はしらす はしら はしめる はじめ はじめる はこぶ はこぼる はげしい はげける

機 機 知 外 外 走 柱 始 初 初 始 橋 運 箱 化 激 基 暮 博 麦 博 白 量 測 計 図 針 錐
148 148 125 49 49 70 119 103 163 163 103 97 90 125 92 250 235 282 178 79 178 41 187 223 54 67 54 254

はら はやめる はやまし はやく はね はなれる はなつ はなし はなす はな はてる はつ はつ はつ はち はたらく はたけ

腹 原 遠 早 早 林 速 早 省 母 羽 放 放 話 放 話 鳥 菓 花 果 果 末 法 初 発 八 働 果 知
279 55 115 36 36 43 115 36 166 81 46 131 131 85 131 85 127 26 143 143 183 182 163 125 41 176 143 125

ヒ バン ハン はれる はる はりす

㊦

松 飛 非 肥 批 否 皮 比 番 晚 板 判 万 飯 班 版 板 坂 判 犯 半 反 晴 春 張 針 晴
279 178 230 230 278 278 126 229 79 278 126 229 82 178 278 229 126 126 229 229 79 126 68 65 225 264 68

ひとしひ ひと ひつじ ヒツ ひだり ひさい ひさしい ひくめる ひくまる ひくまる ひかるとり ひがし ひえる

等 人 一 羊 筆 必 左 類 又 引 低 低 低 引 率 光 東 冷 鼻 備 美 灯 水 火 日 賞 悲
123 34 24 134 127 179 29 198 200 46 173 173 173 46 223 58 58 76 188 127 230 127 175 128 25 40 178 127

ヒン ひろがる ひろう ひろい ひる ひらける ひらく ヒョウ ヒョウ ヒヤク ヒヤク ひめる ひどり

賞 品 広 広 拾 広 登 干 開 閉 平 病 秒 平 標 評 票 依 表 兵 水 冷 白 百 冷 秘 独 一
231 129 57 57 106 57 72 245 93 93 130 128 128 130 179 231 179 230 128 181 128 188 41 41 188 279 227 24

ふかめる ぶ ぶ ぶ ぶ ぶ ぶ ぶ ぶ ぶ ぶ ぶ

㊧

深 深 深 増 笛 宮 風 夫 無 郵 歩 武 分 不 富 婦 風 負 步 府 布 付 父 夫 不 貧 便
113 113 113 222 121 232 80 180 184 129 81 232 80 179 232 231 80 129 81 180 231 180 79 180 179 231 182

とも とめる とむ とみ とまる とぶ とばす となえる とどける とどける とどける とどける とどける とどける とどける とどける とどける

共 友 留 止 富 富 留 止 飛 飛 唱 整 整 整 屈 屈 閉 年 閉 所 常 解 鏡 独 毒 研 視
150 84 237 61 232 232 61 178 178 164 114 120 114 120 275 275 280 40 280 109 216 197 77 227 176 100 168

なげる ながめる ながはる ながはる ながはる ながはる ながはる ながはる ながはる ながはる

㊨

投 鳴 泣 流 半 流 長 永 仲 中 直 治 直 治 無 亡 内 菜 名 納 南 問 団 採 取 鳥 供
122 83 149 135 79 135 73 192 172 38 73 161 73 161 184 281 77 157 42 276 77 132 224 200 107 73 248

なん ナン なるる なるる なるる なるる なるる なるる なるる なるる なるる

何 題 納 南 男 慣 鳴 成 並 並 並 鳴 慣 習 並 波 生 七 何 七 七 納 夏 成 情 和 和
47 275 276 77 38 198 83 166 279 279 83 198 108 279 124 34 31 47 31 31 276 47 166 217 137 137

ね めめ めめ ニン にる ニョウ ニョウ ニヤク ニヤク にち にち にが にが にい にい

㊩

値 音 布 主 認 任 人 庭 似 女 女 乳 入 若 担 日 西 肉 香 苦 新 荷 兎 仁 二
272 25 231 106 276 228 34 120 212 33 33 275 40 259 270 40 68 78 98 98 67 92 161 264 40

㊪

の の

㊫

飲 壺 上 述 延 延 延 後 臨 望 除 乘 殘 殘 展 腦 能 納 野 燃 然 念 年 練 熱 顯 根
90 123 33 214 243 243 243 56 286 183 263 111 159 159 124 276 228 276 84 228 169 177 40 137 177 147 102

ば か は

㊬

化 慕 染 映 生 染 入 買 梅 骨 壳 灰 敗 配 俳 肺 背 揮 揚 馬 齒 葉 窮 破 波 渡 泉
92 234 142 243 34 142 40 78 177 125 78 244 177 124 277 277 277 66 78 104 134 46 228 276 124 111

●音訓さくいん●

みる ミヨウ みやこ ミヤク ミヤ ミミ ミのる ミなもと ミなど ミどり ミつツ ミツ ミツ ミツ ミちびく ミちり ミだれる ミだす ミせせ ミせろ ミずから ミずうみ

見明命名都旅宮耳実源南港緑線三三密満導道乱乱満見店白湖水
28 82 131 42 121 184 96 31 105 251 77 101 136 276 30 30 283 183 227 77 285 285 183 28 74 63 101 34

むれる むらす むね むな むつ むすぶ むすかしい むす むす むこう むける むくいる むく むかし むかう むい ム ミン

群群蒸群村胸胸六六結難蒸虫向向報向委昔向六六夢無務武 民
202 202 264 202 37 248 248 43 43 154 275 264 38 101 101 234 101 79 114 101 43 43 235 184 235 232 184

もちいる もしくば モク もうす もうける モウ モ メン めし メイ め むろ

用燃若目木燃申設望毛亡模 鏡面飯鳴盟迷明命名芽目女 室蒸
84 228 259 42 42 228 112 220 183 83 281 283 236 132 178 83 283 236 82 131 42 144 42 33 63 264

ヤク や ヤ モン もり もり もやす もの もどめる もとい もとばら もつとも モツ

役家屋久八野夜 間間門文益森守燃者物氷蒸基本元下専職持物
132 48 91 62 41 84 83 80 132 83 41 265 33 106 228 106 130 149 159 199 42 55 25 266 157 105 130

やわらげる やめる やむ やまい やぶれる やぶる やどる やどす やつ やつ やすめる やすむ やすまる やしろ やしなう やさしい やける やく

和と絆病病山敗破破宿宿八八休休休安社養優易境境業訳益約
137 137 161 128 128 30 177 228 228 109 109 41 41 27 27 27 88 64 185 284 193 164 164 132 283 193 185

ゆわえる ゆめ ゆび ゆたか ゆき ゆえ ゆう ュウ ユイ ユ エ

結詳夢弓指畫行雪故夕結優遊郵勇有由右友遠由湯輪遊油由
154 201 235 52 104 234 58 69 205 35 154 284 133 284 185 133 133 24 84 242 133 123 236 133 133 133

フン ふるす ふるう ふるい ふるふ ふやす ふね ふな ふどる ふどい ふて プツ ふたつら ふたたび ふた ふたせく ふし ふける フク

分古魯古降冬増文船給太太筆物仏二再礼二防節老複腹福複劇服
80 56 279 56 253 75 222 41 69 69 71 71 127 130 233 40 208 158 40 234 167 189 232 279 130 232 180 129

ベン ヘン へる へらす ベに ベイ ベイ ベイ へい プン

勉便舟編交返辺片減経減紅別米間病陸並兵平辺 聞文分奮粉
131 182 233 233 182 130 181 280 205 203 205 253 181 80 280 128 280 279 181 130 181 80 41 80 279 181

ボク ホク ほか ぽく ホウ ホウ ボほ 水

木北朗外暴買棒望防忘亡豊報訪法放宝包方模暮基受火補保歩
42 81 286 49 235 235 282 183 234 282 281 234 234 281 182 131 281 182 81 283 281 234 81 25 280 233 81

まかす まえす まいる マイ ま ホン ほね ほどけ ほつする ホツ ほそる ほす ほしい ほし

任負前歩杖妹母米間馬真目 本反骨仏程欲法発細干欲望牧日
228 129 70 159 282 82 82 80 50 78 113 42 42 126 254 233 226 284 182 125 60 60 245 284 68 183 42

まつる まつりごと まつりたく まつ マツ まち まざる ますしい まじわる まじる まざる まさる まさる まこと まご まげる まく マク まがる まかせる

祭政祭全待松未街町混賃増交混文混勝正誠孫曲負巻幕巻牧曲任
102 218 102 114 117 163 183 145 39 207 231 222 57 207 57 207 111 34 266 171 97 129 245 282 245 183 97 228

みじかい みきお みき みえる み ミ マン まわる まわりす まるめる まるい まる まよう まもる まめ まねく まなこ まど

短操古新見実身三味米 満万回周回九円丸丸速守豆招学眼窓の
118 269 24 198 28 105 112 30 131 184 183 82 48 162 48 51 24 51 51 236 106 122 215 26 199 268 174



そして、漢字のなりたちや組み立て、音読み、訓読み、特別な読み方の言葉、反対語、同義語、送りがないなどをまとめて学ぶこともおもしろいものです。まちがえやすいポイントなども中心に勉強すると、大きな漢字の力がついてきます。

★漢字の勉強、ここに注意！

まず、漢字を読むことに集中しましょう。それから、ていねいに注意深く漢字を書いてみましょう。熟語も大切ですが、学校ですべては練習できませんから、すすんで、この本にあるように歌って楽しく、毎日数分間でも書いてみましょう。きつと、漢字の意味はおろくに深く、おもしろくなってきますよ。

そして、漢字のなりたちや組み立て、音読み、訓読み、特別な読み方の言葉、反対語、同義語、送りがないなどをまとめて学ぶこともおもしろいものです。まちがえやすいポイントなども中心に勉強すると、大きな漢字の力がついてきます。

よし よこ ヨク よう
よせる

寄由横型欲浴ハ曜養様陽業容要洋羊用幼善良夜四代世預余予
199 133 91 285 284 186 41 84 185 135 135 134 237 185 134 134 84 284 267 186 83 30 117 113 237 236 134

リキ リ ラン ラク ライ よん よわる よわまる よろこぶ よる よる よる よる よる よる よる よる よる よる
よそおひ

力裏理里利 覽卯乱楽落来礼 四弱弱弱弱弱暮夜寄因読呼四四袋
43 286 85 85 186 285 285 285 50 135 85 136 30 64 64 64 64 148 83 159 192 77 252 30 30 268

レイ ルー ルー リン リョク リョウ リョウ リョウ リョウ
リキ リク

礼令 類留流 臨輪林緑力領漁量料良両旅留流立略半律立律陸
136 188 187 237 135 286 187 43 136 43 238 150 187 187 186 136 136 237 135 43 237 223 286 43 286 186

わざわい わざ わける わかれる わかれる わかいら わ わ ワ ロン ログ ロウ レツ レキ

災業扶分訳別分若輪我話和 論録録大明劣老路 続連列歴例冷
208 97 200 80 283 181 80 259 187 243 85 137 267 189 136 43 286 189 189 137 137 189 137 188 188 188

わすれる わた わたくし わらわらわら わらわら わり わる わる わる われる われる われる

割我愚割割童笑私綿忘
245 243 88 245 245 124 164 267 236 282



大きな漢字辞典にあるような部首さくいと総画さくいんはつけませんでした。学年別のそれぞれのさくいんと、この音訓さくいんで、一つ一つていねいに調べましょう。
では、がんばってくださいね。



使用の方のまちがえやすい字に、同音異義語(発音が同じでも意味のちがう言葉)と同訓異義語(訓読みが同じでも意味が少しずつちがうもの)があります。一例をあげておきます。この本の一つの一つの字の説明にも書いてあるものもあります。参考にしてください。

●同音異義の熟語

以外-意外、意義-異義、異議-異議、意志-意思、異常-異状、解放-開放、観賞-感傷、感心-開心、機会-機械、機関-器官、気管、最後-最期、辞典-事典、字典、青年-成年、不孝-不幸、保険-保健など。

●同訓異字

あう(合う、会う)、あく(明く、空く、開く)、あたたかい(暖かい、温かい)、あつい(暑い、熱い、厚い)、かえる(返る、帰る)など。



まんがで
予習復習だ!

ドラえもん の 学習シリーズ 大好評発売中

国語

すらすら作文が書ける
四字熟語100
慣用句びっくりことば事典
ドラえもんのかん字じてん (ステップ1)
ドラえもんの漢字辞典 (ステップ2)
ドラえもんのことわざ辞典
俳句・短歌がわかる
漢字の書きじゅんがわかる (1年生~3年生)
詩が大好きになる
歌って書けるひらがな・カタカナ
歌って書ける小学漢字1006

算数

たしざん・ひきざん
かけ算・わり算
文章題がわかる
分数・小数がわかる
面積・体積がわかる
図形がわかる
式とグラフがわかる
続・文章題がわかる
計算がはやくできる
図と絵でとける応用問題

理科

生物(植物・昆虫・動物)がよくわかる
天体(地球・月・太陽・星の動き)がわかる
力と電気・音・光がわかる
理科実験Q&A

社会

日本の歴史がわかる①(縄文世~室町世)
日本の歴史がわかる②(戦国世~平成世)
日本の産業がわかる
日本各地の自然とくらし
地図がよくわかる
日本の歴史15人

体育

てつぼう・とびほがができる
水泳が楽しくできる
はやく走れジャンプできる
マツ、ポール、なわとび

英語

ドラえもんのまんがで覚える英語辞典

音楽

楽心がよめる
リコーダーがふける
ピアノと歌がじょうずになる
絵とデザインがとくになる
立体・工作がとくになる
ドラえもんの小学生らくらく勉強法

ドラえもん
の
勉強法



■指導/現代子どもと教育研究所

下村 昇

■まんが/藤子プロ ©藤子プロ 2000

■まんが構成・作画協力/村田ヒロシ

■カバー絵/鈴木伸一

■表紙デザイン/大野鶴子 (CSJ)

■DTP入力/昭和ブライト

■編集協力/真英社



この本もいっしょに見よう。



ドラえもんの学習シリーズ

ドラえもんの国語攻略

歌って書ける 小学漢字1006

2000年10月20日 初版第1刷発行

発行者 宮木立雄

2005年1月1日 初版第9刷発行

発行所 株式会社 小学館

東京都千代田区一ツ橋2-3-1 〒101-8001

電話・編集/東京03 3230 5689

制作/東京03 3230 5333

販売/東京03 5281 3555

振替/00180-1-200

印刷所 図書印刷株式会社

©小学館 2000 Printed in Japan 編集/図鑑社吉

●盗本には、じゅうぶん控印しておりますが、万一、落丁、乱丁などの不良品がありましたら、「制作局」までにお送りください。2週間以内にてお取り替えいたします。

★図く日本複写センター(委託出版物)本書の全部または一部を無断で複製(コピー)することは、著作権法上の例外を除き、禁じられています。本書からの複製を希望される場合は、日本複写センター(TEL:3401-2382)にご連絡ください。

ISBN 4-09-253173-7

●ドラえもんの学習シリーズ●

ドラえもんの

❖国語おもしろ攻略❖

歌って小漢字1006



1年生～6年生まで
すべての漢字が書けます。

現代子ども教育研究所
指導 下村昇



小学館

ドラえもんの学習シリーズ

ドラえもんの

国語おもしろ攻略

歌って小漢字1006

1年生～6年生まで
すべての漢字が書けます。



ドラえもんの学習シリーズ
歌って小漢字1006
小学館